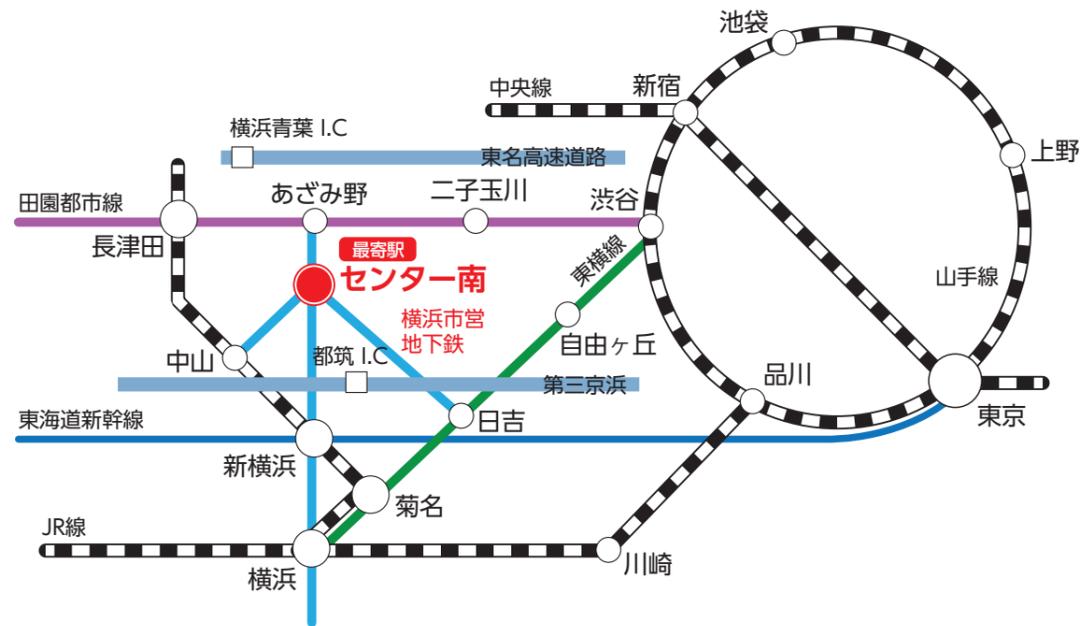


交通アクセス

電車でお越しの方

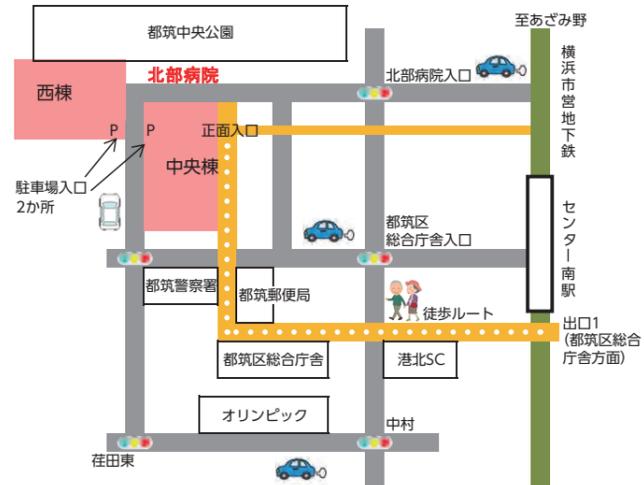


車でお越しの方



■ 都筑ICから約10分
 ■ 港北ICから約13分
 ■ 横浜青葉ICから約15分

病院周辺地図



■ 徒歩：センター南駅 出口1を出て右方向へ進むと右手奥に見えてきます



昭和大学
横浜市北部病院

〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

TEL 045-949-7000(代表) FAX 045-949-7117

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

診療科

— 2024 —

ガイド



昭和大学は昭和医科大学へ

2025年4月1日、
昭和大学は
昭和医科大学に
校名を変更いたします。

※英語名称は、Showa Medical Universityになります。

創立100周年と

その先の未来へ向かって、

「常にまごころを持って

社会に貢献することのできる医療人」の

育成を続けていきます。

※本学は、2028年11月15日に創立100周年を迎えます。

至誠一貫

「まごころ」を尽くし、質の高い医療人の育成を行う

かけがえのない心身をゆだねられることは、
本院への深い信頼と期待のあらわれである。
本院はこの信頼や期待に応えることをもって目標とし、
患者さんの権利や尊厳を守り、
患者さんとともにチーム医療を実践する。
本学創設の理念である“至誠一貫”の精神のもと、
全スタッフが協力して他に誇れる品格をもつ病院を目指し、
本院は

1. 常に心のこもった病院でありつづける
2. 無事故の病院になる
3. 現在のぞみうる最高の医療をおこなう

昭和大学横浜市北部病院の基本方針
（“本院の理念”を実現させるための具体的な方策）

- 患者さんの権利や尊厳を守ることを義務とする
- 医療安全を他の全ての業務よりも優先する
- まごころを持って患者さんと共にチーム医療を実践する
- 病院全体がひとつのチームとなり患者さんの信頼や期待に応える
- 専門家がひとりの心ある人として最善をつくし未来への希望を贈る
- 最新の知識と技術をもって世界のどこにも劣らない医療を提供する
- 地域中核病院としてその役割をはたしながら学び、工夫しながら成長する

目次

昭和大学 建学の精神／昭和大学横浜市北部病院の理念・基本方針	1
病院長からのご挨拶	3
TOPICS	4
病院概要	9

診療科紹介

呼吸器センター	11	内科	49
消化器センター	14	皮膚科	53
循環器センター		放射線科・放射線治療科	55
【心臓血管外科】	21	臨床病理診断科	58
【循環器内科】	23	外科	60
甲状腺センター	27	乳腺外科	63
こどもセンター		脳神経外科	65
【小児科・小児外科・新生児科】	30	整形外科	67
脳血管センター		産婦人科	71
【脳卒中科】	34	泌尿器科	74
女性骨盤底センター	36	眼科	77
メンタルケアセンター	38	耳鼻咽喉科	80
救急センター(ER)	43	麻酔科	82
緩和ケアセンター		歯科麻酔科	84
【緩和医療科】	44	リハビリテーション科	86
臨床遺伝・ゲノム医療センター	46	病院歯科	88

診療・検査の予約

医療機関からの緊急受診(Dr to Dr)	91
緊急受診(Dr to Dr)での来院について	92
紹介患者の外来予約	93
医療機関からの検査予約／地域連携医療協力機関制度	94
診療情報提供書	
CT検査依頼書	
MRI検査依頼書	
PET／CT検査依頼書	
骨塩定量検査依頼書	
シンチ検査依頼書	

交通アクセス(裏表紙)

病院長からのご挨拶



昭和大学横浜市北部病院
病院長 坂下 暁子

門倉光隆前病院長の後を引き継ぎ、令和6年6月から昭和大学横浜市北部病院の病院長を務めさせていただくことになりました。

北部病院は2001年（平成13年）4月1日に横浜市北部医療圏の急性期医療を担う中核病院として開院してから、早くも24年目を迎えました。開院時より外科チームと内科チームが一体となった診療体制をとるセンター方式を導入し、患者さんの病態に応じた適切な治療を速やかに選択する状況は現在も継続しています。またメンタルケアセンターや緩和ケアセンターがあることで、より全人的治療ができる病院でもあります。開院後にはマタニティハウスの開設や新たな診療科として女性骨盤底センター、甲状腺センター、脳血管センターを設置いたしました。地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院、地域医療支援病院に加え令和2年1月にがんゲノム医療連携病院に認定され、臨床遺伝・ゲノム医療センターを設置し、常に最良の医療を提供することをめざし実践しております。

近年の新型コロナウイルス感染症の際には、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号からの患者さんを始めとし、中等症以上の多くの感染患者さんを治療するとともに、本来当院で治療すべき患者さんの治療が継続できるよう全職員が一丸となって戦いました。この間、地域医療機関の先生方やスタッフの方々とも連携が深まり、共に地域の医療を支えていくチームとして大きな力が生まれたと感じています。

この診療科ガイドは2017年から毎年お届けしております。患者さんの円滑な受け入れを維持するとともに、逆紹介を含めた地域医療機関との連携を推進することで地域中核病院としての役割をしっかりと果たし続けたいと考えております。引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年水無月吉日

TOPICS

当院では「地域医療連携ニュース」を年4回、外来予定表や病院だよりとともに地域医療機関のみなさまにお送りし、新任の診療科長や病院の最近の取組などをご紹介します。また当院ホームページには過去の「地域医療連携ニュース」を掲載しております。今後も新任の診療科長のご挨拶や最近の取組などを発信してまいりますので、どうぞご覧ください。



新任 診療科長

消化器外科

診療科長・准教授



さわ だ なる ひこ
澤田 成彦

卒業 徳島大学 平成7年卒

専門 消化器外科学、
腹腔鏡手術（胃・大腸）、
ロボット支援手術

救急センター(ER)

診療科長・准教授



か とう あき ひと
加藤 晶人

卒業 昭和大学 平成17年卒

専門 救急医学、脳神経外科、
集中治療医学

内科

診療科長・准教授



い とう ひで とし
伊藤 英利

卒業 帝京大学 平成7年卒

専門 腎臓内科、血液浄化療法

耳鼻咽喉科

診療科長・准教授



の がき たけ とし
野垣 岳稔

卒業 昭和大学 平成14年卒

専門 耳疾患、鼻・副鼻腔疾患

最近の主な取組

地域医療連携ニュースは、毎年1月、4月、7月、10月に発行しており、地域医療機関のみなさまにお伝えしたいトピックなどを掲載しております。

最近の地域医療連携ニュースから、主な取組をご紹介します。

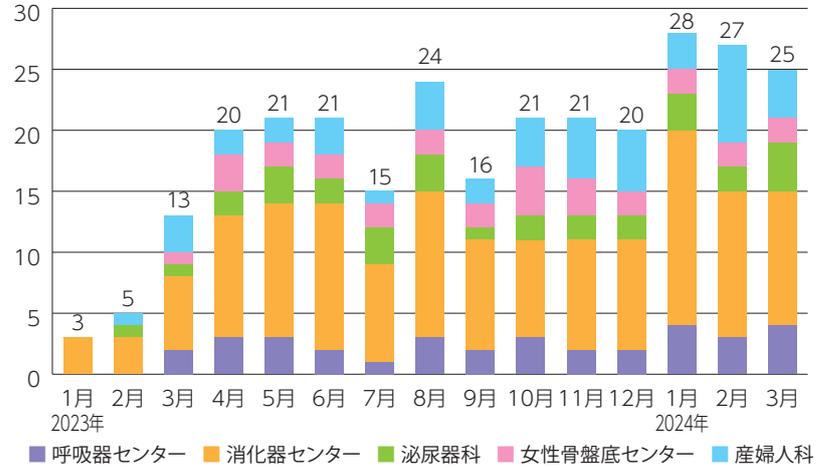


北部病院における最新型Robot支援手術 (da Vinci Xi)

2023年1月より導入いたしました最新型手術支援ロボット「ダビンチXi」による手術は、適応手術も順次拡大され、消化器外科、産婦人科、泌尿器科、呼吸器外科、女性骨盤底センターにおいて実施されています。

導入以来2024年3月までにすでに280件のロボット手術が安全に実施されています。引き続き、患者さんが最適な治療を受けることができるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

● ロボット支援手術 実績 (2023年1月～2024年3月)



産婦人科におけるロボット支援手術

2023年1月のダビンチXi導入に伴い、当科でもロボット支援下手術を積極的に導入しております。導入当初は月に2-3日程度、1日1件でしたが、現在は土曜日にロボットを運用したり、1日2件手術を行うなど、着実に手術件数を増やしております。

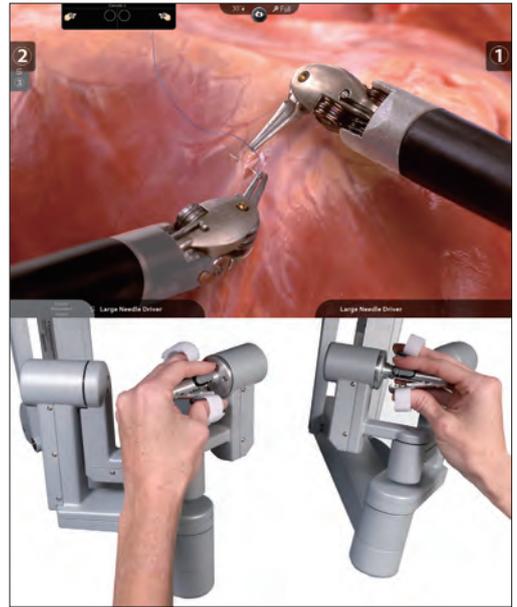
ダビンチ手術は患者さん、術者双方にとって優しい手術です。

当院で行っている子宮全摘術では、腹腔鏡下手術に比べより自由度の高い鉗子を用い、5箇所1cm程度の傷で手術を行います。手術時間は2-3時間程度で、出血量も腹腔鏡下手術に比べ少ない傾向にあります。術後1日目には歩行していただき、術後4日目に退院となります。術後の疼痛コントロールも良好であり、患者さんへの侵襲も腹腔鏡下手術と同等に少ない印象です。

術者にとっては3Dの高精細な視野の元、直感的操作で動かせる鉗子を用い、着座で行えるため、身体への負担も軽減されます。

ロボット手術は触覚がないというデメリットもありますが、3Dの高精細な視野、より緻密な操作が可能な鉗子といった、大きなメリットがあります。

現在のところ幸い大きな合併症なく、安全に導入できています。今後も安全性には充分配慮した上、患者さんに満足していただけるロボット支援下手術を提供できるよう心がけていく所存です。これからもよろしくお願い申し上げます。



〈地域医療連携ニュース 2024年1月号掲載〉

消化器センター外科におけるロボット支援手術

2023年1月よりロボット支援下直腸切除術を開始し、8/21までに57例を数えました。4-6月の総数は全国で2位の症例実績数でありました。これも、ひとえに北部病院にご紹介くださいました地域医療機関の先生方のご指導の賜物であり、深く感謝申し上げます。

また7/31よりロボット支援下胃切術を開始し、8/18までに4例を数えました。胃癌症例数が全国的にも減少している中で、9月中旬までに10例のロボット支援下胃切除術を予定しております。当院ではロボット手術の予定が連日入っており、ロボット手術の予定を組むのに苦労しているのが現状です。

直腸癌、胃癌のロボット手術を施行してきて感じたことですが、術後の血液データで炎症反応が低い、ということが

挙げられます。特に胃切除では、論文でも提示されておりますが、臍液漏発生率が低く、ロボット支援下手術では臍を圧排することが物理的にあまり無いことに由来すると考えられております。このようにロボット手術は術後合併症の軽減に寄与できています。

今後も、技術の鍛錬を怠ることなく、しかもロボット手術適応をきちんと見極めて、安全な手術を心がけて邁進する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

〈地域医療連携ニュース 2023年10月号掲載〉

女性骨盤底センターにおけるロボット支援手術

当センターでは、骨盤臓器脱に対する仙骨脛固定術を従来腹腔鏡で施行してきました。当院でのダビンチXi導入に伴って、2023年3月よりロボット支援下仙骨脛固定術を開始し、順調に症例数を重ねております。

仙骨脛固定術とは、短冊形メッシュの下端を前後の脛壁に、上端を岬角付近の前縦靭帯に固定することで、下垂した脛壁を正常な位置に戻す手術であり、再発率が低く優れた術式の一つです。臓器の位置を修復するために多くの剥離操作と縫合操作を必要とします。しかし、脛壁(=骨盤腔の深部)や岬角前面というのは、通常の腹腔鏡手術では鉗子が届きづらかったりスコープと干渉したりと、手術操作が困難な部位であると言えます。そのため、ダビンチXiによる緻密で自由度の高い鉗子操作や高精細な立体視は、この術式においては特に有用であり、より精度の高い手術が可能となります。

ただし手術時間は多少延長しますので、年齢、全身状態などによっては敢えて腹腔鏡手術を選択する場合や、他の術式(経腔的手術)をお勧めする場合があります。個々の患者さんへの十分なインフォームドコンセントのもとで最適な治療法を選択するように心がけています。

〈地域医療連携ニュース 2023年10月号掲載〉

呼吸器センター外科におけるロボット支援手術

肺がんや縦隔腫瘍の手術では、肺と心臓をつなぐ血管の処理や近接する心臓、肺、大動脈、食道、気管・気管支などの重要な構造物からの剥離といった繊細な操作が必要となります。当センターでは、胸腔鏡手術で低侵襲化を図りつつ、病気の根治性、手術の安全性をきちんと担保するということを心掛けて手術を行ってきました。

当院に導入されたDa Vinci Xi サージカルシステムは、従来のDa Vinci に比べ汎用性が高く、より繊細な操作が可能となっており、当科でも3月より肺がんや縦隔腫瘍に対する手術を開始しました。ロボット支援下手術のデメリットとしては、触覚がないことが挙げられますが、複雑な操作を可能にするロボットアームと手ブレの補正、3Dカメラでの立体的視野など、デメリットを補うだけの技術により繊細かつ確実な操作で、出血量も少なく、疼痛も軽減され、より低侵襲な手術が可能となりました。

ただ、術中の触診など触覚を必要とする手術もあるため、何より根治性、安全性の担保を第一に考え、ロボット手術の適否を判断し行っていこうと考えております。

〈地域医療連携ニュース 2023年7月号掲載〉

泌尿器科におけるロボット支援手術

当科では2月からロボット支援前立腺全摘術を開始し、以降順調に症例数を重ねております。

ダヴィンチ手術では従来の開腹、腹腔鏡手術にくらべ、低侵襲かつ確実な手術が可能となっております。前立腺のような骨盤深部にある臓器には特に向いているとされ、出血の軽減、確実な尿路の再建(尿道膀胱吻合)などに有用です。ただ、頭低位手術のため、閉塞隅角緑内障・脳動脈瘤を有する患者様は原則適応外となっております。また、ダヴィンチ手術にもデメリットはあり、特にトラブルが起きた時の対処には豊富な手術経験が必要とされています。当科では大学病院という利点を生かし、経験豊富な医師を昭和大学病院から招聘、安全で確実な手術を心がけています。

現在手術は齋藤克幸が行っておりますが、6月に松原英司が術者認定を取得し、これまで以上にダヴィンチが活用できるようになります。現在は前立腺癌手術のみを行っておりますが、泌尿器科分野では腎癌・腎盂尿管癌・膀胱癌・腎盂尿管移行部狭窄症、にダヴィンチ手術が適用されています。今後当科でも随時、症例範囲を広げていく予定です。

〈地域医療連携ニュース 2023年7月号掲載〉

腎移植外来を開設しました

住民の高齢化、糖尿病や高血圧などの生活習慣病の増加に伴い慢性腎臓病は増加の一途で、年間で約37,000名の方が透析療法を開始されています。2022年末時点では、日本全国では33万人以上の患者さんが透析療法を受けています。末期腎臓病の治療には透析療法（血液透析、腹膜透析）と腎移植がありますが、腎移植はQOLや生命予後に優れ、医療費の軽減にも有益である究極の治療法です。近年では、透析療法を介さず、保存期腎臓病から移植を行う先行的腎移植も行われています。多くの長所を有する腎移植ですが、様々な理由により日本では腎移植の普及は遅れており、年間1,800件程度です。

昭和大学では、腎代替療法として腎移植の普及に注力しており、2020年には昭和大学病院に腎移植センターが設置されました。この度、横浜北部地区でも腎移植医療を広く普及させるべく北部病院にも腎移植外来を開設しました。

その内容は、

- 保存期腎臓病で将来腎代替療法が必要と考えられる方や親族に対する腎移植の情報提供（移植の長所、短所の詳しい説明、実際の手順など）
- 横浜北部地域の透析施設で透析を受けている方や親族に対する腎移植の情報提供（献腎登録や生体腎移植の説明など）
- 移植の準備や生体腎移植におけるドナーのスクリーニング検査

となります。担当する医師は腎移植センターの吉武理センター長で診療日時は第3火曜日午後となります。

今後、北部病院では腎移植に関する情報を様々な形で積極的に発信して参ります。是非、腎移植を考えられている患者さんがおられたら、気軽に腎移植外来にご紹介をお願いします。

〈地域医療連携ニュース 2024年4月号掲載〉

小児病棟をリニューアルしました

2023年9月にスタートした当院の小児病棟のリニューアル工事が、2024年3月に完了しました。この改修は、小児病棟の治療環境を向上させ、保護者の方にも安心してご利用いただけるようにするためのものです。

リニューアル後の病床数は、一般病床33床、新生児集中治療室(NICU)12床、そして新生児回復室8床となります。

一般病床については、感染症対策を重視し、個室や2床部屋を増設しました。これにより、患者様により安全な治療環境を提供できるようになります。小児外科ではリニューアルした病棟を利用し、土曜日の臍ヘルニア日帰り手術を開始しました。

NICUに関しては、3床増床し、これまで手狭だったスペースを改善し、ベッド間の距離を広げました。保護者の方にもゆっくと赤ちゃんとの時間を過ごせるように配慮し、家族の絆を深めるための安心できる空間作りを心がけています。今回、陰圧個室を2床設けました。これにより、感染隔離が必要な赤ちゃんへの対応が可能となります。

また、新生児回復室では大きな窓を設けることにより、明るく開放的な環境を作り出しました。これは、赤ちゃんたちが心身ともに健やかに成長するための重要な要素です。



リニューアルした個室

当院は、これらの改修を通じて、小児医療の質の向上と患者様およびご家族の快適さを追求して参ります。地域の皆様にとって、より信頼できる医療機関となるよう努めてまいります。

〈地域医療連携ニュース 2024年4月号掲載〉



リニューアルしたプレイルーム



2023年 集中治療における遠隔医療 (eICU) を開始

昭和大学では、集中治療における遠隔医療 (tele-ICU) をアジアで初めて導入し、showa eConnectと名付け2018年4月から運用を開始しました。当初は昭和大学病院内の3ユニットと昭和大学江東豊洲病院のICUで運用が開始されましたが、2023年度より昭和大学横浜市北部病院と昭和大学藤が丘病院のICUを加えて、計98床で運用が開始されます。

tele-ICUとは、集中治療専門医が不足している現状を踏まえ、複数のICUをネットワークで接続し、その情報を現場から離れた昭和大学病院内の支援センターにいる集中治療専門医が閲覧し、現場ICUのスタッフや患者さんと双方向通信でつなぐことで支援するものです。tele-ICUを導入した米国では、ICU死亡率、病院死亡率、ICU入室期間それぞれが改善すると報告されています。

昭和大学ではフィリップス社の「eICU」システムを用いています。このシステムは400万例以上の臨床データを元に開発された患者さんの異常を察知するモニタリング技術を用いています。2018年に昭和大学のeICUが開始されたことにより、昭和大学の全ユニットの平均重症度は年々上昇しましたが、重症化とは別に死亡率は改善しました。また、ユニット間の連携が強化されたことで、ベッド利用率が改善しました。

支援センターには、集中治療専門医だけでなく、訓練を受けた認定看護師や医師事務補助者も配置されており、24時間体制で全ベッドのモニタリングを行っています。支援の基本的考え方は、予防的対応・継続性・現場の要望から成り立ち、患者さんの完全社会復帰を目標としています。支援センターへのコンサルテーションは原則的にDr to Dr、Ns to Nsのように職種ごとに行われておりますが、現場からの要望により医師看護師合同のtele-カンファレンスも行われます。

eICUの運用が開始されることで、医療の質の向上や医療の効率化が期待されます。引き続き、地域医療機関の皆様と連携を図りながら、患者さんが良質な医療を受けることができるように努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



支援センター



オンライン・ビデオ・システム
(提供：株式会社フィリップス・ジャパン)

〈地域医療連携ニュース 2023年4月号掲載〉

病院概要

名称	昭和大学横浜市北部病院
所在地	〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
電話番号	TEL : 045-949-7000(代表) FAX : 045-949-7117
URL	http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html
病院長	坂下 暁子
副院長	緒方 浩顕、川崎 恵吉、池田 裕一
研修管理委員長	緒方 浩顕
開院年月	平成13年4月1日
許可病床数	689床
標榜診療科	呼吸器センター、消化器センター、循環器センター、甲状腺センター、こどもセンター、脳血管センター、女性骨盤底センター、メンタルケアセンター、救急センター(ER)、緩和ケアセンター、内科、皮膚科、放射線科、臨床病理診断科、外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、病院歯科、歯科麻酔科
特別診療施設	救急センター、緩和ケア病棟、メンタルケア病棟、国際消化器内視鏡国際研修センター
外来患者数	332,915人、1日平均 1,140.1人(2023年度)
入院患者数	218,735人、1日平均 597.6人(2023年度)
平均在院日数	10.5日(2023年度)
平均病床利用率	87.1%(2023年度)
手術件数	10,598件(2023年度)
分娩数	1,026件(2023年度)
剖検数	12件 剖検率 1.6%(2023年度)
救急患者数	11,389人(救急搬送数：7,158人 ウォークイン患者数：4,231人)(2023年度)
認可事項	(財)日本医療機能評価機構病院機能評価認定、NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院
選定療養費	初診に係る特別の料金 再診に係る特別の料金 救急外来にかかる緊急性を要しない(いわゆる軽症)患者の時間外受診 予約診察による特別の料金(女性相談外来：特別予約診療) 特別の療養環境に係る料金 入院医療の必要性のない方で180日以上(老人は90日)の入院をされる方 制限回数を超える医療行為 水晶体再建術に使用する多焦点眼内レンズ

診療科紹介

- 呼吸器センター
- 消化器センター
- 循環器センター
- 甲状腺センター
- こどもセンター
- 脳血管センター
- 女性骨盤底センター
- メンタルケアセンター
- 救急センター (ER)
- 緩和ケアセンター
- 臨床遺伝・ゲノム医療センター
- 内科
- 皮膚科
- 放射線科・放射線治療科
- 臨床病理診断科
- 外科
- 乳腺外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 麻酔科
- 歯科麻酔科
- リハビリテーション科
- 病院歯科

呼吸器センター

センター長/呼吸器外科診療科長・教授



きた み あき ひこ
北見 明彦

卒業	昭和大学 昭和62年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本外科学会：指導医、 日本胸部外科学会：指導医・評議員、 日本呼吸器外科学会：指導医・評議員、 日本呼吸器内視鏡学会：指導医・評議員、 日本肺癌学会：評議員、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 同学会関東支部：幹事、 日本気胸・嚢胞性疾患学会：評議員・監事、 世界肺癌学会 他

呼吸器内科診療科長・教授



まつ くら さとし
松倉 聡

卒業	昭和大学 平成4年卒
専門	呼吸器内科学
資格	日本内科学会：総合内科専門医・内科指導医、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 日本アレルギー学会：専門医・指導医

診療内容・特色

呼吸器センターは内科と外科が一体となり、呼吸器疾患に対する診断および治療を迅速かつ適確に行っています。特に肺癌を含む胸部悪性腫瘍には、センターの和を活かし一丸となって手術治療、癌化学療法、放射線治療などの集学的治療について積極的に取り組んでいます。

内科が担当する疾患では気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、感染症、原発性肺癌、間質性肺炎が多く、入院治療では肺癌の薬物療法が最多です。外来診療では遷延性・慢性咳嗽の早期かつ的確な診断と治療、病診連携を重視しております。

一方外科は、原発性肺癌や転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、自然気胸などの手術を中心に、胸部外傷に対する外科治療、気道腫瘍に対するレーザー治療などにも取り組んでいます。最近では外科手術の低侵襲化の流れに乗り、完全胸腔鏡下手術に加え、肺癌や縦隔腫瘍に対するロボット支援下手術の件数も増加しています。

日々のカンファレンスはもとより、画像と病理の対比を主目的としたChest Conference、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士など多業種合同で行う呼吸器センター全体での症例検討会などを通じ、日常臨床の質の向上を目指しています。

主な対象疾患

原発性肺癌、転移性肺腫瘍、肺炎、間質性肺炎、気管支喘息、アレルギー性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、胸部外傷、縦隔気腫、乳び胸

スタッフ

准教授



うえ まつ しゅう ご
植松 秀護

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本呼吸器外科学会：専門医、 日本呼吸器外科学会：胸腔鏡安全 技術認定、 日本外科学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治 療認定医、 日本呼吸器内視鏡学会：気管支鏡 専門医

講師



すず き こうすけ
鈴木 浩介

卒業	昭和大学 平成17年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本呼吸器外科学会：専門医、 日本外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治 療認定医、 日本呼吸器内視鏡学会：気管支鏡 専門医、 ICD制度協議会：認定ICD、 日本DMAT隊員、 ダヴィンチコンソールサーजन

	氏名	卒業	専門	資格
講師	はやし まこと 林 誠	昭和大学 平成17年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医・総合内科専門医・内 科指導医、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 日本感染症学会：専門医、 日本化学療法学会：抗菌化学療法認定医・指導医、 ICD制度協議会：認定ICD、 日本結核病学会：結核抗酸菌症認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
助教	おおほし しんいち 大橋 慎一	埼玉医科大学 平成23年卒	呼吸器外科学	日本外科学会：専門医 日本呼吸器外科：専門医 日本呼吸器学会：専門医
助教	かきうち ゆうすけ 柿内 佑介	昭和大学 平成24年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医 日本呼吸器学会：専門医
助教	さかい しょうご 酒井 翔吾	昭和大学 平成25年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医
助教	たかの けんじ 高野 賢治	日本医科大学 平成27年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医、 日本呼吸器学会：専門医
助教	たかみや しんのすけ 高宮 新之介	昭和大学 平成27年卒	呼吸器外科	日本外科学会：専門医
助教	たしま ひろやす 瀧島 弘康	昭和大学 平成28年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医
助教	さきの そうま 岸野 壮真	昭和大学 平成30年卒	呼吸器内科学	
助教	おかだ ももか 岡田 桃華	東京女子医科大学 令和1年卒	呼吸器外科学	
助教	みつなり たくや 三成 卓也	昭和大学 令和2年卒	呼吸器内科	
助教	はるき はるな 春木 陽菜	山口大学 令和6年卒	呼吸器内科	
助教	いでした まゆ 井手下 真友	昭和大学 令和6年卒	呼吸器内科	
助教	ほんだ たすく 本田 資	昭和大学 令和6年卒	呼吸器内科	

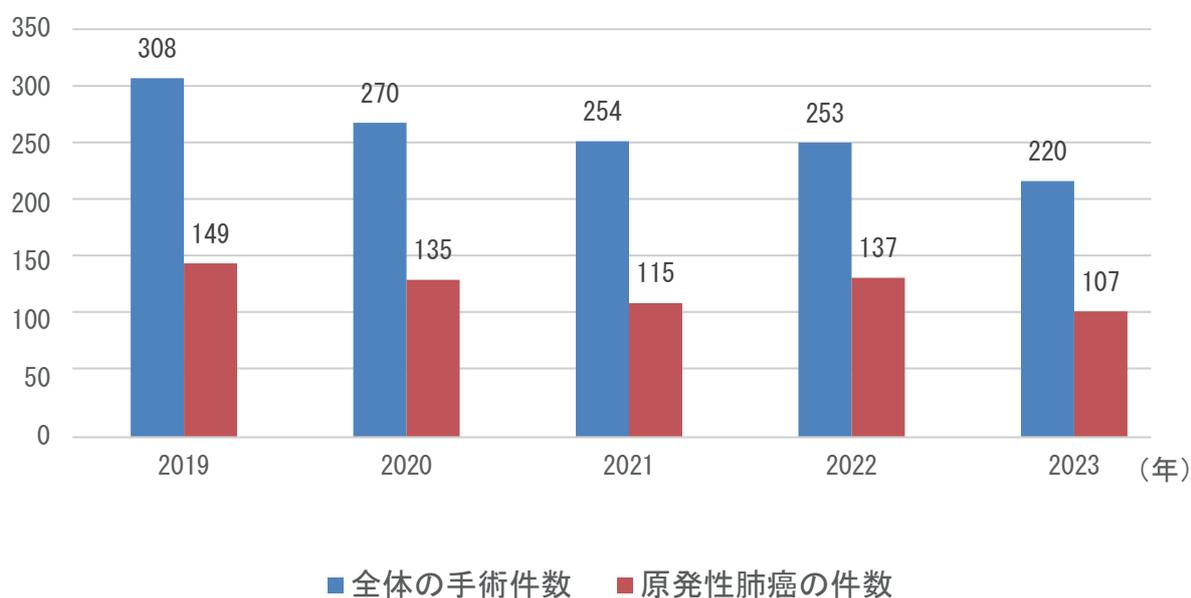
呼吸器センター

主な診療実績等

●2023年度 手術実績 計220例

原発性肺癌	107例	胸壁腫瘍	0例
転移性肺腫瘍	8例	肺感染症・膿胸	11例
縦隔腫瘍	18例	生検	7例
気胸嚢胞性肺疾患	50例	その他	12例
良性肺結節	7例		

全身麻酔下手術・原発性肺癌手術の件数



●2023年度 気管支鏡検査件数は305件であり、例年300件を超える件数を実施しています。呼吸器内科では、肺癌に対して、抗癌剤、放射線治療を組み合わせた最新の治療を行っています。当センターでの原発性肺癌治療の新規導入は、例年100例を超えています。2023年の累積実績は900例を超えました。また肺癌以外では、気管支喘息などのアレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患などを中心に治療を行っています。

消化器センター

センター長／特任教授



く どう しん えい
工藤 進英

卒業	新潟大学 昭和48年卒
専門	消化器内視鏡学、大腸癌診断・治療
資格	日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・学術評議員・名誉会員、日本消化器病学会：功労会員、日本内視鏡外科学会：特別会員、日本大腸検査学会：理事長

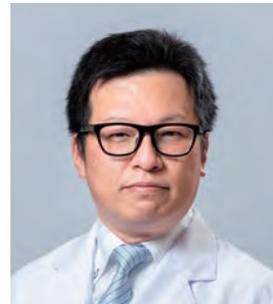
消化器内科診療科長・教授



ば ば とし ゆき
馬場 俊之

卒業	昭和大学 平成3年卒
専門	消化器内科学(肝臓、門脈圧亢進症)
資格	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医・関東支部評議員、日本肝臓学会：専門医・指導医・東部会評議員、門脈圧亢進症学会：技術認定医(内視鏡)・評議員、日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、日本大腸検査学会：評議員、臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了

消化器外科診療科長・准教授



さ わ だ なる ひこ
澤田 成彦

卒業	徳島大学 平成7年卒
専門	消化器外科学、腹腔鏡手術(胃・大腸)、ロボット支援手術
資格	日本外科学会：認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医、日本消化器外科学会：専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医・評議員、日本消化管学会：胃腸科指導医・胃腸科専門医、日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、ICD 制度協議会：インフェクションコントロールドクター(ICD)、日本職業・災害医学会：海外勤務健康管理指導者、日本医師会認定産業医、日本大腸検査学会：評議員、日本腹部救急医学会：評議員、Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeon、日本抗加齢医学会：専門医、臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了

消化器センター
診療科紹介

主な対象疾患

- 食道疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、感染性・薬剤性食道炎、早期食道癌
- 胃・十二指腸疾患：胃潰瘍、胃炎(ヘリコバクテリウム胃炎を含む)、胃悪性リンパ腫、早期・進行胃癌、十二指腸潰瘍、十二指腸腫瘍
- 大腸疾患：早期・進行大腸癌、感染性腸炎、腸結核、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、腸管ペーチェット
- 肝疾患：急性肝炎、慢性肝疾患(B型肝炎、C型肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、アルコール性肝障害)、非アルコール性脂肪性肝疾患、肝硬変(食道胃静脈瘤、腹水、肝性脳症)、原発性肝癌、転移性肝癌、肝内胆管癌
- 胆道疾患：急性胆嚢炎、急性胆管炎、閉塞性黄疸、胆石、胆嚢ポリープ、胆嚢癌、胆管癌、十二指腸乳頭部腫瘍
- 膵疾患：急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵管内乳頭状粘液腫瘍、膵癌

消化器センター

診療内容・特色

消化器センターでは、最小の負担で最大の効果をあげるため、内科と外科が協力し、診断から治療までシームレスな医療を実現しています。特に消化管領域は、大腸を中心に最新の内視鏡による早期発見と、根治性を損なわない限り内視鏡治療や腹腔鏡手術による最小の負担を目指しており、患者さんにやさしい、質の高い医療を心がけています。

上部・下部内視鏡は、それぞれ年間6000～7000件以上の検査を行っています。下部内視鏡には、当センターで開発したAIによる内視鏡画像診断支援ソフトウェア(EndoBRAINシリーズ)を導入し、より精度の高い腫瘍性病変の検出、深達度診断を行っています。内視鏡的粘膜下層切除術(ESD)は、胃、大腸を中心に年間200～300件以上を行っており、咽頭、食道、十二指腸と難易度が高い臓器にも対応しています。外科手術は、胃・大腸悪性腫瘍を中心に年間800件以上の手術を行っており、特に大腸の腹腔鏡手術率は79%を達成しております。また、2023年より胃がん・大腸がんに対するロボット支援手術も導入しました。なお、内視鏡治療や外科治療で根治が得られない進行癌には、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害を併用したがん薬物療法を行っており、ゲノム医療連携病として遺伝子パネル検査も行っています。

肝胆膵疾患にも柔軟に対応しており、胆道感染症や閉塞黄疸に対し、年間300件以上の内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)による胆道ドレーズを行っており、内科と外科が協力して原因疾患の治療を行っています。胆嚢摘出術は年間200件以上行っており、殆どが腹腔鏡手術です。また、肝疾患にも幅広く対応し、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌、門脈圧亢進症の治療を行っています。

近隣でご開業の先生方とは、Dr to Drや連携勉強会(新型コロナウイルス感染対策のため開催を見送っていますが、今後開催を計画しています)を通して連携を図り、患者さんが地域で継続性のある適切な医療を受けられるように努めていきたいと思っています。

スタッフ

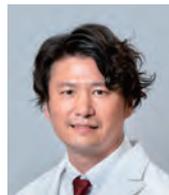
准教授



え なみ ゆう た
榎 並 延 太

卒業	昭和大学 平成7年卒
専門	消化器外科学(肝胆膵)
資格	日本外科学会：認定医・専門医・指導医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医・指導医、 日本臨床外科学会：評議員、 日本肝臓学会：専門医、 日本消化器外科学会：専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本肝胆膵外科学会：評議員、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

准教授



わか むら くに ひこ
若 村 邦 彦

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	消化器内科学、がん化学療法
資格	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・FJGES・学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医・指導医・学会評議員・関東支部評議員、 日本消化管学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 日本腹部救急医学会：評議員、 日本在宅救急医学会：評議員、 横浜市都筑区医師会：理事、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師



はやし たけ まさ
林 武雅

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	消化器内科学、消化器内視鏡治療
資格	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・FJGES・学術評議員、 日本消化器病学会：専門医・指導医・学会評議員・関東支部評議員、 日本消化管学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師



お が た の り ゆ き
小形 典之

卒業	金沢大学 平成16年卒
専門	消化器内科学、炎症性腸疾患
資格	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・FJGES、 日本消化器病学会：専門医・指導医、 日本カプセル内視鏡学会：認定医・指導医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師



み さ わ ま さ し
三澤 将史

卒業	新潟大学 平成17年卒
専門	消化器内科学、AI診断
資格	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員・編集委員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了、 共用試験医学系臨床実習前OSCE評価者認定講習会修了、 Member of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy

講師



いち ま さ か つ ろ う
一政 克朗

卒業	東北大学 平成19年卒
専門	消化器内科学、AI診断
資格	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・FJGES・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本消化管学会：暫定胃腸科専門医・胃腸科認定医、 人工知能学会：会員、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了、 Member of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy

講師



む か い し ゅん べい
向井 俊平

卒業	徳島大学 平成15年卒
専門	消化器外科学
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本消化器病学会：専門医、 日本消化管学会：胃腸科専門医、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師



た け は ら ゆ う す け
竹原 雄介

卒業	徳島大学 平成18年卒
専門	消化器外科学、ロボット支援手術
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本腹部救急医学会：認定医、 日本消化管学会：胃腸科専門医・指導医、 Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeon、 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会：ストマ認定士、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

消化器センター

講師



まえ だ やす はる
前田 康晴

卒業	滋賀医科大学 平成20年卒
専門	消化器内科学、炎症性腸疾患
資格	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・FJGES・学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本カプセル内視鏡学会：認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了、 Member of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy, Fellow of Japan Gastroenterological Endoscopy Society

講師



お が わ ゆ う し
小川 悠史

卒業	昭和大学 平成20年卒
専門	消化器内科学
資格	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了、 Member of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy, Google Tensorflow Developer Certificate, Google Data Analytics Certificate

講師



な か は ら けん た
中原 健太

卒業	鳥取大学 平成20年卒
専門	消化器外科学
資格	日本外科学会：専門医、 日本消化器外科学会：指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本消化器病学会：専門医、 日本消化管学会：胃腸科専門医、 日本腹部救急医学会：認定医、 日本胆道学会：指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

	氏名	卒業	専門	資格
助教	おざわ よしあき 小沢 慶彰	北里大学 平成18年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本腹部救急医学会：腹部救急認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	しまだ しょうじ 島田 翔士	昭和大学 平成20年卒	消化器外科	日本外科学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医・評議員、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本腹部救急医学会：認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、 Member of the European Association for Gastroenterology and Endoscopy, 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	かとう かずき 加藤 一樹	埼玉医科大学 平成20年卒	消化器内科	緩和ケア講習会修了

消化器センター
診療科紹介

	氏名	卒業	専門	資格
助教	こうやま ゆうた 神山 勇太	新潟大学 平成21年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	さくらい たつや 桜井 達也	昭和大学 平成21年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	さとう ゆうた 佐藤 雄太	福岡大学 平成22年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡病学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：癌治療認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	あべ まさひろ 阿部 正洋	群馬大学 平成24年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医
助教	おくむら たいし 奥村 大志	杏林大学 平成24年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	もちづき けんいち 望月 健一	昭和大学 平成26年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本消化管学会：胃腸科専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 向精神薬の適正使用に係る研修修了、 緩和ケア講習会修了
助教	たむら えり 田村 恵理	高知大学 平成26年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 緩和ケア講習会修了
助教	みねざし ようすけ 峯岸 洋介	昭和大学 平成26年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	たかの ようじろう 高野 洋次郎	杏林大学 平成27年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 日本消化器外科学会：専門医・消化器がん外科治 療認定医、 日本腹部救急医学会：認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	せき じゅんいち 関 純一	日本大学 平成26年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 日本消化器外科学会：専門医・消化器がん外科治 療認定医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 日本腹部救急医学会：認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 上部消化管スクリーニング認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	こばやし ひろあき 小林 弘明	昭和大学 平成29年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 緩和ケア講習会修了

消化器センター

	氏名	卒業	専門	資格
助教	たきしま かずみ 瀧島 和美	金沢医科大学 平成28年卒	消化器内科学、 炎症性腸疾患	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 緩和ケア講習会修了
助教	みやた ゆうき 宮田 裕輝	昭和大学 平成29年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 緩和ケア講習会修了
助教	なかがわ みほこ 中川 美星子	昭和大学 平成30年卒	消化器外科学	下肢静脈瘤血管内治療実施医、 緩和ケア講習会修了
助教	もりた ゆりこ 森田 友梨子	東京女子医大 平成30年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 緩和ケア講習会修了
助教	くろき たかのり 黒木 貴典	昭和大学 平成30年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	せんば しげのり 仙波 重則	昭和大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	しぶや ともや 澁谷 智也	杏林大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	いで ゆうたろう 井手 雄太郎	宮崎大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	かわしま じろう 河島 二郎	金沢医科大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	まつど しょうへい 松土 昇平	昭和大学 平成31年卒	消化器外科学	
助教	しばた こうき 柴田 耕暉	昭和大学 平成31年卒	消化器外科学	
助教	たての けい 舘野 桂	昭和大学 平成31年卒	消化器外科学	
助教	にいむら ゆう 新村 裕	聖マリアンナ医科大学 令和2年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	ささべ けいすけ 佐々部 啓介	昭和大学 令和2年卒	消化器内科学	
助教	こまい そうた 駒井 聡太	東邦大学 令和2年卒	消化器外科学	緩和ケア講習会修了
助教	せき ふうこ 関 楓子	産業医科大学 令和3年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	おおたに しげき 大谷 成希	福島県立医科大学 令和3年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	ふくなが ひろたか 福永 博隆	昭和大学 令和4年卒	消化器内科学	
助教	あいば こうき 相羽 公貴	杏林大学 令和4年卒	消化器内科学	
助教	たきざわ ともたか 滝沢 友崇	日本医科大学 令和4年卒	消化器内科学	
助教	たかはし えみ 高橋 愛美	東海大学 令和4年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	いまがわ りさ 今川 りさ	東海大学 令和4年卒	消化器外科	緩和ケア講習会修了

主な診療実績等

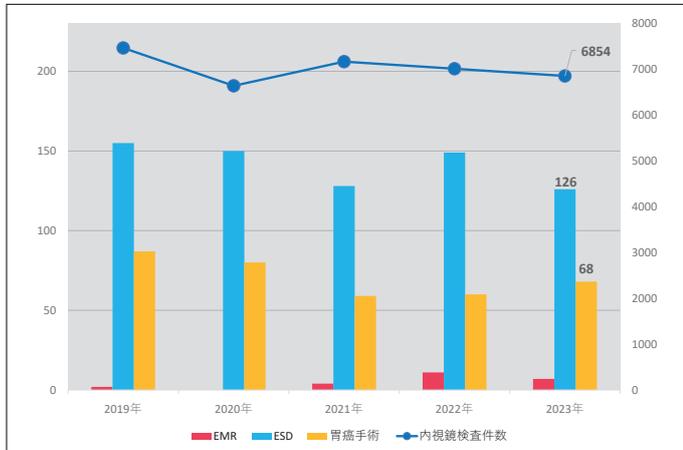
●内科領域 (2023年)

上部消化管内視鏡検査	6,854例	
下部消化管内視鏡検査	6,389例	
内視鏡治療	内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	251例 (咽頭2、食道26、胃94、十二指腸4、大腸125)
	内視鏡的逆行性膵胆管造影 (ERCP)	337例 (経乳頭の処置：332例)
小腸内視鏡	バルーン内視鏡：76例、カプセル内視鏡：23例	
超音波内視鏡 (胆膵領域)	EUS 67例 (FNA：10例)	

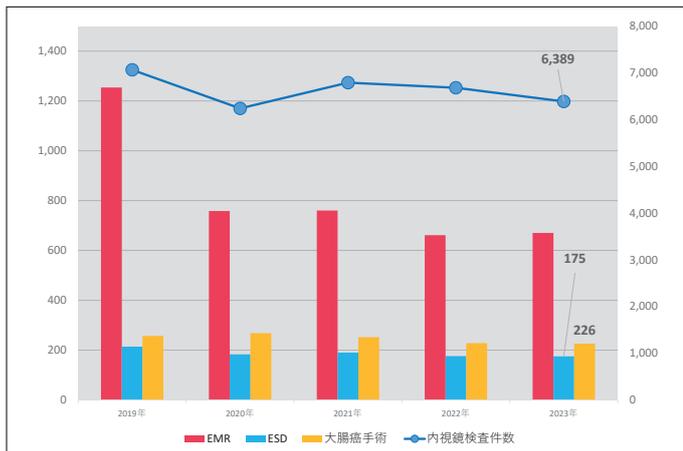
●外科領域 (2023年)

胃悪性腫瘍手術	54例 (ロボット併用腹腔鏡手術：20例、腹腔鏡手術：12例、開腹手術：22例)
胃局所切除術	7例 (鏡視下手術：7例、開腹手術：0例)
大腸悪性腫瘍手術	226例 (ロボット併用腹腔鏡手術：69例、腹腔鏡手術：110例、開腹手術：47件)
肝胆膵手術	221例 (胆嚢摘出術：161例 (鏡視下手術：149例、開腹手術：12例)、膵頭十二指腸切除：9例、肝切除：12例)

●上部消化管疾患 検査と治療



●下部消化管疾患 検査と治療



循環器センター 【心臓血管外科】

センター長／特任教授



なぶち あきひろ
南 明 宏

卒業	奈良県立医科大学 昭和58年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士、 厚生労働省認定臨床研修指導医、 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構：心臓血管外科専門医・修練指導医、 日本外科学会：外科専門医・指導医、 日本循環器学会：循環器専門医、 アジア心臓血管外科国際会員

心臓血管外科診療科長・教授



おくやま ひろし
奥 山 浩

卒業	東京慈恵会医科大学 昭和62年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士、 厚生労働省認定臨床研修指導医、 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構：心臓血管外科専門医・修練指導医、 日本外科学会：外科専門医・指導医、 日本循環器学会：循環器専門医、 アジア心臓血管外科国際会員

診療内容・特色

循環器センター(心臓血管外科)は、2015年11月から現チームでスタート、2018年1月に小児心臓病の診療グループが旗の台の昭和大学病院に移転後、狭心症・心筋梗塞・弁膜症・大動脈疾患といった成人の心臓血管外科治療に特化した診療科となりました。

落合正彦先生が率いる循環器内科グループと綿密にタッグを組み、患者さんに適した治療方針の判断を行っています。特に最近はお互いの技術を最大限に生かした動脈瘤に対する血管内治療(ステントグラフト内挿術)も施行しています。

2023年4月より心臓血管外科診療科長に奥山浩が就任しました。循環器センター長南明宏とともに、この体制で引き続き神奈川地区をはじめ関東全域での心臓血管外科手術の基幹病院となることを目標に日々精進していきたいと考えております。

心臓血管外科の歴史の中で重要とされる一つとして心拍動下バイパス術があります。この先駆者である南明宏センター長が その手技を全国に普及、教育してきた実績があります。その精神、技術を学びながら現在当院では後天性心疾患の広範囲な手術を施行、多くの患者さんへ貢献、心臓外科医の育成、指導を行っております。

主な対象疾患

- 成人後天性心疾患
- 虚血性心疾患、弁膜症(大動脈弁や僧帽弁などの狭窄・閉鎖不全)、大動脈瘤、末梢動脈疾患など
- 成人の不整脈：心房細動、心房粗動、上室頻拍、ペースメーカーなど

スタッフ

助教



なか がわ ひろ ふみ
中川 博文

卒業	三重大学 平成18年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士、 日本外科学会：外科専門医、 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構：心臓血管外科専門医・修練指導医、 厚生労働省認定臨床研修指導医

助教



てら だ ひろ ひと
寺田 拓仁

卒業	旭川医科大学 平成24年卒
専門	成人心臓血管外科 ステントグラフト 下肢静脈瘤血管内治療
資格	日本外科学会：外科専門医、 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構：心臓血管外科専門医、 厚生労働省認定臨床研修指導医、 静脈瘤血管内焼灼術実施医

助教



なか むら けい すけ
中村 圭佑

卒業	昭和大学 平成28年卒
専門	成人心臓血管外科 ステントグラフト
資格	厚生労働省認定臨床研修指導医

助教



かわ はた たい し
川幡 大嗣

卒業	昭和大学 平成29年卒
専門	成人心臓血管外科 ステントグラフト
資格	日本専門医認定機構：外科専門医、 腹部ステントグラフト内挿術実施医

助教



きた お ま ゆ こ
北尾 真友子

卒業	聖マリアンナ医科大学 令和3年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	

看護師・コーディネーター



ふか つ こ
深津 より子

卒業	
専門	
資格	医師、患者間を繋ぎ、術前、入院、術後の問題を円滑に管理しています。

主な診療実績等

●成人心臓外科・手術（合併手術あり）

手術名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
冠動脈バイパス術	85件	77件	73件	84件	57件
弁膜症手術	102件	57件	76件	66件	61件
大血管手術	47件	23件	24件	20件	18件
心臓腫瘍	2件	2件	1件	1件	1件
末梢血管手術	12件	17件	12件	25件	28件
先天性手術	2件	0件	2件	0件	1件

循環器センター 【循環器内科】

循環器内科診療科長・特任教授



おち あい まさ ひこ
落合 正彦

卒業	東京大学 昭和59年卒
専門	冠動脈インターベンション(特に慢性完全閉塞、高度石灰化病変に対するロータブレータ治療)
資格	日本循環器学会：循環器専門医、 日本内科学会：総合内科専門医、 日本心血管インターベンション学会：専門医、 米国・欧州心臓病学会正会員、 米国心血管インターベンション学会特別正会員

診療内容・特色

当科は24時間365日、医師が常時待機しており、急性心筋梗塞や急性心不全などの救急疾患に対応しています。大動脈バルーンパンピング(IABP)や経皮的心肺補助装置(PCPS/ECMO)を有しており、心原性ショックや致死性不整脈を伴う重症症例への救命処置が可能です。

また高速回転式アテレクトミー(Rotablator)の認定施設であり、糖尿病、維持透析の狭心症症例に多く見られる高度石灰化を伴う冠動脈病変に対するカテーテル治療(冠動脈形成術・ステント留置術)にも積極的に取り組んでいます。

心房細動などの頻拍性不整脈に対するカテーテルアブレーションや、徐脈性不整脈や心不全へのペースメーカー治療、下肢閉塞性動脈硬化症に対する末梢血管インターベンションにも力を入れています。

従来、外科的手術しか治療法がなかった構造的な心疾患や大動脈瘤へのカテーテル治療にも力を入れています。具体的には僧帽弁閉鎖不全症へのMitraClipによる経カテーテル的僧帽弁形成術、抗凝固療法困難な心房細動への心原性塞栓予防のための経カテーテル左心耳閉鎖術、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術・コイル塞栓術などを開始しております。構造的な心疾患へのカテーテル治療は発展を続けると考えられます。

当科は総合的・全人的な循環器診療を提供できるリソース、人員を要しておりますので、今後もこれら先進的な循環器治療を提供していきます。

主な対象疾患

- 虚血性心疾患(急性/陳旧性心筋梗塞、不安定/労作性狭心症)
- 心不全、心臓弁膜症(僧帽弁閉鎖不全症など)
- 不整脈(上室性頻拍、心房細動、心房粗動、心室頻拍、心室細動、洞不全症候群、高度房室ブロック等)
- 末梢血管疾患(閉塞性動脈硬化症、下肢末梢血管疾患、頸動脈硬化症、腎動脈狭窄症、鎖骨下動脈狭窄症)
- 肺動脈塞栓症、深部下肢静脈血栓症

スタッフ

准教授



いそむら なおえい
磯村 直栄

卒業	防衛医科大学校 平成10年卒
専門	循環器内科一般、虚血性心疾患、冠動脈インターベンション(高度石灰化病変に対するロータブレード治療)
資格	日本循環器学会：循環器専門医、日本内科学会：総合内科専門医、日本心血管インターベンション学会：専門医、JMECC・ICLS インストラクター、臨床研修指導医、身体障害者指定医(心臓機能障害の診断)

講師



おかべ としたか
岡部 俊孝

卒業	昭和大学 平成20年卒
専門	循環器内科一般、虚血性心疾患、冠動脈インターベンション(高度石灰化病変に対するロータブレード治療)、構造的疾患へのカテーテル治療、心不全、腹部大動脈瘤
資格	日本循環器学会：循環器専門医、日本内科学会：総合内科専門医、日本心血管インターベンション学会：専門医、米国心臓病学会正会員、臨床研修指導医、身体障害者指定医(心臓機能障害の診断)、難病指定医、腹部ステントグラフト実施医・指導医、マイトラクリップインプランター、浅大腿動脈ステントグラフト実施医、リードレスペースメーカー実施医(Micra)、植込み型除細動器(ICD)/ペースンクによる心不全治療(CRT)研修証取得

〔循環器内科〕
循環器センター

診療科紹介

講師



い がわ わたる
井川 渉

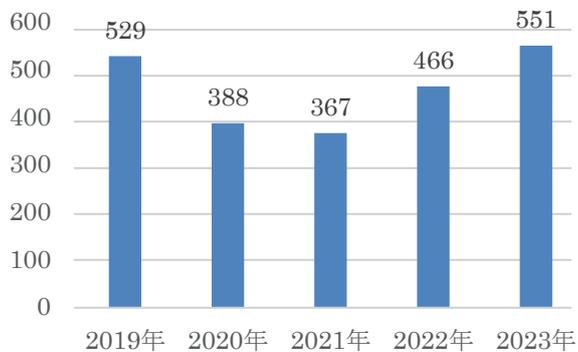
卒業	昭和大学 平成24年卒
専門	循環器内科一般、冠動脈インターベンション、不整脈カテーテルアブレーション
資格	日本内科学会：内科認定医、日本循環器学会：循環器専門医、日本心血管インターベンション学会：認定医、日本不整脈心電学会：不整脈専門医、リードレスペースメーカー実施医、皮下植え込み型除細動器(S-ICD)実施医、Watchman実施医、臨床研修指導医

循環器センター 【循環器内科】

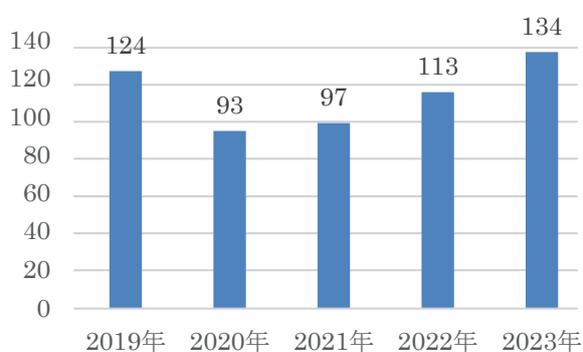
	氏名	卒業	専門	資格
講師	つかもと しばと 塚本 茂人	昭和大学 平成17年卒	循環器内科一般、 心不全、 冠動脈インターベンション	日本内科学会：内科認定医、 日本心血管インターベンション学会：認定医、 日本循環器学会：循環器専門医
助教	えばら せい 荻原 誠太郎	昭和大学 平成21年卒	循環器内科一般、 冠動脈インターベンション	日本内科学会：内科認定医、 日本心血管インターベンション学会：認定医、 日本循環器学会：循環器専門医、 臨床研修指導医
助教	さいとう じゅんべい 齋藤 惇平	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般、 冠動脈インターベンション、 不整脈カテーテルアブ レーション	日本内科学会：内科認定医、 日本循環器学会：循環器専門医、 日本不整脈心電学会：不整脈専門医、 リードスペースメーカー実施医、 皮下植え込み型除細動器(S-ICD)実施医
助教	きむら たろう 木村 太郎	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科認定医、 日本心血管インターベンション学会：認定医、 日本循環器学会：循環器専門医
助教	しまづ すぐる 嶋津 英	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科認定医、 臨床研修指導医、 日本心血管インターベンション学会：認定医
助教	いしがき しげひろ 石垣 成紘	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専門医
助教	うずもと そういちろう 薄元 宗一郎	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般 冠動脈インターベンション、 不整脈カテーテル アブレーション	日本内科学会：内科専門医、 リードスペースメーカー実施医、 皮下植え込み型除細動器(S-ICD)実施医、 Watchman実施医
助教	いとう ゆうき 伊藤 有輝	東邦大学 平成30年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション、 心臓超音波	日本内科学会：内科専門医
助教	おおくら たけし 大倉 武	昭和大学 平成30年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専門医
助教	ぎぼ ゆうま 宜保 雄磨	昭和大学 平成30年卒	循環器内科一般、 冠動脈インターベンション、 不整脈カテーテル アブレーション	日本内科学会：内科専門医、 Watchman実施医
助教	とよしま だいき 豊島 大貴	昭和大学 平成31年卒	循環器内科一般、 心臓超音波、 冠動脈インターベンション	日本内科学会：内科専攻医、 SHD心エコー図認証医
助教	かとう だいき 加藤 大貴	昭和大学 令和3年卒	循環器内科一般	日本内科学会：内科専攻医
助教	まつだ としひこ 松田 敏彦	昭和大学 令和3年卒	循環器内科一般	日本内科学会：内科専攻医
助教	さとう ひろとし 佐藤 洋俊	昭和大学 令和3年卒	循環器内科一般	日本内科学会：内科専攻医

主な診療実績等

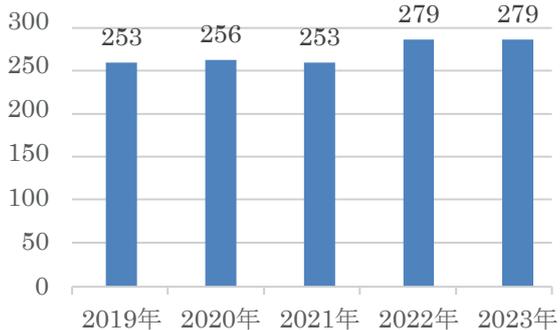
冠動脈インターベンション



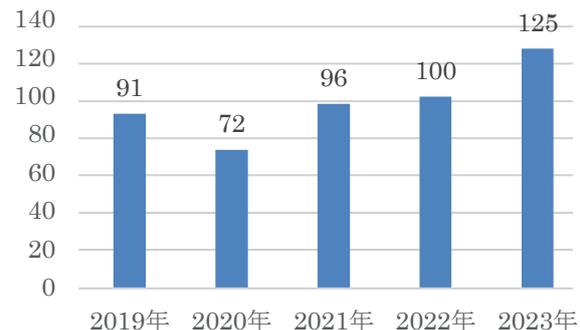
末梢血管インターベンション



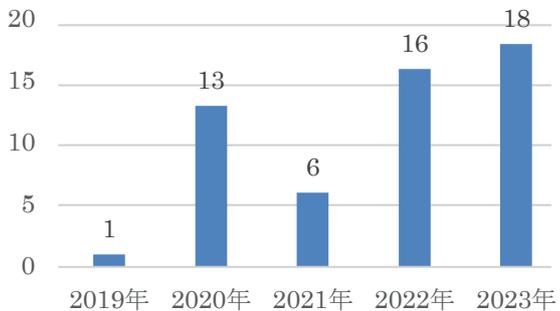
不整脈アブレーション



ペースメーカー等の植込み術



腹部大動脈ステントグラフト 内挿術



甲状腺センター

センター長／特任教授



ふく なり のぶ ひろ
福成 信博

卒業	昭和大学 昭和59年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波、インターベンション治療
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本内分泌外科学会：専門医・評議員

診療内容・特色

全国の大学病院のなかで唯一の甲状腺センターです。診療科の壁をなくし、外科、内科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、病理診断科が協力して診療にあたりますので、甲状腺、副甲状腺疾患に対する様々な治療法の中で患者さんにとって最良の選択肢を提示できます。手術療法に関してはできる限り術後創部が目立たないように様々な工夫をしています。非手術的な加療(Intervention)も積極的に取り入れていますのでご相談下さい。当科は甲状腺ラジオ波治療を行う日本で唯一の施設で、これまでに250例以上の治療実績があります。

様々な合併症が併存する場合でも大学病院の特性を生かし、各診療科、集中治療室(ICU)と連携した治療が可能です。

主な対象疾患

- 甲状腺疾患：甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病、橋本病、甲状腺嚢胞 など
- 副甲状腺疾患：副甲状腺腺腫、副甲状腺癌

【甲状腺ラジオ波治療】

傷を作らず甲状腺のしこりを治す新しい治療法です。



スタッフ

准教授



ふくしま みつひろ
福島 光浩

卒業	日本医科大学 平成4年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本内分泌外科学会：専門医・指導医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医

准教授



くに い よう
國井 葉

卒業	日本医科大学 平成11年卒
専門	内分泌内科、甲状腺超音波、 一般内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医、 日本内分泌学会：内科専門医・指導医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本超音波医学会：専門医・指導医

講師



おおさわ けいこ
大桑 恵子

卒業	浜松医科大学 平成5年卒
専門	内分泌外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本内分泌外科学会：専門医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本消化器外科学会：認定医

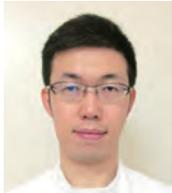
講師



さかうえ さとし
坂上 聡志

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	内分泌外科、一般消化器外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医

講師



なか の まさひで
中野 賢英

卒業	昭和大学 平成18年卒
専門	内分泌外科、一般外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本甲状腺学会：専門医、 日本超音波医学会：専門医、 日本DMAT 隊員

専任臨床検査技師



さ さ き えいじ
佐々木 栄司

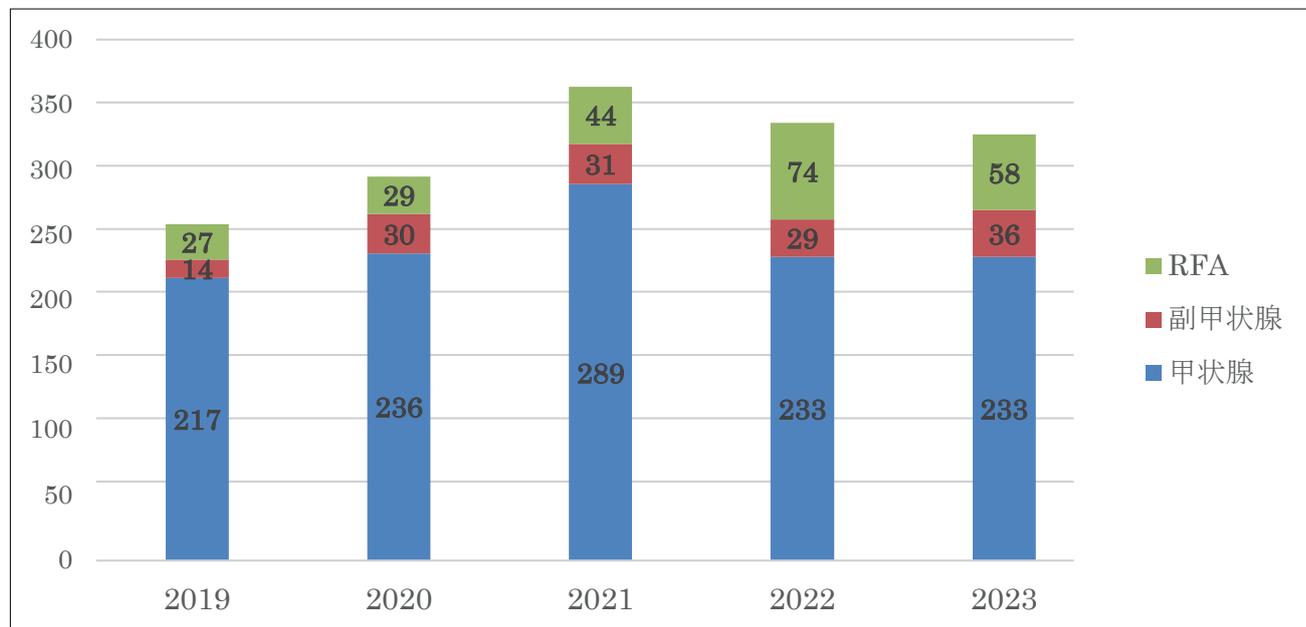
卒業	北里衛生科学専門学院 昭和62年卒
専門	甲状腺検査
資格	2級臨床病理技術士、 細胞検査士、 国際細胞検査士、 日本超音波医学会：超音波検査士 (体表臓器)

	氏名	卒業	専門	資格
助教	こだま えりこ 児玉 恵理子	昭和大学 平成27年卒	内分泌内科、 糖尿病、 一般内科	日本内科学会：内科認定医、 日本内分泌学会：内科専門医、 日本糖尿病学会：専門医
助教	つかもと だいき 塚本 大樹	昭和大学 平成29年卒	内分泌外科、 一般外科、 救急医学	日本外科学会：専門医、 日本医師会：認定産業医

甲状腺センター

主な診療実績等

●2019年～2023年 手術件数推移



甲状腺センター

診療科紹介

センター長/小児内科診療科長・教授/副院長



いけだ ひろかず
池田 裕一

小児外科診療科長・准教授



すぎやま あきひで
杉山 彰英

卒業	昭和大学 平成7年卒
専門	小児腎臓、排尿障害
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医・指導医、 災害時小児周産期リエゾン担当、コンサータ処方登録医

卒業	昭和大学 平成9年卒
専門	小児外科一般、新生児外科、小児内視鏡外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本小児外科学会：専門医・指導医、 日本周産期・新生児医学会：認定外科医

診療内容・特色

こどもセンターは小児内科、小児外科、NICUの各専門医から構成され、30名以上の医師が相互に協力して小児の総合診療に当たっています。当院は、横浜市北部地域における小児医療の拠点として位置付けられており、単に病気を治すだけでなく、お子様とご家族の気持ちや心にも寄り添った診療を提供することを重視しています。また、地域の小児医療に貢献するために、当センターを受診される患者さんに安心と温かさを感じていただけるよう努めています。

小児外科は手術を回避できる可能性がある症例は保存的療法を積極的に模索し、手術適応となった症例については侵襲が少なく整容性に優れた手術を行うように心がけております。症例数が最も多い鼠径ヘルニア手術は、大部分が腹腔鏡下手術(LPEC)の対象となっています。LPECは2~3mmの細径器具を用い、極めて良好な術後整容性を得られます。また、2023年度からは臍ヘルニアに対する日帰り手術を開始しました。

NICUは地域周産期母子医療センターとして、横浜ブロックの中核病院の役割を担っております。北部地域は横浜市内でも出生数が多く、新生児医療ニーズの高い地域です。出生体重が1000g未満の超低出生体重児から、出生後に疾患を持った新生児まで幅広い患者さんを対象にしています。先天性心疾患は、昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センターとの協力体制を整えています。陰圧個室がありますので、感染症の児の対応も可能となりました。ご家族を診療ケアのパートナーとして新生児診療にあたる、Family Integrated Careの提供を心がけています。

今後、ますます多様化する疾患にも適切に対応できるように常に最新の知識を得て、最善の医療を提供できるよう、地域の診療所や保健所との連携を強化し、子ども達の健康増進も見据えた医療体制を構築していきます。

主な対象疾患

【専門外来診療】アレルギー外来、小児循環器外来、神経外来、腎泌尿器外来、内分泌外来、遺伝外来、免疫・膠原病、自己炎症性疾患、新生児フォローアップ外来、小児外科外来

【入院診療】(小児内科) 小児疾患全般

(NICU) 早産低出生体児、病的新生児、新生児仮死、新生児黄疸、染色体異常、新生児小児外科疾患

(小児外科) 鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、急性虫垂炎、消化管閉鎖・狭窄、消化管閉塞、消化管異物、胆道閉鎖症、胆道拡張症、体表腫瘍、腹腔内・胸腔内腫瘍 など

スタッフ

准教授



むら せ まさ ひこ
村瀬 正彦

卒業	昭和大学 平成12年卒
専門	新生児学
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本周産期・新生児医学会：周産期専門医(新生児)・指導医、 新生児蘇生法専門コースインストラクター、 厚生労働省臨床研修指導医

講師



た なか ひとし
田中 拓

卒業	東北大学 平成14年
専門	小児外科一般、肝胆道外科疾患、 新生児外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本小児外科学会：専門医・指導医、 日本周産期・新生児医学会：認定外科医、 日本小児栄養消化器肝臓学会：認定医、 厚生労働省臨床研修指導医

講師



わた なべ つね き
渡邊 常樹

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	小児腎臓、排尿障害
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医・指導医、 厚生労働省臨床研修指導医

講師



い がわ み お
井川 三緒

卒業	昭和大学 平成18年卒
専門	新生児学
資格	日本小児科学会：専門医、 日本周産期・新生児医学会：周産期専門医(新生児)、 厚生労働省臨床研修指導医

講師



わた なべ よし たか
渡邊 佳孝

卒業	昭和大学 平成21年卒
専門	腎臓病学
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医・指導医、 日本小児感染症学会：小児感染症認定医、 厚生労働省臨床研修指導医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	きょうだ たかよし 京田 学是	弘前大学 平成10年卒	神経学	日本小児科学会：専門医
助教	とみなが まき こ 富永 牧子	筑波大学 平成15年卒	先天異常症、 臨床遺伝学	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医・指導医、 日本遺伝性腫瘍学会：遺伝性腫瘍専門医
助教	いわく たか し 岩久 貴志	昭和大学 平成16年卒	アレルギー	日本小児科学会：専門医、 厚生労働省臨床研修指導医
助教	まつもと みな こ 松本 皆子	秋田大学 平成21年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	あんどう しんすけ 安藤 晋介	東邦大学 平成22年卒	小児外科一般	厚生労働省臨床研修指導医
助教	やぎ ゆう ま 八木 勇磨	日本医科大学 平成24年卒	小児外科一般	日本外科学会：専門医、 日本小児外科学会：専門医
助教	あさい ひでゆき 浅井 秀幸	昭和大学 平成24年卒	新生児学	日本小児科学会：専門医、 厚生労働省臨床研修指導医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	おおぬき 大貫 ゆうた 裕太	昭和大学 平成24年卒	小児腎臓、 排尿障害	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医、 厚生労働省臨床研修指導医
助教	みづこし 水越 ようこ 曜子	東海大学 平成25年卒	新生児学	厚生労働省臨床研修指導医
助教	おやけ 小宅 ちさと 千聖	昭和大学 平成26年卒	小児腎臓、 排尿障害	日本小児科学会：専門医、 日本腎臓学会：専門医
助教	えんどう 遠藤 しょうた 翔太	順天堂大学 平成26年卒	小児腎臓	日本小児科学会：専門医、 日本腎臓学会：専門医
助教	やぎ 八木 なおみ 直美	昭和大学 平成28年卒	内分泌	日本小児科学会：専門医
助教	おの 小野 たかひろ 貴広	昭和大学 平成29年卒	小児腎臓、 排尿障害	日本小児科学会：専門医
助教	いがわ 井川 ゆき 由貴	帝京大学 平成29年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	よしみ 吉見 まりあ 鞠亜	横浜市立大学 平成29年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	あおき 青木 こういちろう 康一郎	昭和大学 平成31年卒	小児科一般	
助教	あづま 東 みなみ	昭和大学 平成31年卒	小児科一般	
助教	いわなか 岩中 ゆうま 悠真	昭和大学 平成31年卒	小児科一般	
助教	ほんだ 本多 かな 加奈	昭和大学 平成31年卒	小児科一般	
助教	かき 柿 ゆうき 佑樹	昭和大学 平成28年	小児科一般	日本救急医学会：救急科専門医、 ICLSディレクター、 日本集中治療医学会：集中治療科専門医、 厚生労働省臨床研修指導医
助教	いとう 伊藤 あい 愛	愛知医科大学 令和2年卒	小児科一般	
助教	いわほり 岩堀 まき 真紀	浜松医科大学 令和2年卒	小児科一般	
助教	ながた 永田 さくらこ 桜子	埼玉医科大学 令和2年卒	小児科一般	
助教	いたがき 板垣 ひなこ 日向子	北里大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	たていし 立石 あや 彩	東京女子医科大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	くすはら 楠原 ふみあき 史章	弘前大学 令和4年卒	小児科一般	
助教	なかむら 中村 ゆき 友紀	日本医科大学 令和4年卒	小児外科一般	

主な診療実績等

2023年度

入院数	小児内科	1,684名
	新生児科	299名
手術件数	小児外科	217件（新生児7件）
救急受け入れ実績	救急患者数	3,517名
	救急車受け入れ台数	1,921件

脳血管センター 【脳卒中科】

センター長／特任教授



てらだ ともあき
寺田 友昭

卒業	和歌山県立医科大学 昭和55年卒
専門	脳神経血管内治療
資格	医学博士、 日本脳神経血管内治療学会：指導医、 日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医、 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

診療内容・特色

2021年6月より、昭和大学横浜市北部病院に脳血管センター(脳卒中科)が新設され、センター長として寺田友昭が就任いたしました。脳血管センターは、脳ドックで発見される未破裂脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、超急性期脳主幹動脈閉塞症などの虚血性脳血管障害、破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形などの出血性脳血管障害を含めたすべての脳血管障害を扱いますが、それ以外に脊髄硬膜動静脈シャント、脊髄動静脈奇形などの脊髄血管障害、脳腫瘍、頭頸部動静脈奇形、難治性鼻出血、などの疾患を扱っています。特に大型の脳動脈瘤のフローダイバーターによる治療は、神奈川県下で最も多くの治療経験を有しています。また、新しい動脈瘤素材であるWEB, Pulseriderなど国内では施設限定で使用されているデバイスもすべて使用可能です。現状では、これらの疾患に対し、国内最高機種 of Philips 社の血管撮影装置 Azurion を用いて脳神経血管内治療を行っております。センター長の寺田は、脳神経血管内治療の国内のパイオニアの一人であり、脳神経血管内治療が日本に導入された当初より本治療に携っております(指導医番号9番)。日本脳神経血管内治療学会の理事、学会長を歴任し、血管内治療件数も6000例を超え、豊富な知識と高い技術を持っています。最近では、昭和大学横浜市北部病院のみではなく、北海道から九州までの全国の病院で高難度脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈シャントの治療を数多く手がけています。また、国内のみではなく、海外の脳神経血管内治療関連の主要な学会でも役員も務めています。

2022年度より日本脳神経血管内治療学会 指定訓練施設となり、約1年間の研修で脳神経血管内治療専門医受験資格取得可能です。こちらでの脳神経血管内治療の専門研修を希望の方は寺田まで連絡ください。

主な対象疾患

- 脳動脈瘤
- 脳動静脈奇形 (AVM)
- 硬膜動静脈シャント
- 超急性期脳主幹動脈閉塞症
- 頸動脈狭窄症
- 鎖骨下、椎骨、頭蓋内動脈狭窄症
- 脊髄血管障害
- 頭頸部血管奇形
- 難治性鼻出血

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	やまが ひろお 山家 弘雄	愛知医科大学 平成7年卒	脳神経血管内治療	日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本血管内治療学会：専門医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医
助教	きのした ゆう 木下 由宇	九州大学 平成20年卒	脳神経血管内治療	日本脳神経血管内治療学会：専門医、 日本脳神経外科学会：専門医

主な診療実績等

2023年度 脳血管内治療：108件 DSA検査：284件 検査・治療総数：392件

脳血管内治療内訳				
(計108件)	脳動脈瘤コイル	23件	急性期血行再建	9件
	脳動脈瘤フローダイバーター	17件	脳、硬膜動静脈奇形	19件
	頸動脈ステント	13件	脳腫瘍 その他	17件
	PTA等	10件		

●得意とする疾患

1) 脳動脈瘤

難易度の高い大型脳動脈瘤に対するフローダイバーター、複数ステント組み合わせによる治療を行っており、他府県からの多くの紹介患者に対応しています。すでにフローダイバーターの治療、指導実績は150件を超え、神奈川県下では最多数の治療実績を有しています。

2) 脳動静脈奇形 (AVM)

ONYXを用いた塞栓術および集学的治療を他施設を含め年間20-30件行っています。最近では脳動静脈奇形に対する経静脈的塞栓術を国内で初めて成功させ、現在まで9例を経静脈的塞栓術で根治させています。他施設で治療できないと言われた脳動静脈奇形でお悩みの方は是非ご相談ください。

3) 硬膜動静脈シャント

すべての硬膜動静脈シャントの治療を行います。現在まで400件近い治療実績があり、国内でも最多症例数を経験しています。それ以外に、通常の施設では行っていないバルーンカテーテルを用いて静脈洞を温存した状態でシャントのみを閉塞させる新たな手技を開発しています。特に軽症のType Iは拍動性耳鳴りで発症することが多く、根治は困難でしたが、本法で90%以上の割合で根治が得られます。本疾患に伴う拍動性耳鳴りの患者様も御紹介いただければ当科で精査、加療いたします。

4) 頸動脈狭窄症

約1200件という国内最多の治療経験を有し、狭窄症のみでなく慢性期完全閉塞症に対して世界初の治療成功例をJournal of Neurosurgery 報告しています。

5) 脊髄血管障害

脊髄硬膜動静脈シャント、脊髄動静脈奇形などの比較的まれな疾患ですが、難治性であり診断も困難な場合があります。両下肢のしびれ、膀胱直腸障害などで発症し、長期に放置した場合は回復が困難となります。硬膜動静脈シャントの場合は、かなりの割合で血管内治療により根治が期待できます。

6) 頭頸部血管奇形

拍動性耳鳴り、頭頸部の拍動性腫瘍で発見されることの多い疾患です。適切な血管内治療により根治が期待できます。最近では我々の開発したダブルバルーンによる経静脈的塞栓術で大部分の症例が根治可能です。

7) 難治性鼻出血

血管奇形、動脈瘤などを合併している可能性があるため、頻回の大量鼻出血がある場合は受診してください。

女性骨盤底センター

センター長／特任教授



よしむら やすくに
嘉村 康邦

卒業	福島県立医科大学 昭和60年卒
専門	女性泌尿器科、排尿障害
資格	日本泌尿器科学会：専門医・指導医、 日本排尿機能学会：代議員・教育委員・認定医、 日本女性骨盤底医学会：幹事・編集委員、 日本骨盤臓器脱手術学会：副理事長、 アジア太平洋女性泌尿器科学会(APUGA)役員、 da Vinci System Certificate (Console Surgeon)

診療内容・特色

女性のいわゆる“おしもの不具合”はなかなか相談しにくいものです。ほとんどの場合、適切な診断・治療により症状の改善が得られますが、多くの女性が受診をためらってしまいます。このような悩みを抱えている女性は非常に多いのです。子宮や膀胱などが腔から脱出する骨盤臓器脱や尿漏れといった不具合は、放っておいても死に至るような病気ではありませんが、その女性の生活の質は著しく低下してしまいます。何か活動をしたいと思っても、おしもの不具合があるために引っ込み思案になり、行動制限をしてしまうことで、生活の質の低下につながるのです。そして究極的には、社会からの孤立感さえ抱いてしまうと言われていています。したがって、たかが“おしもの不具合”ではなく、心豊かな人生を送る上での大きな障害であるわけです。

女性骨盤底センターは、まさしく“おしもの不具合”を専門に扱うセンターです。歴史的には泌尿器科や産婦人科のなかで、「女性泌尿器科」として発展してきた副専門分野です。女性の骨盤底は前方から膀胱・尿道、子宮・腔、そして直腸・肛門の3つに区分出来ます。おしもの不具合を抱える女性は多くの場合ひとつの区画だけの障害にとどまらず、多かれ少なかれ複数の区画の障害を認めます。そこで全区画を総合的に見渡せる診療科が必要となります。当センターの最大の特徴は、女性泌尿器科領域を専門とする泌尿器科医および産婦人科医が同じセンター内で、共同で診断・治療に当たることです。直腸肛門の障害に対しては消化器外科へのコンサルトが可能です。さらに骨盤底筋トレーニングを専門的に指導可能な理学療法士を配し、手術療法のみならず、質の高い理学療法、行動療法などの保存的治療も行えます。

主な対象疾患

骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤、小腸瘤など）、尿失禁、過活動膀胱、低活動膀胱、間質性膀胱炎、腔瘻（膀胱腔瘻、尿道腔瘻、尿管腔瘻など）、尿道憩室、尿失禁術後合併症（尿排出障害やメッシュ露出など）、反復性尿路感染症

女性骨盤底センター

スタッフ

准教授



のむら ゆきこ
野村 由紀子

卒業	昭和大学 平成10年卒
専門	女性泌尿器科、産婦人科全般、 腹腔鏡下手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、 日本産科婦人科内視鏡学会：評議員・ 腹腔鏡技術認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本女性医学学会：女性ヘルスケア 専門医、 母体保護法指定医、 da Vinci System Certificate (Console Surgeon)

	氏名	卒業	専門	資格
助教	おかだ よしゆき 岡田 義之	産業医科大学 平成22年卒	女性泌尿器科、 産婦人科全般、 腹腔鏡下手術	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、 日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医・指導医、 日本性感症学会：認定医、 産業医、 da Vinci System Certificate (Console Surgeon)
助教	なかがわ ちえ 中川 智絵	日本大学 平成26年卒	女性泌尿器科、 産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法(NCPR)専門コース修了、 Fetal Medicine Foundation オペレータ資格
助教	みずぬま もゆる 水沼 萌	獨協医科大学 平成30年卒	泌尿器一般	
助教	はっとり かずま 服部 一真	日本医科大学 令和3年卒	女性泌尿器科、 泌尿器科全般	
理学療法士	しげた みわ 重田 美和	名古屋大学 平成18年卒 名古屋大学大学院 平成20年卒	リハビリテーション (理学療法)	リハビリテーション療法学修士、 排尿機能検査士、 排泄機能指導士

主な診療実績等

● 初診数・受診延数

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
女性骨盤底センター外来 初診数	611名	340名	423名	488名	539名
骨盤底リハビリ外来 受診延数	177名	195名	435名	531名	643名

● 2023年 手術件数 計224件

手術名	件数
経膈メッシュ手術	52件
腹腔鏡下仙骨腔固定術	17件
ロボット支援下仙骨腔固定術	23件
非メッシュ骨盤臓器脱修復術	51件
尿失禁防止術 (TVT、TOT)	23件

手術名	件数
ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法	5件
膀胱水圧拡張術	4件
膀胱腔瘻・尿道腔瘻閉鎖術	15件
尿道憩室手術	12件
尿道脱手術	1件
尿道形成術	2件
その他	20件

メンタルケアセンター

センター長／診療科長・教授



いなもと あつこ
稲本 淳子

卒業	昭和大学 昭和62年卒
専門	臨床精神医学全般、精神科救急、社会精神医学、統合失調症
資格	精神保健指定医、 日本専門医機構：精神科専門医・指導医、 日本精神神経学会：認知症診療医、 日本精神科救急学会：認定医制度暫定指導医、 日本臨床薬理学会：指導医

診療内容・特色

メンタルケアセンターは精神科・神経科医療を担当しています。神奈川県精神科救急医療の基幹病院として、毎日、措置入院・二次救急入院に対応しています。42床のスーパー救急病棟(精神科救急入院料病棟)と、認知症治療を中心としている50床の高齢者精神科病棟を有しています。

急性期入院治療ではクロザピン内服による治療抵抗性統合失調症の治療や、麻酔科と協力し修正型電気けいれん療法を定期的実施しています。また、うつ病の患者さんを対象に再発予防や認知機能の回復を目指した集団精神療法を実施しています。

外来診療では初診は完全予約制となります。そのためお待たせすることがありますので、入院の相談などのお急ぎの場合は、受診前に地域医療連携室へご相談ください。

専門外来として発達障害の診断・相談のための発達障害外来を設置しています。

総合病院内の精神科としてチーム医療を通して各診療科と連携し、精神科治療を含めた全人的な医療に取り組んでいます。

リエゾン医療では他診療科医とともに身体疾患に伴った精神症状の対応に取り組み、リエゾンチームによる回診、診療状況評価を実施しています。緩和医療チームに精神科医と心理士が参加し院内のがん患者さんの治療に参加しています。産婦人科外来内に設置されている産科カウンセリング外来では、産婦人科に通院されている妊婦の方を対象に妊娠初期から産褥期以降を含めメンタルヘルスに関する相談や情報提供を実施しています。

主な対象疾患

- うつ病、躁うつ病
- 統合失調症(クロザピン導入が必要な難治性症例を含む)
- 不安障害(強迫症、パニック症などを含む)、適応障害
- 認知症
- 身体疾患に伴う精神障害(器質性精神障害、症状精神病、せん妄を含む)
- 発達障害(対象は中学生以上です。発達障害のデイケア、就労や社会復帰支援等のプログラムはありません。)
- アルコール精神病(依存症治療の専門プログラムはありません。)

現在、当センター外来ではカウンセリングの新規受付はしておりません。

メンタルケアセンター

スタッフ

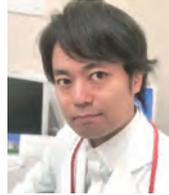
准教授



やま だ ひろ き
山田 浩樹

卒業	昭和大学 平成11年卒
専門	臨床精神医学全般、精神科救急、臨床精神科薬理学、統合失調症
資格	精神保健指定医、日本専門医機構：精神科専門医・指導医、日本精神科救急学会：認定医制度暫定指導医、精神保健判定医

准教授



とみ おか ひろ い
富岡 大

卒業	昭和大学 平成13年卒
専門	臨床精神医学全般、精神腫瘍学、神経心理学、認知症
資格	精神保健指定医、日本専門医機構：精神科専門医・指導医、日本老年精神医学会：専門医・指導医、日本臨床精神神経薬理学会：専門医・指導医、日本総合病院精神医学会：一般病院連携精神医学専門医・指導医、日本サイコオンコロジー学会：登録精神腫瘍医、日本精神科救急学会：認定医制度暫定指導医、認知症サポート医

講師



いく せ だい すけ
幾瀬 大介

卒業	東京医科大学 平成21年卒
専門	臨床精神医学全般、成人期発達障害
資格	精神保健指定医、日本専門医機構：精神科専門医・指導医、日本精神神経学会：認知症診療医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	いしい ひろあき 石井 宏明	岩手医科大学 平成29年卒	臨床精神医学全般	日本医師会認定健康スポーツ医、 抗菌化学療法認定医
助教	たなか ありさ 田中 有咲	昭和大学 平成30年卒	臨床精神医学全般	日本専門医機構：精神科専門医、 日本医師会認定産業医、 日本精神神経学会：認知症診療医
助教	きたかぜ かずや 北風 和也	昭和大学 平成31年卒	臨床精神医学全般	
助教	まるおか しんたろう 丸岡 慎太郎	東京大学 平成29年卒	臨床精神医学全般	
助教	くどう ともひろ 工藤 智博	埼玉医科大学 平成22年卒	臨床精神医学全般	日本専門医機構：救急科専門医
助教	ささき しゅんぺい 佐々木 俊平	新潟大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	
助教	あらか まさお 荒木 雅生	久留米大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	
助教	たなか りょう 田中 涼	東京医科大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	
助教	なかじま ななこ 中島 菜那子	北里大学 令和4年卒	臨床精神医学全般	

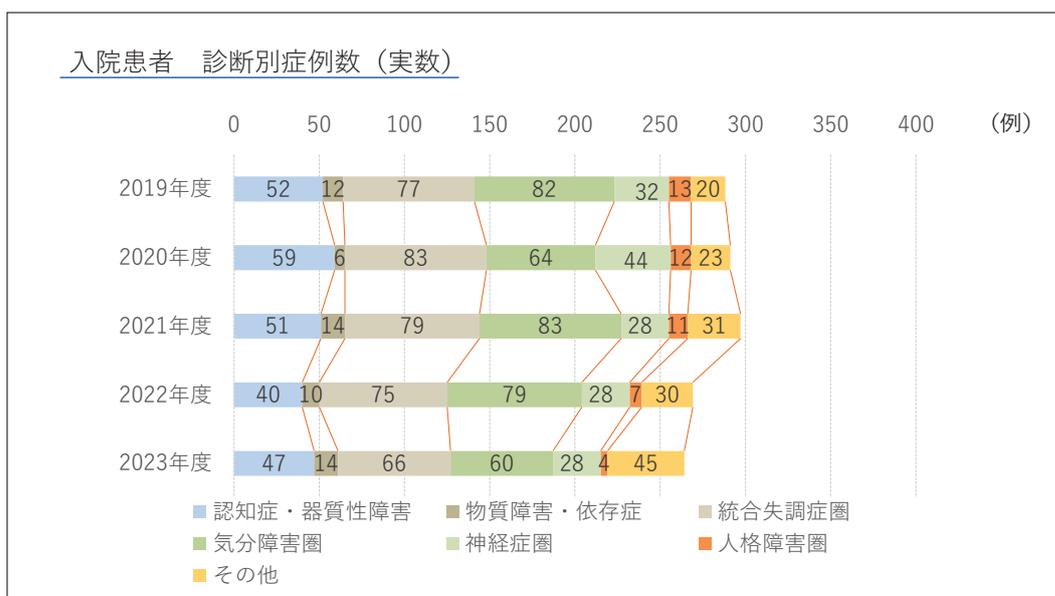
メンタルケアセンター
診療科紹介

	氏名	卒業	専門	資格
助教	ひらやま 平山 陽菜	兵庫医科大学 令和4年卒	臨床精神医学全般	
助教	やまざと 山里 優	琉球大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	
助教	やまだ 山田 真理恵	昭和大学 令和4年卒	臨床精神医学全般	

主な診療実績等

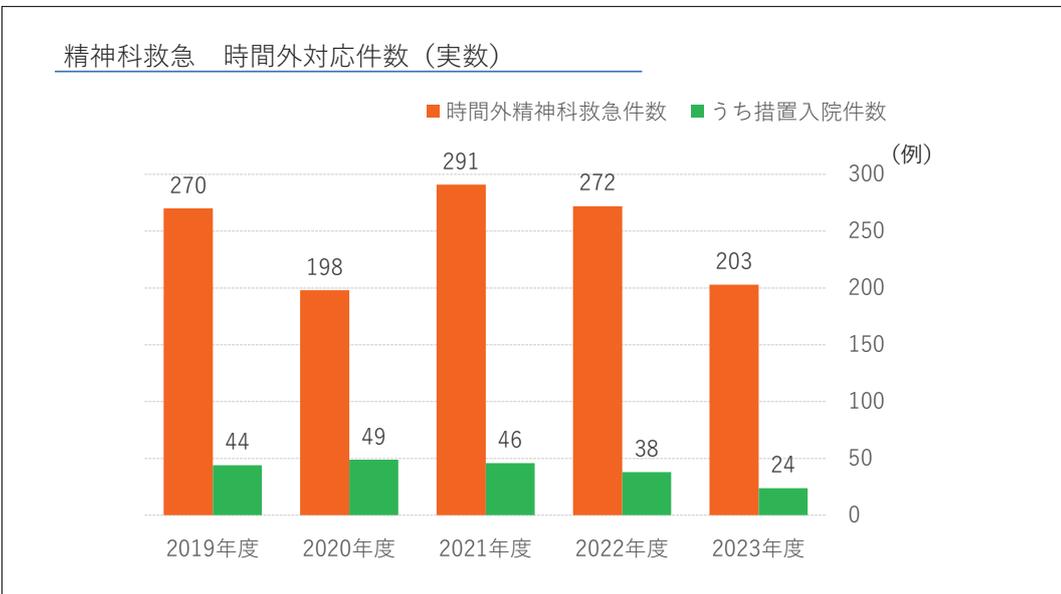
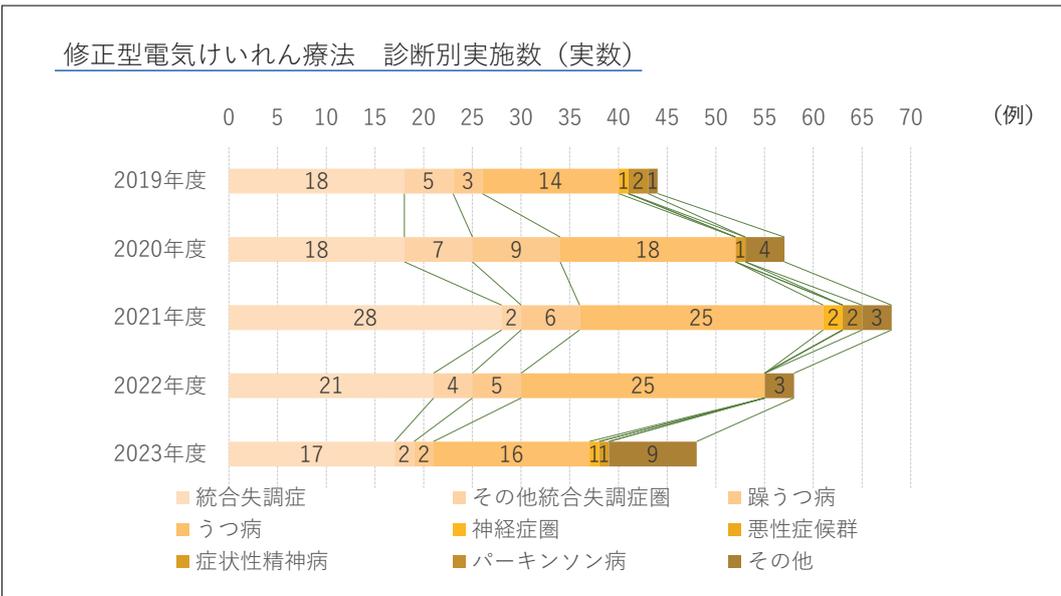
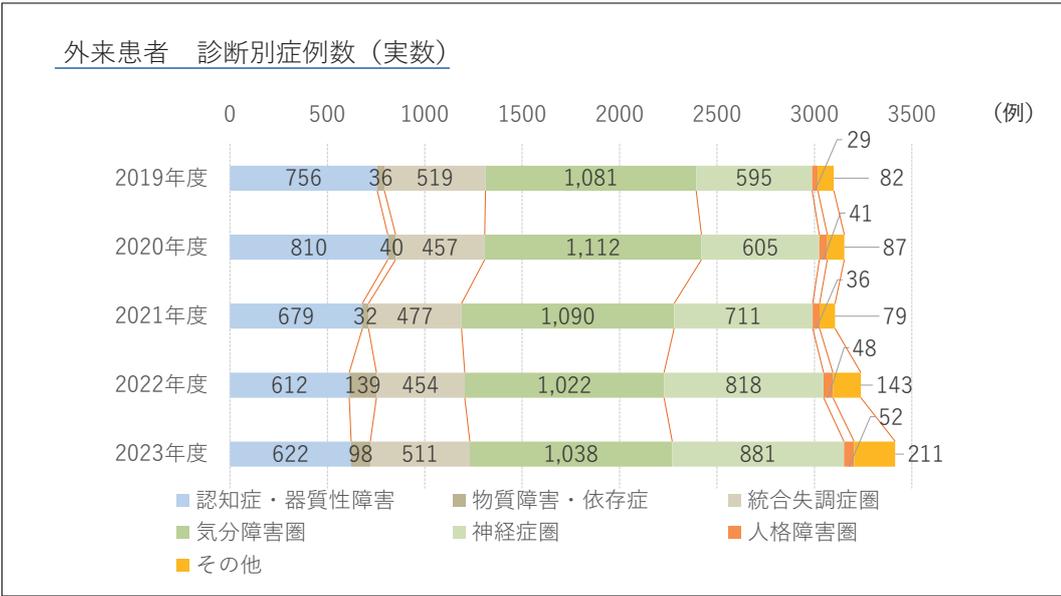
2023年度

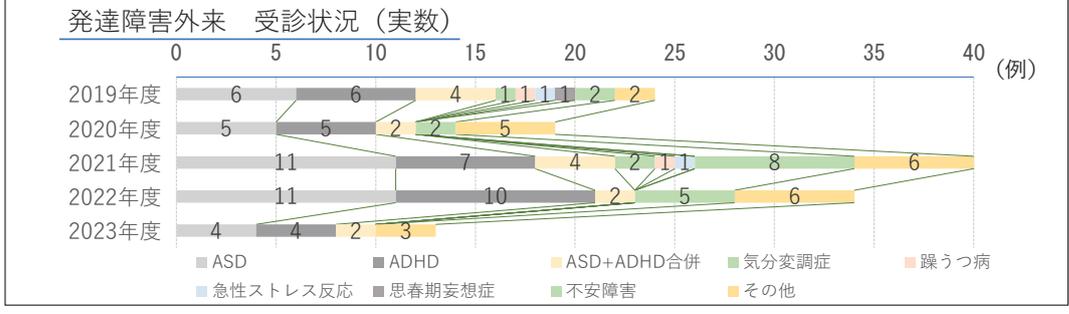
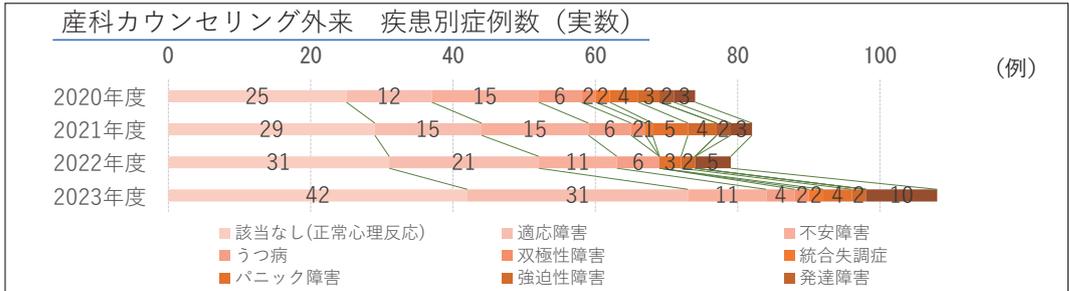
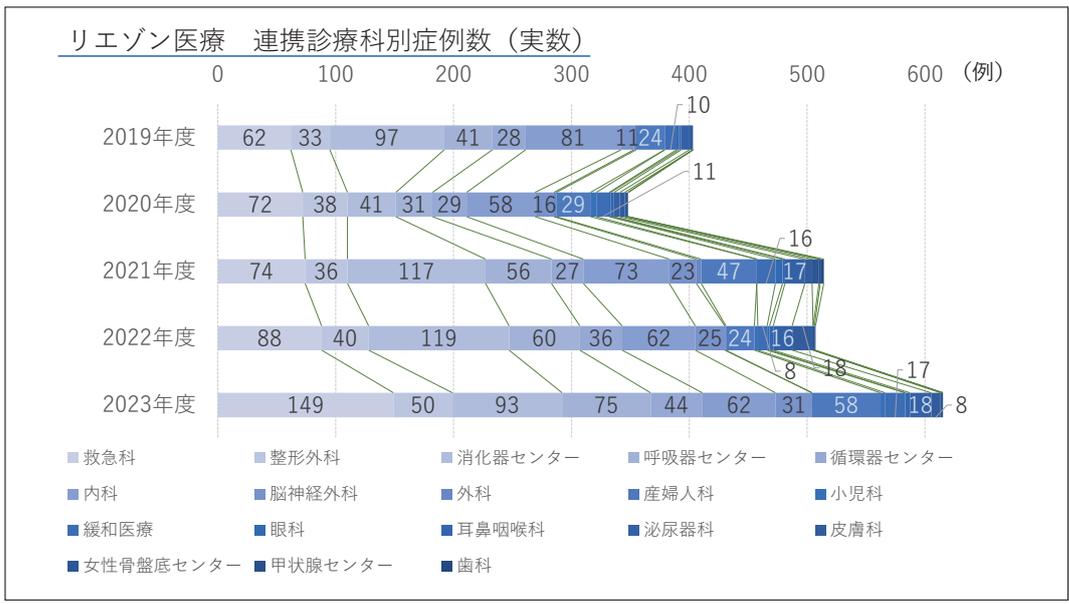
外来患者	3,413例	
入院患者	264例	精神科救急入院料病棟（スーパー救急病棟）：42床、 高齢者精神科病棟：50床
修正型電気けいれん療法症例	48例	
発達障害外来受診患者	13例	毎週木曜日：1枠、月1回水曜日1枠 対象：中学生以上
リエゾン診療（初診）	615例	
時間外精神科救急対応	203例	うち措置入院件数、24件
産科カウンセリング外来（産科外来内）	108例	精神科医・公認心理師によるスクリーニング、相談外来 対象：当院産婦人科受診妊婦



メンタルケアセンター

メンタルケアセンター
診療科紹介





救急センター (ER)

診療科長・准教授



かとう あきひと
加藤 晶人

卒業 昭和大学 平成17年卒

専門 救急医学、脳神経外科、集中治療医学

資格 日本救急医学会：救急科専門医、
日本脳神経外科学会：脳神経外科専門医、
日本集中治療医学会：専門医

診療内容・特色

救急センターは、救急診療科医師と院内応援医師が救急車で搬送される方の診療をおこなっています。緊急入院・手術・処置が必要になった場合は院内の専門診療科と連携し専門診療につなげていきます。夜間・休祝日は救急車で搬送される方に加え、直接来院される患者さんの診療にあたっています。当院は横浜市内に11存在する二次救急拠点病院Aの指定を受けており、心肺停止・ショックなどの重症な方についても積極的に受け入れをおこない、地域中核病院として地域の救急医療に貢献しています。このため、救急診療科としての通常外来診療や予約診療は行っておりません。

また、メディカルコントロール体制に関しては、横浜市救命指導医(特定行為指示・助言)や、病院前救護に関する勉強会を開催し、救急隊員とともに病院前医療の充実・向上に努めています。

主な対象患者

一次・二次救急患者(直接来院される患者さんや救急車で搬送される患者さん)と心肺停止やショック状態を呈した患者さんの診療をおこないます。

主な診療実績等

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
救急搬送件数/年	6,404	4,889	5,282	6,210	6,642
救急外来受診者数/年	11,873	8,314	8,847	10,014	10,578
Cライン受入件数/年	205	228	201	236	215

Cライン：横浜市では心肺停止・ショックなどの重症例では横浜市救命指導医を通して指定の13病院に搬送しています。当院は横浜市二次救急拠点病院Aの指定を受け、重症症例の受け入れに努めています。

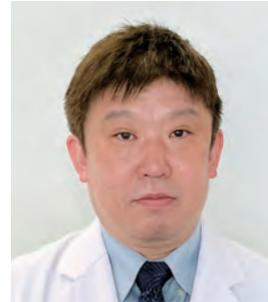
特任教授



おかもと けんいちろう
岡本 健一郎

卒業	昭和大学 昭和55年
専門	緩和医療学、ペインクリニック
資格	日本緩和医療学会：認定医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本ペインクリニック学会：専門医・名誉会員

診療科長・准教授



にしきど おさむ
西木戸 修

卒業	聖マリアンナ医科大学 平成10年卒
専門	緩和医療学、ペインクリニック
資格	日本緩和医療学会：指導医・専門医・代議員、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本ペインクリニック学会：専門医・評議員、 日本サイコオンコロジー学会：登録精神腫瘍医

診療内容・特色

緩和ケアセンターは、緩和医療チーム、緩和医療外来、がん看護外来と緩和ケア病棟の管理運営を行い、がんと診断された時から患者さんとそのご家族の苦痛緩和にあたります。

緩和ケア病棟は診療各科や専門チーム(口腔ケアチーム、リエゾンチーム、褥瘡チーム、がんリハビリテーションなど)とスムーズな連携をとることで苦痛症状の緩和をおこないます。院内からだけでなく、他の病院、診療所からも患者さんを受け入れており、様々な苦痛症状(がん疼痛、呼吸困難、悪心・嘔吐、せん妄など)を全人的苦痛の観点でとらえ、薬物療法やケアを中心に症状緩和を行い、積極的に自宅や施設への退院の調整を行っています。

また緩和医療における地域との病診連携や病病連携を推し進めております。相談等ありましたら遠慮なくご連絡ください。

非がん疾患(慢性心不全など)の患者さんに対しても、当院入院患者に限定されますが、緩和医療チームが主治医、病棟スタッフとともに症状緩和、療養環境調整のサポートも行っています。

主な対象患者

悪性腫瘍により引き起こされる苦痛症状があり、その症状を緩和する目的のがん患者さんが対象です。悪性腫瘍の種類に制限はありません。

慢性心不全など非がん疾患の苦痛症状に対しては、原病の治療を担当している主治医と連携して治療に参加しています。

緩和ケアセンター 【緩和医療科】

スタッフ

講師



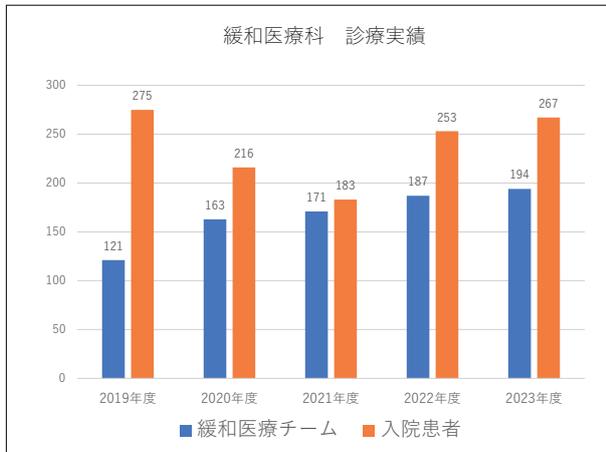
まつ いし じゅん
松石 純

卒業	昭和大学 平成6年卒
専門	緩和医療学、呼吸器内科
資格	日本緩和医療学会：認定医

主な診療実績等

緩和ケア病棟は、各診療科（呼吸器センター、消化器センター、内科、産婦人科など）の診療を受けている患者さんだけでなく、院外から紹介して頂いた患者さんも広く受け入れています。薬物治療、ケアの追加、変更、療養環境の調整により、苦痛症状を緩和し退院を目指しています。

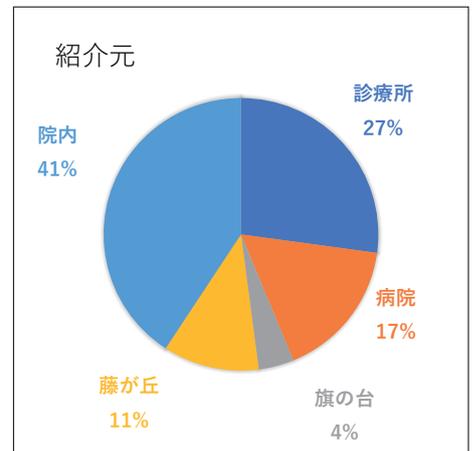
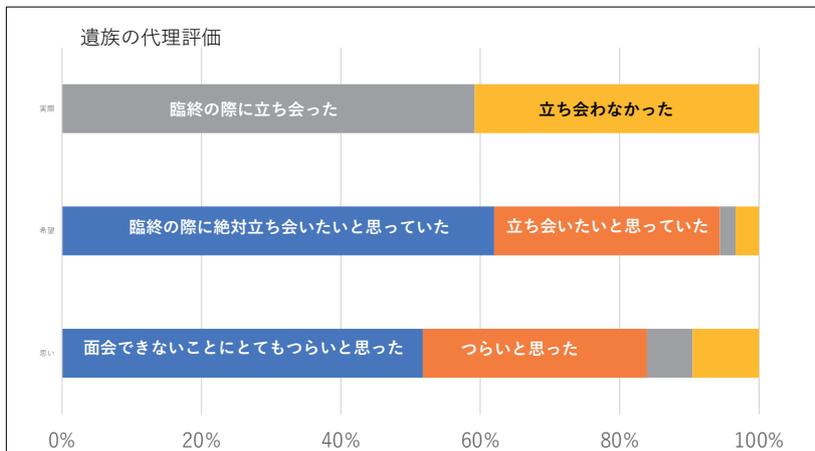
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行期では、感染拡大を防ぐために緩和ケア病棟でも面会制限を行いました。この影響が緩和ケアに及ぼす影響を遺族の代理評価を行い、人生の最終段階で利用した医療の質の評価をしています。



2023年度 緩和医療科担当入院患者

原発巣	人数	原発巣	人数
肺	42名	泌尿器	29名
膵	33名	血液	14名
胃	28名	乳	11名
結腸	27名	婦人科	11名
胆管・胆嚢	13名	頭頸部	8名
食道	8名	その他	38名
肝	5名	合計	267名

外来受診までの平均日数	5.6日
入院適応となつてから入院までの平均日数	2.6日
生存退院数/全退院数	60名/293名 (20.5%)



臨床遺伝・ゲノム医療センター

センター長／教授



いちがき きよたけ
市塚 清健

卒業	昭和大学 平成5年卒
専門	周産期医学、超音波医学、臨床遺伝学
資格	日本産科婦人科学会：産婦人科専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)・指導医(母体・胎児)、 臨床研修指導医、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医、 Fetal Medicine Foundation オペレータ資格、 新生児蘇生法インストラクター、 J-CIMELS インストラクター

臨床遺伝・
ゲノム医療センター
診療科紹介

診療内容・特色

近年の遺伝子解析技術の飛躍的な向上に伴い、様々な診療科において、遺伝学的検査による疾患の診断、治療方針の決定、将来の罹患予測、血縁者との遺伝情報共有など、遺伝診療の重要性が増しています。診療科の枠を超え、それらの遺伝診療に対応していくため、2020年4月、臨床遺伝・ゲノム医療センターが開設されました。

出生前診断、先天性疾患の診断・診療、その他、多領域にわたる遺伝カウンセリングを、各診療科での対応にとどまらず一元的に対応することにより、診療の幅が広がり、チームでクライアントやその家族をサポートすることが可能となっています。

また、2020年1月より、当院はがんゲノム医療連携病院に指定されています。神奈川県立がんセンターと連携し、個々の腫瘍細胞の遺伝子情報を基にしたがんゲノム医療を展開していますが、当センターは、膨大なゲノム情報を一元的に管理し、また、検査前後には患者との直接の対話を行い、各診療科におけるがんゲノム医療をサポートしています。

専門的な知識と豊富な経験が必要な分野であり、複数の臨床遺伝専門医をはじめ、がん治療に精通した医師や薬剤師、認定遺伝カウンセラーが一丸となり、質の高い遺伝診療を提供できる体制を整えています。臨床遺伝専門医研修施設にも認定され、後進の育成・指導にも力を入れています。

主な対象疾患

- 出生前検査：母体血胎児染色体検査 (NIPT)、クアトロテスト、羊水検査、絨毛検査
- ※ 超音波検査が必要な出生前検査は産婦人科で行いますが、検査前後のカウンセリングは当センターで行っています。
- 先天性疾患：染色体数異常 (ダウン症候群、13トリソミー、18トリソミー、ターナー症候群など)、染色体微細欠失・重複症候群 (22q11.2欠失症候群、ソトス症候群、プラダーウィリー症候群など)、単一遺伝子疾患 (マルファン症候群、ヌーナン症候群、骨系統疾患など)、原因不明のものも含む先天性疾患・多発形態異常など
- 遺伝性腫瘍：遺伝性乳がん・卵巣がん症候群、多発性内分泌腫瘍症、Lynch 症候群、家族性大腸腺腫症、Li-Fraumeni 症候群など
- その他、遺伝性神経疾患・腎疾患など
- がんゲノム医療：がんゲノムプロファイリング検査 (保険診療)

臨床遺伝・ゲノム医療センター

スタッフ

准教授



いしだ ひろお
石田 博雄

卒業	昭和大学 平成13年卒
専門	腫瘍内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 日本臨床腫瘍学会：専門医・指導医

准教授



まつ なわ まなぶ
松縄 学

卒業	昭和大学 平成12年卒
専門	血液内科
資格	日本血液学会：血液専門医・血液指導医・評議員、 日本内科学会：認定内科医・総合内科専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本輸血・細胞治療学会：認定医、 日本化学療法学会：抗化学療法認定医、 ICD(インフェクションコントロールドクター)、 日本医師会：認定産業医、 臨床研修指導医

助教



とみなが まきこ
富永 牧子

卒業	筑波大学 平成15年卒
専門	小児内科、先天異常症、臨床遺伝学
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医・指導医、 日本遺伝性腫瘍学会：遺伝性腫瘍専門医

助教



おくやま あゆみ
奥山 亜由美

卒業	福島県立医科大学 平成21年卒
専門	周産期医学、超音波医学、臨床遺伝学
資格	日本産科婦人科学会：産婦人科専門医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医

講師、薬剤師

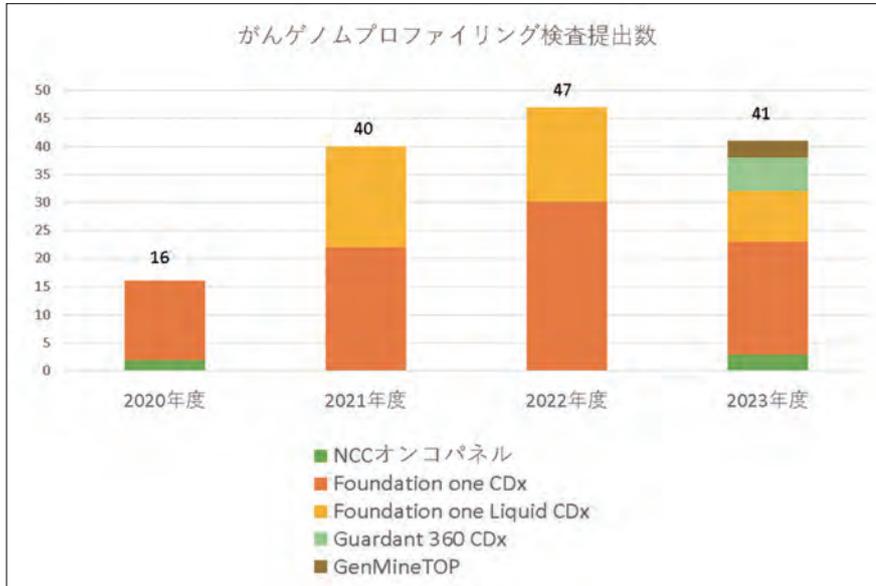


いちくら だいすけ
市倉 大輔

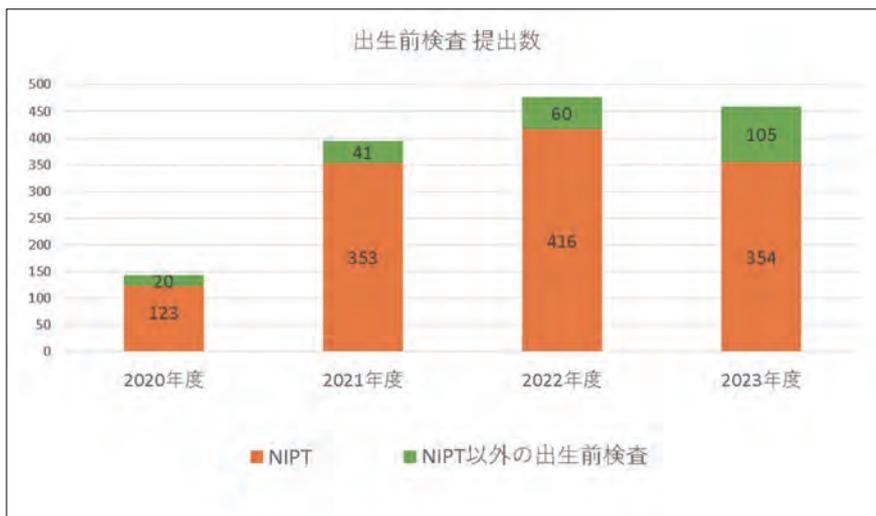
卒業	東京理科大学 平成14年卒
専門	臨床腫瘍薬学
資格	日本医療薬学会：医療薬学指導薬剤師・医療薬学専門薬剤師、 日本医療薬学会：がん指導薬剤師・がん専門薬剤師、 日本病院薬剤師会：がん薬物療法専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師、 がんゲノム医療コーディネーター

氏名	卒業	専門	資格
認定 遺伝カウンセラー いづみ みきこ 和泉 美希子	九州大学 平成10年卒	遺伝カウンセリング学	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会： 認定遺伝カウンセラー・同指導者
認定 遺伝カウンセラー さくらい あやの 櫻井 彩乃	順天堂大学 令和2年卒	遺伝カウンセリング学	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会： 認定遺伝カウンセラー

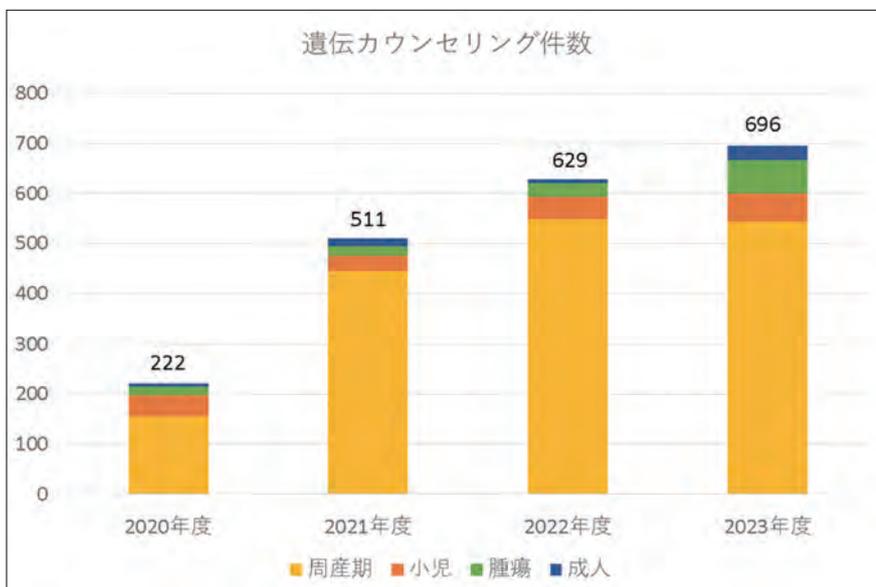
主な診療実績等



◆検査種類の増加に適宜対応し、がん診療を行う各診療科と連携を図りながら、保険診療の範囲内でのがんゲノムプロファイリング検査を実施している。



◆すべての出生前検査に対して検査前遺伝カウンセリングを行い、夫婦のニーズに合った検査を提出している。



◆周産期、小児・先天異常、遺伝性腫瘍、成人発症疾患、それぞれの分野の遺伝カウンセリングに対応している。

診療科長／准教授



いとう ひでとし
伊藤 英利

特任教授／病院長



さかした あきこ
坂下 暁子

卒業	帝京大学 平成7年卒
専門	腎臓内科、血液浄化療法
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、 日本透析医学会：透析専門医・指導医、 日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医、 腹膜透析医学会：認定医、 多発性腎嚢胞協会：PKD 認定医、 腎代替療法専門指導士、 日本透析医学会：VA 血管内治療認定医、 透析 VAVT 医学会：VAVT 認定専門医、 透析 VAVT 医学会：VAVT 血管内治療医

卒業	昭和大学 昭和60年卒
専門	血液内科

診療内容・特色

当科は、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、血液内科、腫瘍内科の専門医が所属し、全身を診る診療体制を構築しています。細分化された専門領域にとらわれることなく、多彩な合併症を有する症例にも対応できるよう、関連診療科・センターとも協力し、横断的なチーム医療を実践しています。

主な対象疾患

- 腎臓内科：糸球体疾患（腎炎、ネフローゼ症候群）、腎不全（急性腎障害、慢性腎臓病）、電解質異常、腎代替療法（血液透析、腹膜透析）、透析シャントトラブル
- 脳神経内科：脳血管障害、感染症・炎症性疾患（髄膜炎、脳炎、脊髄炎など）、脱髄性疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎など）、末梢神経疾患、筋疾患、神経節接合部疾患（重症筋無力症など）、変性疾患（パーキンソン病、レビー小体型認知症）、発作性・機能性疾患（てんかん）
- 糖尿病・代謝・内分泌内科：糖尿病全般、下垂体疾患、副腎疾患
- リウマチ・膠原病内科：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎／皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、血管炎症候群（高安動脈炎から顕微鏡的多発血管炎）、リウマチ性多発筋痛症、ベーチェット病、成人発症スティル病、抗リン脂質抗体症候群、血清反応陰性脊椎関節炎（乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、反応性関節炎）、IgG4関連疾患、RS3PE 症候群
- 血液内科：慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病（急性白血病の治療および造血幹細胞移植（自家移植、同種移植）は行っておりません）
- 腫瘍内科：肺がん、乳がん、原発不明がんをはじめとする固形がん癌全般、軟部肉腫などの希少がん

スタッフ

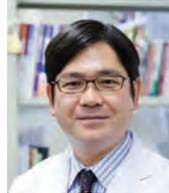
教授／副院長



おがた ひろあき
緒方 浩顕

卒業	信州大学 平成元年卒
専門	医学教育学、腎臓内科、血液浄化療法Ca・骨代謝
資格	日本内科学会：総合内科専門医、日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医、日本透析医学会：透析専門医・指導医、日本高血圧学会：専門医・指導医

准教授



みわ ゆうすけ
三輪 裕介

卒業	昭和大学 平成8年卒
専門	リウマチ、膠原病
資格	日本内科学会：総合内科専門医、日本リウマチ学会：専門医・指導医・評議員、日本リウマチ財団認定登録医、日本心身医学会：代議員、日本登山医学会：代議員、日本医師会：認定産業医、身体障害者福祉法第15条第1項指定医

准教授



くに いよう
國井 葉

卒業	日本医科大学 平成11年卒
専門	内分泌内科、甲状腺超音波
資格	日本内科学会：総合内科専門医、日本内分泌学会：内科専門医・指導医・評議員、日本甲状腺学会：専門医・評議員、日本超音波医学会：専門医・指導医

准教授



いしだ ひろお
石田 博雄

卒業	昭和大学 平成13年卒
専門	腫瘍内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会：専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会：専門医・指導医

准教授



まつなわ まなぶ
松縄 学

卒業	昭和大学 平成12年卒
専門	血液内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、日本血液学会：専門医・指導医・評議員、日本輸血・細胞治療学会：認定医、細胞治療認定管理師、日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、日本化学療法学会：抗菌化学療法認定医、日本医師会：認定産業医、ICD

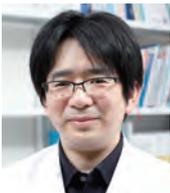
准教授



やの さとし
矢野 怜

卒業	昭和大学 平成15年卒
専門	脳神経内科
資格	日本内科学会：認定総合内科専門医、日本神経学会：専門医・指導医

講師



やまもと まさひろ
山本 真寛

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	腎臓内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、日本透析医学会：透析専門医・指導医、日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医、腹膜透析医学会：認定医

講師



よしはら あや
吉原 彩

卒業	東邦大学 平成16年卒
専門	糖尿病・代謝・内分泌内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、日本内分泌学会：内分泌代謝専門医・指導医・評議員、日本糖尿病学会：糖尿病専門医・指導医

内科

講師



わた なべ けい こ
渡辺 慶子

卒業	東海大学 平成23年卒
専門	脳神経内科
資格	日本神経学会：神経専門医

	氏名	卒業	専門	資格
講師	えばら てつ 荻原 徹	昭和大学 平成2年卒	糖尿病・代謝・内分泌 内科	
助教	かとう まさのり 加藤 雅典	昭和大学 平成20年卒	腎臓内科	日本内科学会：総合内科専門医、 日本腎臓学会：腎臓専門医、 日本透析医学会：透析専門医
助教	さいとう よしのり 齋藤 佳範	昭和大学 平成22年卒	腎臓内科	日本内科学会：総合内科専門医、 日本腎臓学会：腎臓専門医、 日本透析医学会：透析専門医
助教	すがわら ひろひと 菅原 浩仁	札幌医科大学 平成22年卒	腎臓内科	日本内科学会：総合内科専門医、 日本腎臓学会：腎臓専門医、 日本透析医学会：透析専門医、 日本循環器学会：循環器専門医
助教	にしみ しんいちろう 西見 慎一郎	昭和大学 平成24年卒	リウマチ 膠原病	日本リウマチ学会：専門医
助教	ささき ようへい 佐々木 陽平	昭和大学 平成27年卒	血液内科	日本内科学会：内科専門医、 日本血液学会：専門医
助教	こだま えりこ 児玉 恵理子	昭和大学 平成27年卒	内分泌内科	日本内科学会：内科専門医、 日本内分泌学会：内分泌代謝専門医、 日本糖尿病学会：糖尿病専門医
助教	よしだ きりゆう 吉田 輝龍	昭和大学 平成28年卒	腎臓内科	日本内科学会：内科専門医
助教	ふじた たかふみ 藤田 崇史	昭和大学 平成28年卒	腎臓内科	日本内科学会：内科専門医
助教	おさない あやこ 小山内 綾子	昭和大学 平成28年卒	神経内科	日本内科学会：内科専門医、 日本神経学会：神経専門医、 日本医師会：認定産業医
助教	そぶえ ゆりえ 祖父江 友里恵	昭和大学 平成29年卒	糖尿病・代謝・内分泌 内科	日本内科学会：内科専門医
助教	みむら ゆうき 三村 優樹	金沢医科大学 平成29年卒	糖尿病・内分泌内科	日本内科学会：内科専門医
助教	しげまつ ひろや 重松 寛哉	昭和大学 平成30年卒	腎臓内科	日本内科学会：内科専門医
助教	かきぬま ゆうき 柿沼 佑樹	昭和大学 平成30年卒	脳神経内科	日本内科学会：内科専門医
助教	おまち たけまさ 尾町 健将	昭和大学 平成30年卒	糖尿病・代謝・内分泌 内科	日本内科学会：内科専門医
助教	みちづ ゆうた 道津 侑大	北里大学 令和元年卒	リウマチ 膠原病	

内科

診療科紹介

	氏名	卒業	専門	資格
助教	みずやま ひろき 水山 拡紀	昭和大学 令和2年卒	腎臓内科	
助教	さの みずき 佐野 瑞樹	順天堂大学 令和3年卒	腎臓内科	
助教	さくらい まいこ 櫻井 麻衣子	昭和大学 令和3年卒	糖尿病・代謝・内分泌 内科	
助教	みうら かずあき 三浦 和晃	昭和大学 令和4年卒	腎臓内科	
助教	かんだ あかね 神田 茜	聖マリアンナ医科大学 令和4年卒	脳神経内科	
助教	ふかざわ たくみ 深澤 巧	昭和大学 令和4年卒	腎臓内科	

主な診療実績等

2023年度

腎臓内科	血液透析導入	52例	腹膜透析導入	10例
	腎生検	30件	バスキュラーアクセス関連手術	55件
	腹膜透析関連手術	20件	経皮的バスキュラーアクセス拡張術	128件
	カフ型カテーテル挿入	30件		
脳神経内科	脳血管障害	4例	感染症・炎症性疾患	18例
	脱髄性疾患	7例	末梢神経疾患	9例
	筋疾患	11例	変性疾患	36例
	発作性・機能的疾患	21例	脳波	150件
	神経伝導検査	100件	針筋電図	40件
	神経・筋生検	5件		
糖尿病・ 代謝・ 内分泌内科	糖尿病教育入院	50例	糖尿病ケトアシドーシス・ 高浸透圧高血糖状態入院	15例
	内分泌疾患(原発性アルドステロン症、 下垂体機能低下症など)	13例		
リウマチ・ 膠原病内科	関節リウマチ	119例	全身性エリテマトーデス	41例
	多発性筋炎・皮膚筋炎	13例	血管炎症候群	37例
	その他の膠原病疾患	350例		
血液内科	急性骨髄性白血病	2例	慢性骨髄性白血病	3例
	骨髄異形成症候群	5例	骨髄増殖性腫瘍	9例
	悪性リンパ腫	52例	多発性骨髄腫	3例
	再生不良性貧血	1例	特発性血小板減少性紫斑病	2例
	その他	5例	骨髄検査	188件
腫瘍内科	肺癌	4例	乳癌	18例
	軟部肉腫	2例	原発不明癌	6例
	胚細胞腫瘍	3例	その他	7例

皮膚科

診療科長・教授



わた なべ ひで あき
渡辺 秀晃

卒業 昭和大学 平成7年卒

専門 重症型薬疹・アトピー性皮膚炎・乾癬

資格
日本皮膚科学会：認定専門医
医学博士
日本皮膚科学会：東京支部代議員
日本研究皮膚科学会：評議員
日本皮膚免疫アレルギー学会：代議員
日本皮膚免疫アレルギー学会：薬疹専門部会委員
医薬品医療機器総合機構(PMDA)専門委員
昭和大学病院臨床試験審査委員会(IRB)委員
神奈川県乾癬治療研究会理事

診療内容・特色

当皮膚科では、アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、湿疹皮膚炎群、蕁麻疹、真菌症、带状疱疹・蜂窩織炎などのウイルス・細菌感染症、水疱症、皮膚腫瘍など皮膚科全般の疾患を診療しています。

2024年度より最新の紫外線療法機器(UVB-LED光源を搭載)を導入し、アトピー性皮膚炎や乾癬、類乾癬、円形脱毛症、悪性リンパ腫などの保険適応となっている疾患に対応いたします。また、重症を含む薬疹・多形紅斑・中毒疹などの積極的な受け入れ、アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤の導入、手術室を用いた皮膚外科手術に特に注力いたします。

重症薬疹の受け入れは二次救急拠点病院Aの指定を受けている横浜市北部病院ならではの特色としていきたいと思っております。アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤導入後のフォローはご紹介頂いた先生方へお願いする、二人主治医制度に力を注いでいきます。手術室を用いた皮膚外科手術で「安心・安全・綺麗」な環境での手術を患者さんに提供致します。

入院に関しましては、蜂窩織炎や带状疱疹などの感染症、天疱瘡や類天疱瘡などの水疱症、スティーヴンス・ジョンソン症候群や中毒性表皮壊死症などの重症な皮膚疾患の入院治療を行います。

クリニックや皮膚科医の常住していない病院の先生方には、重症の皮膚疾患をご紹介いただければと思います。当院での治療が終了され落ち着いた患者さんには、ご紹介元での加療(逆紹介)を積極的にお願いさせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。

主な対象疾患

アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、蕁麻疹、痒疹、紫斑病、皮膚潰瘍、褥瘡、熱傷、水疱症、膿疱症、膠原病、皮膚腫瘍、母斑、爪甲疾患、脱毛症、蜂窩織炎など細菌性疾患、带状疱疹や麻疹などウイルス性疾患、足白癬など真菌感染症など。

特に

- ・専門医性を活かして適切なアトピー性皮膚炎や乾癬に対する生物学的製剤の導入を行っています。あらゆる生物学的製剤の使用が可能です。
- ・重症型薬疹(多形紅斑重症型、Stevens-Johnson症候群/中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群(DIHS))への集約的治療に力を入れています。
- ・2022年度から手術室を使った手術を行っています。
- ・2024年度より最新の紫外線療法機器(UVB-LED光源を搭載)を用いた紫外線療法を行っています。

スタッフ

准教授



ほ さか ひろ おみ
保坂 浩臣

卒業	昭和大学 平成8年卒
専門	薬疹
資格	日本皮膚科学会：認定専門医 医学博士 日本皮膚科学会：東京支部代議員

	氏名	卒業	専門	資格
助教	さかい なおひろ 境井 尚大	福井大学 平成28年卒	皮膚科全般 乾癬 アトピー性皮膚炎	
助教	すなが ちさと 須永 知里	川崎医大 平成28年卒	皮膚科全般 アトピー性皮膚炎 乾癬	
助教	やまぐち ぶん たろう 山口 文太郎	昭和大学 平成28年卒	皮膚科全般 皮膚外科	
助教	さくらい たかよし 桜井 隆喜	昭和大学 平成30年卒	皮膚科全般 皮膚外科	

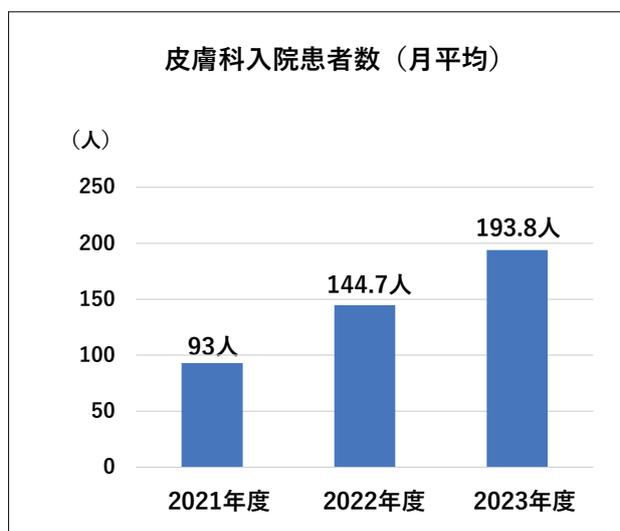
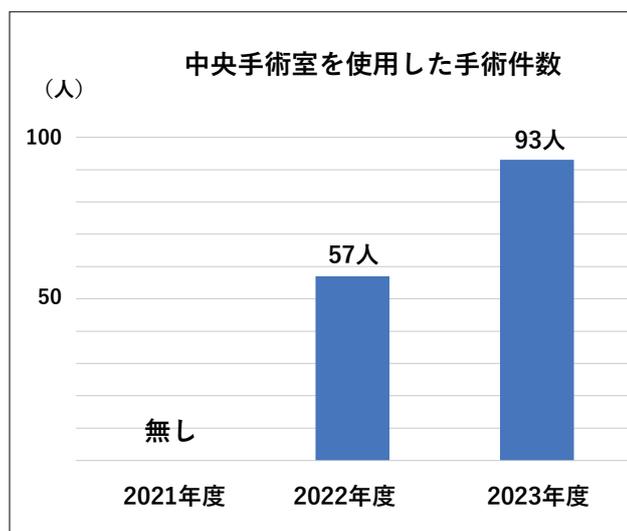
皮膚科

診療科紹介

主な診療実績等

2023年度

手術室を使用した手術件数	皮膚科入院患者数(月平均)
93件	193.8人



放射線科・放射線治療科

放射線科診療科長・教授



ふじ さわ ひで ふみ
藤澤 英文

放射線治療科診療科長・准教授



しんじょう ひで のり
新城 秀典

放射線科・
放射線治療科

診療科紹介

卒業	昭和大学 平成5年卒
専門	胸部画像診断、画像下治療(IVR)
資格	日本専門医機構：放射線科専門医・放射線診断専門医、 日本IVR学会：IVR専門医、 日本癌治療認定医機構：がん治療認定医、 日本乳がん検診制度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、 日本核医学会：PET核医学認定医

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	放射線治療
資格	日本専門医機構：放射線科専門医・放射線治療専門医、 日本核医学会：核医学専門医、 日本核医学会：PET核医学認定医、 日本癌治療認定医機構：がん治療認定医

診療内容・特色

診断部門では、画像診断およびIVR(画像下治療)を担当しています。画像診断はCT、MRI、核医学検査のすべての検査に対して、専門医による読影レポートを短時間で作成しています。検査ごとに最適化された撮影プロトコールと最新の画像処理技術で画像を作成し、多面モニターを用いて診断することで、良質な画像診断が行える環境を構築しております。PET-CTが配置されていることも当院の特徴です。IVRでは各種腫瘍に対する経カテーテル的塞栓術、出血の塞栓術、内臓動脈瘤、血管奇形、消化管静脈瘤などの塞栓術、画像ガイド下生検およびドレナージ、中心静脈ポート留置術、ラジオ波焼却術、経皮的椎体形成術などを主に行っています。

治療部門では、最新の放射線治療機器を活用し、患者さん毎に最適な治療法を提案しています。三次元原体照射や定位放射線治療、強度変調放射線治療を更に進化させたRapid-arc、など多彩できめ細やかな治療を行うことで、副作用の低減を図り、治療効果を高めています。昭和大学病院及び関連施設とも密に連携し、治療方針や治療方法を検討して標準治療を提供しています。

主な対象疾患

- IVR：肝細胞癌、転移性肝癌、転移性骨腫瘍、肺腫瘍、内臓動脈瘤、消化管静脈瘤、動静脈奇形、内臓出血、後腹膜出血、産科危機的出血、深部膿瘍
- 放射線治療：ほぼ全ての悪性腫瘍

スタッフ

准教授



たけやま のぶゆき
竹山 信之

卒業	昭和大学 平成12年卒
専門	画像診断（腹部、骨盤）
資格	日本専門医機構：放射線科専門医・放射線診断専門医、 日本核医学会：核医学専門医、 日本核医学会：PET核医学認定医、 日本IVR学会：IVR専門医、 日本乳がん検診制度管理中央機構： 検診マンモグラフィ読影認定医

講師



はらだ けん
原田 堅

卒業	東海大学 平成22年卒
専門	放射線治療
資格	日本専門医機構：放射線科専門医・放射線治療専門医、 日本癌治療認定医機構：がん治療認定医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	わたなべ こうた 渡邊 孝太	昭和大学 平成20年卒	画像診断(頭頸部、骨盤)、 IVR	日本専門医機構：放射線科専門医・放射線診断専門医、 日本核医学会：核医学専門医、 日本IVR学会：IVR専門医
助教	せとがわ たけひと 瀬戸川 武仁	富山大学 平成29年卒	画像診断	日本専門医機構：放射線科専門医
助教	ほり まこと 堀 麻琴	宮崎大学 令和2年卒	画像診断	日本乳がん検診制度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医
助教	まきた まや 牧田 真弥	昭和大学 令和2年卒	画像診断	日本乳がん検診制度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医
助教	やまもと さきほ 山本 紗季帆	藤田医科大学 令和4年卒	画像診断	
助教	きたがわ たかゆき 北川 崇之	昭和大学 令和4年卒	画像診断	
助教	ふくや こうへい 福谷 光平	昭和大学 令和4年卒	画像診断	

主な診療実績等

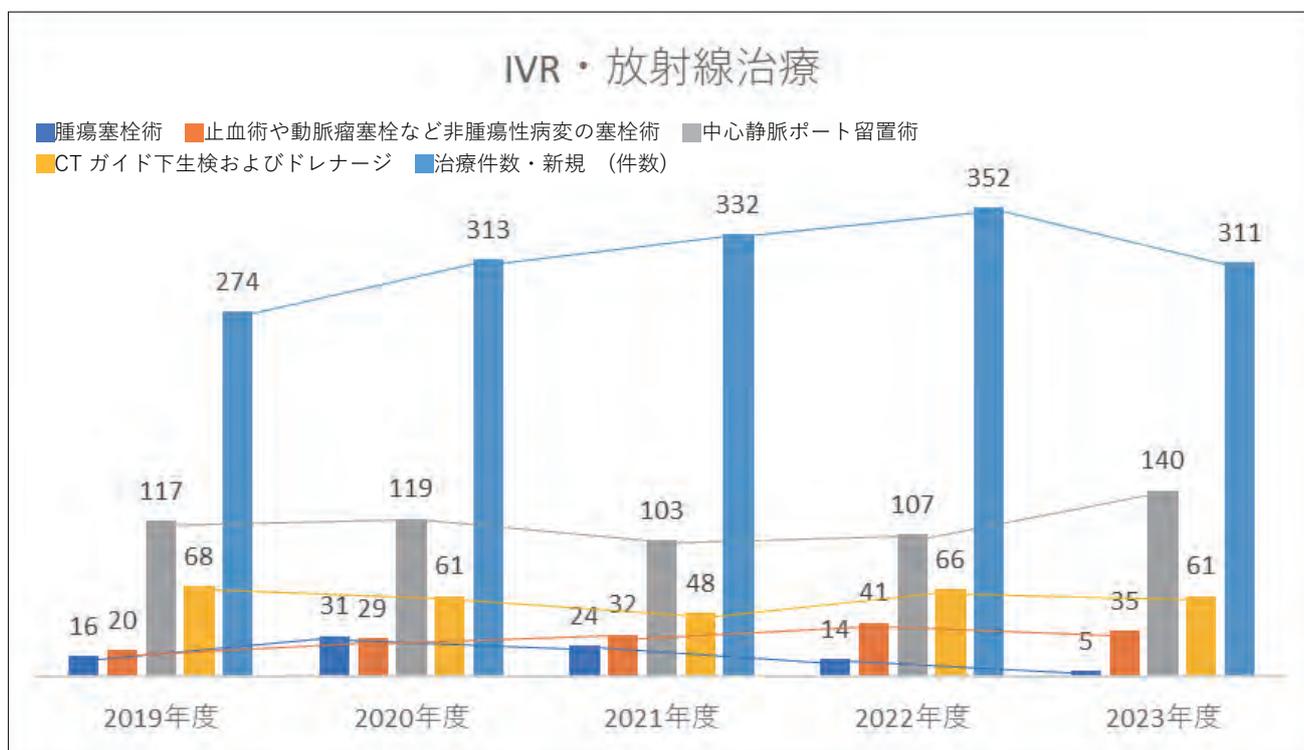
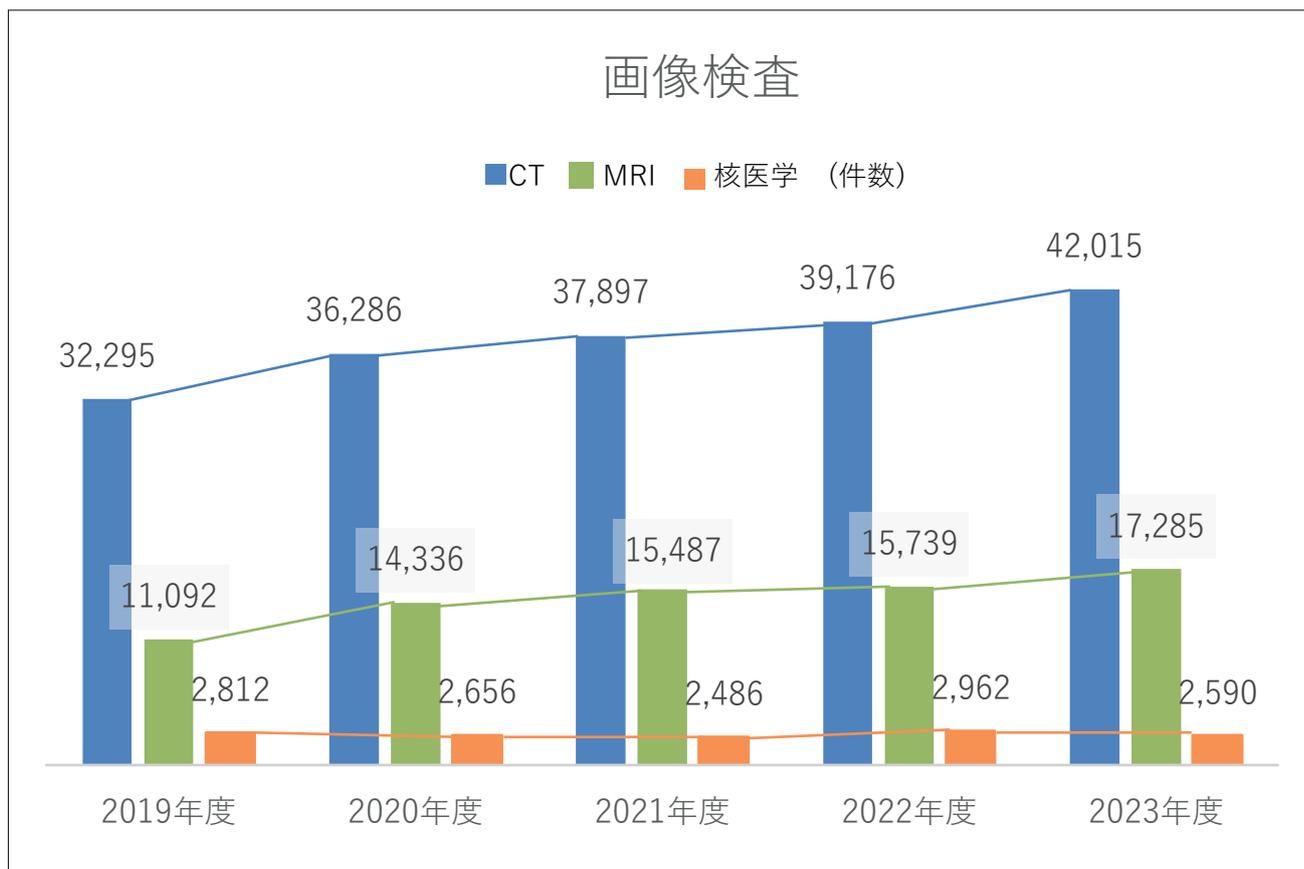
2023年度

検査件数	CT 42,015件
	MRI 17,285件
	核医学 2,590件 (PET-CT 1,099件)
IVR	腫瘍塞栓術 5件
	止血術や動脈瘤塞栓など非腫瘍性病変の塞栓術 35件
	中心静脈ポート留置術 140件
	CTガイド下生検およびドレナージ 61件
放射線治療 治療件数	新規311件

放射線科・放射線治療科

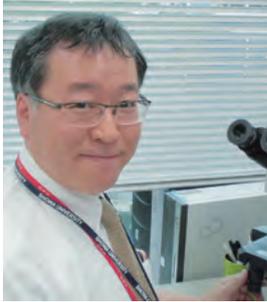
放射線科・
放射線治療科

診療科紹介



臨床病理診断科

診療科長・教授



ねもと てつお
根本 哲生

卒業	東邦大学 昭和63年卒
専門	人体病理学、消化管病理学
資格	日本病理学会：病理専門医・病理専門医研修指導医、 日本臨床細胞学会：細胞診専門医、 死体解剖資格、 日本病理学会：学術評議員、 日本食道学会：評議員、 日本消化器内視鏡学会：関東支部会評議員、 東京医科歯科大学臨床教授、 東邦大学客員教授

診療内容・特色

当科には病理診断と臨床検査の2つの部門があります。

病理診断は検査・手術で摘出した病変から作製した標本を、病理専門医・細胞診専門医が顕微鏡で観察し診断を下します。病理診断は診療における最終診断と位置づけられ、治療方針の決定に大きな役割を担っています。患者さんに直接お会いすることはありませんが、昭和大学横浜市北部病院における質の高い診療の根幹を支えています。

一方、臨床検査領域では、臨床検査と感染症の専門医がおり、検査でパニック値が出た症例への対応や、感染管理業務を行っています。臨床検査技師とともに、法令に定められた臨床検査の品質維持に必要な業務を担当しつつ、極端な異常値、危険な病原体が検出された場合、臨床側に告知、対応を確認する業務です。また、内科外来の一環として不明熱の患者さんや、海外から来られた方の発熱・下痢の診療、梅毒の検査で陽性となられた方の診療や近隣の医療機関を含めた医療従事者の針刺し事故の診療を行っています。

主な対象疾患

●病理診断

病理診断領域は呼吸器(肺癌、肺炎等)、中枢神経(脳腫瘍、血管奇形等)、造血器(白血病、悪性リンパ腫等)、消化管(胃癌、大腸癌等)、肝臓(肝癌、慢性肝炎等)、膵臓(膵腫瘍、膵炎等)、子宮(子宮頸癌、子宮体癌等)、卵巣(卵巣癌等)、乳腺(乳癌、乳腺症等)、内分泌(甲状腺、副甲状腺、副腎等)、皮膚(腫瘍、炎症性疾患等)、腎臓(糸球体腎炎、腎癌等)、細胞診(婦人科、尿、甲状腺、喀痰、体腔液等) 等

●臨床検査

不明熱症例の精査に関するコンサルテーション対応や、針刺し/体液曝露事故の診療、梅毒など検査結果の解釈にお困りの際、火曜午前の内科外来枠で、木村医師が患者さんへのご説明やフォローアップを行っています。

臨床病理診断科

スタッフ

教授



木村 聡
きむら さとし

卒業	新潟大学 昭和59年卒
専門	感染症学、臨床免疫学
資格	日本専門医機構：認定基盤領域臨床検査専門医、 日本感染症学会：評議員・認定感染症専門医・指導医、 日本臨床検査医学会：評議員、 日本臨床化学会：評議員、 日本医師会認定産業医

	氏名	卒業	専門	資格
講師	こいけ ちひろ 小池 千尋	信州大学 平成19年卒	人体病理学	日本病理学会：病理専門医・病理専門医研修指導医・分子病理専門医、 日本臨床細胞学会：細胞診専門医、 死体解剖資格
助教	にほんやなぎ やすひろ 二本柳 康博	旭川医科大学 平成6年卒	人体病理学	日本病理学会：病理専門医、 日本臨床細胞学会：細胞診専門医、 死体解剖資格

主な診療実績等

●2022年病理診断実績

病理組織診断	10,840件	迅速組織診断	252件
細胞診	5,824件	迅速細胞診	35件
病理解剖	11件		

●臨床検査

臨床検査領域では、末梢神経伝導速度や睡眠時無呼吸検査など生理機能検査所見へのコメント記載を行なっています。また検体検査では血液培養陽性となった症例に適切なコメントが入っているか、主治医や病棟が的確な対応をとっているかを確認し、適宜コンサルテーションを受けています。さらに木村が産業医として職場環境の改善や職員面談にも取り組んでいます。

診療科長・准教授



ふくしま みつひろ
福島 光浩

卒業	日本医科大学 平成4年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本内分泌外科学会：専門医・指導医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医

特任教授



ふくなり のぶひろ
福成 信博

卒業	昭和大学 昭和59年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波、 甲状腺インターベンション治療
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本内分泌外科学会：専門医・評議員

診療内容・特色

外科系総合診療科として診療しております。

鼠径ヘルニア手術は、主に一般病院や腹腔鏡治療では対応困難な既往症、合併症をお持ちの患者さんに対して行っています。

形成外科は独立した科として、専門の医師が診療に当たります。先天的または後天的に生じた身体の変形や欠損を、整容的(見た目)にも機能的にも改善することを目的とする専門の診療科です。頭部から手足に至るまで体表の異常を中心に診療を行っております。具体的には顔や手足の先天異常、腫瘍、顔面の骨折、手足・顔面の外傷、火傷、傷跡の修正などが対象になります。

2019年4月より甲状腺センターが開設され、甲状腺、副甲状腺疾患を中心に、外科手術のみならず非手術的な加療(Intervention)を積極的に取り入れています。甲状腺ラジオ波焼灼療法を日本で唯一おこなうなど、より専門性を強く診療しております。(詳細は甲状腺センターの項をご参照ください。)

主な対象疾患

- ヘルニア疾患：鼠径ヘルニア
- 形成外科：先天性疾患：口唇口蓋裂、手足の多指症、合指症、臍ヘルニア(でべそ)、
耳介変形(埋没耳・副耳・耳瘻孔)
腫瘍：皮膚良性腫瘍(母斑、血管腫)、皮膚悪性腫瘍およびそれに関する再建、
軟部腫瘍、乳癌切除に関する乳房再建
外傷：顔面外傷、顔面骨骨折(頬骨・眼窩・鼻骨・顎骨)、熱傷、
ケガに伴う瘢痕(きずあと)、瘢痕拘縮、ケロイド、変形
その他：眼瞼下垂、睫毛内反(逆まつげ)、爪変形(陥入爪) など
- 甲状腺疾患：甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病、橋本病、甲状腺嚢胞 など
- 副甲状腺疾患：副甲状腺機能亢進症(原発性、続発性)、副甲状腺癌、副甲状腺嚢胞 など

スタッフ

講師



あいだ つぐ
相田 貞継

卒業	昭和大学 平成3年卒
専門	一般消化器外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本消化管学会：胃腸科専門医、 日本胃癌学会：評議員

講師



おおさわ けいこ
大桑 恵子

卒業	浜松医科大学 平成5年卒
専門	内分泌外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本内分泌外科学会：専門医・評議員、 日本甲状腺学会 専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本消化器外科学会：認定医

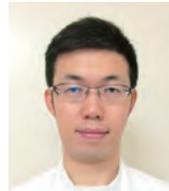
講師



さかうえ せいし
坂上 聡志

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	内分泌外科、一般消化器外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医

講師



なかの まさひで
中野 賢英

卒業	昭和大学 平成18年卒
専門	内分泌外科、一般外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本甲状腺学会：専門医、 日本超音波医学会：専門医、 日本DMAT 隊員

講師



むらかみ なおき
村上 尚来

卒業	福岡大学 平成24年卒
専門	形成外科
資格	医学博士、 日本形成外科学会：日本形成外科専門医・形成外科領域指導医、 日本乳房オンコプラステックサージャー学会：乳房再建エキスパンダー/インプラント責任医師、 臨床研修指導医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	もりた ゆうき 森田 裕紀	大阪市立大学 平成28年卒	形成外科、 一般形成外科	
助教	つかもと だいき 塚本 大樹	昭和大学 平成29年卒	内分泌外科、一般外科、 救急医学	日本外科学会：専門医、 日本医師会：認定産業医

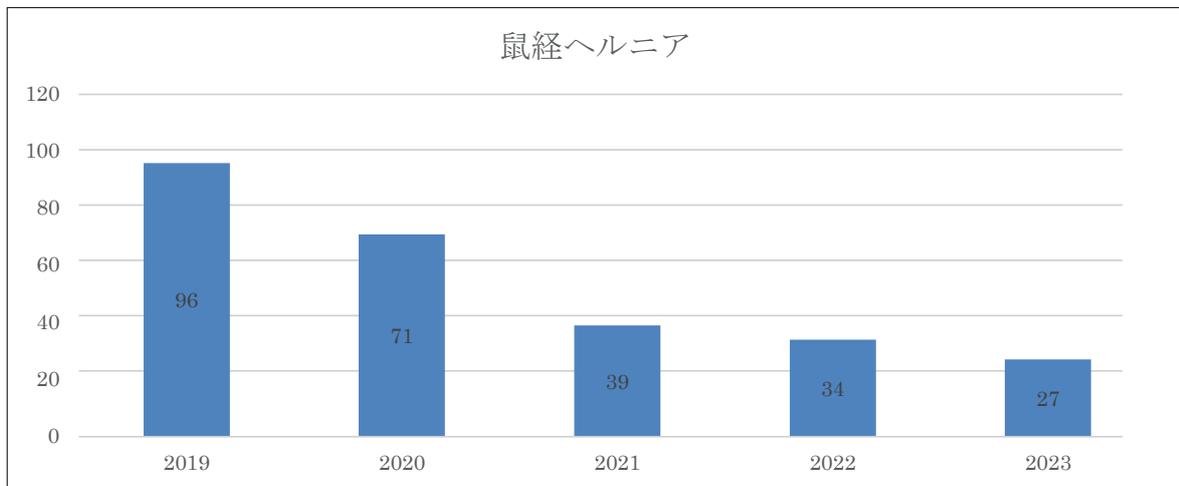
主な診療実績等

●2019年～2023年手術件数推移 (外科)

	2019	2020	2021	2022	2023
鼠経ヘルニア	96	71	39	34	27
甲状腺	244	265	333	307	291
副甲状腺	14	30	31	29	36

※甲状腺・副甲状腺疾患についての詳細は、甲状腺センターの頁をご参照ください。

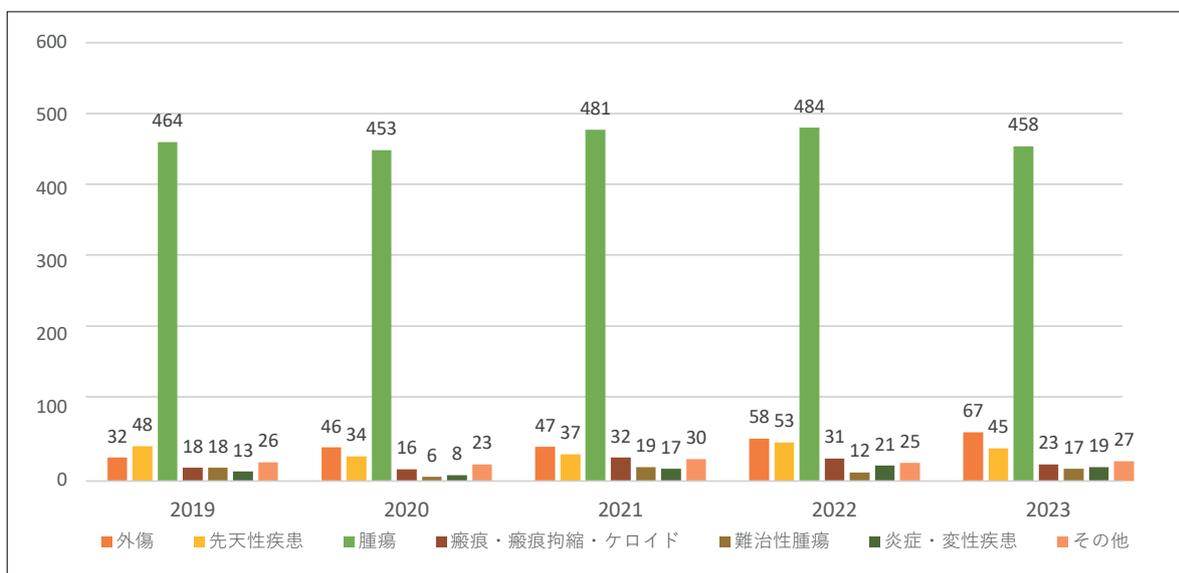
※乳腺疾患につきましては、2023年度より乳腺外科に診療が移行したため、外科では受け入れを行っておりません。詳細は乳腺外科の頁をご参照ください。



●2023年手術実績 (形成外科)

手術件数	656件 (入院：238件、外来：418件)
手術内容	良性・悪性皮膚軟部腫瘍摘出術およびそれに関連した再建術、皮弁術、植皮術、顔面骨折靱帯的整復固定術、眼瞼下垂手術、瘢痕拘縮手術、口唇口蓋裂手術、骨移植術、耳介形成術など

●2019年～2023年 手術件数推移 (形成外科)



乳腺外科

診療科長・教授



ちしま たかし
千島 隆司

卒業	福島県立医科大学 平成3年卒
専門	乳腺疾患一般、乳がん検診
資格	日本乳癌学会：評議員・乳腺専門医・指導医、 日本外科学会：外科専門医・指導医、 日本遺伝性腫瘍学会：遺伝性腫瘍専門医、 日本乳癌検診学会：評議員、 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会：評議員、 日本サイコオンコロジー学会：代議員、 日本消化器外科学会：認定登録医(専門医)・指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、 乳房超音波検診実施・判定医、 日本医師会：認定産業医、 米国癌学会(AACR)：Active Member、 米国臨床腫瘍学会(ASCO)：Active Member

診療内容・特色

現在、日本における乳がんの罹患者数は年間10万人とされています。特に、乳がんは40歳後半から50歳代で罹患者が高く、職場でも家庭でも中心的な役割を担う世代で発症するのが特徴です。その一方で、85%の乳がん患者さんは病気を克服して「もとの人生」へ戻ることができるようになりました。これからの乳がん診療は、治療だけではなく「がんが治った後の生活」も考えた患者支援が必要となってきます。

2023年4月に新設した当科では、乳腺専門医(乳腺外科)、がん薬物療法専門医(腫瘍内科)、放射線治療専門医(放射線科)、形成外科専門医(形成外科)に加え、がん看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、がん専門薬剤師などのがん治療の専門家がチームを作り、患者さんが安心・安全に乳がん治療を受けられるような環境作りに取り組んでいきます。

主な対象疾患

- 悪性疾患：乳がん(男性乳がんも含む)、間質肉腫、血管肉腫などの乳腺悪性腫瘍
- 良性疾患：線維腺腫、葉状腫瘍などの乳腺良性腫瘍、乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳腺症、乳頭異常分泌、ホルモン異常による乳房痛、女性化乳房症、腋窩リンパ節腫大
- 二次乳がん検診(精密検査)：腫瘤、石灰化病変に対する組織診断

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	こまつ 小松 かな 奈々	東京女子医科大学 平成27年卒	乳腺疾患一般、 乳がん検診	日本外科学会：外科専門医、 日本乳癌学会：乳腺専門医、 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、 乳房超音波検診実施・判定医
助教	まつやなぎ 松柳 みさき 美咲	昭和大学 平成27年卒	乳腺疾患一般、 乳がん検診	日本外科学会：外科専門医、 日本乳癌学会：乳腺認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医
助教	やの 矢野 ひさこ 央子	昭和大学 平成31年卒	乳腺疾患一般、 乳がん検診	日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医

主な診療実績等

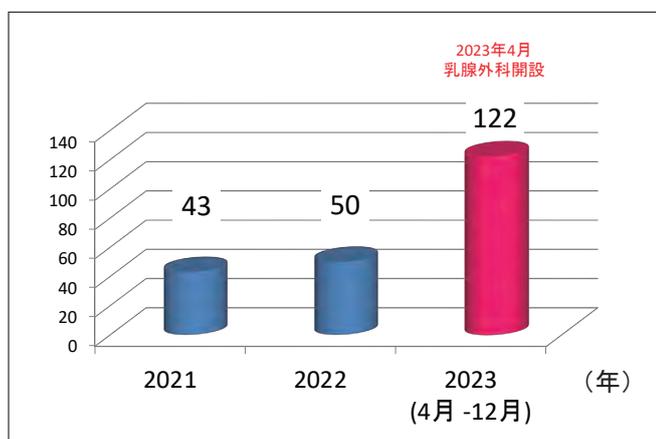
●2023年（4月～12月）手術件数

悪性疾患手術件数			
乳房全切除術	72例	センチネルリンパ節生検	108例
乳頭乳輪温存乳房全切除術	1例	腋窩郭清	16例
乳房部分切除術	48例		
その他	1例		

良性疾患手術件数	
腫瘍摘出術	5例
その他	6例

乳房再建（一次一期再建）手術件数	
人工乳房再建術	1例
自家組織再建術	0例

●乳房悪性腫瘍根治手術件数／年次推移



2023年4月以降の乳房悪性腫瘍の根治手術件数は122例でした。
2022年までに比べて2倍以上のペースとなっています。

脳神経外科

診療責任者・講師



ふじしま ひろたけ
藤島 裕丈

特任教授



てらだ ともあき
寺田 友昭

卒業	昭和大学 平成15年卒
専門	脳血管障害、脳腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛
資格	医学博士、 日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本脳卒中の外科学会：技術認定医

卒業	和歌山県立医科大学 昭和55年卒
専門	脳血管内治療
資格	医学博士、 日本脳神経血管内治療学会：指導医、 日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医、 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

診療内容・特色

すべての脳神経外科疾患の治療にあたっていますが、大学病院ならではの高度な手術治療に注力しています。また高齢の患者さんに対しても総合病院の強みを生かして各科と連携して治療にあたる事が可能です。

現在脳血管障害を中心にそれ以外でも脳腫瘍など脳外科疾患全般に対応する事が可能です。現在脳神経外科と脳血管センターと分かれています。実働は脳神経外科医6人で患者さんの治療、管理を行っております。カンファレンスで直達もしくは血管内どちらの治療がより患者さんにとって安全でベストな治療が検討して治療しております。

当科では主に①脳動脈瘤直達手術②血管吻合術を併用した脳血管障害手術③頸動脈狭窄症に対する直達手術④良悪性関わらず頭蓋内腫瘍全般⑤顔面痙攣や三叉神経痛に対する微小血管減圧術⑥正常圧水頭症に対するシャント手術などを得意としています。一般的に顔面痙攣や三叉神経痛は直接命に関わる疾患ではありませんが患者さん本人の生活の質には大きく影響してくる疾患です。精査を行った上で手術によって完治を見込めるような場合は患者さんと相談のうえで積極的に治療を行っていく方針としております。特に三叉神経痛に関しては疼痛のために生活の質が落ちている可能性十分考えられます。薬物治療で疼痛コントロールが困難な症例では80歳を超えるような高齢の患者さんにも積極的に手術を行っております。

その他、地域のニーズに応えるため救急搬送患者をすべて受け入れております。くも膜下出血、脳出血、脳梗塞、頭部外傷をはじめとするすべての救急疾患に常時対応しております。

主な対象疾患

- 脳腫瘍：髄膜腫など良性腫瘍全般、神経膠腫、神経膠芽腫、悪性リンパ腫、転移性脳腫瘍、眼窩内腫瘍
- 脳血管障害：巨大脳動脈瘤を含めた未破裂脳動脈瘤、硬膜動静脈瘻、くも膜下出血、頸動脈狭窄症、虚血性脳疾患（バイパス術や血管内治療）、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞
- 機能障害：三叉神経痛、顔面けいれん
- 水頭症：特発性正常圧水頭症
- 神経外傷：慢性硬膜下血腫、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	やまが ひろお 山家 弘雄	愛知医科大学 平成7年卒	脳血管内治療	日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本血管内治療学会：専門医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医
助教	ひがしその かずや 東園 和也	鹿児島大学 平成29年卒	脳外科全般	日本脳神経外科学会：専門医
助教	なとり いくや 名取 郁哉	昭和大学 平成31年卒	脳外科全般	
助教	おかべ じゅんや 岡部 純也	昭和大学 令和2年卒	脳外科全般	

主な診療実績等

●2023年 主な手術実績

脳腫瘍：17件	髄膜腫、神経鞘腫：7件
	神経膠腫、神経膠芽腫：1件
	転移性脳腫瘍：5件
	その他：4件
脳血管障害：31件	脳動脈瘤クリッピング術：9件 [未破裂：9／破裂：0]
	内頸動脈内膜剥離術：12件 バイパス術：2件
	高血圧性脳出血：6件
	その他：2件
機能外科	微小血管減圧術（顔面けいれん、三叉神経痛）：5件
	外傷（急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫）：6件
	水頭症に対するシャント手術：7件
	慢性硬膜下血腫穿頭血腫洗浄ドレナージ：28件
	その他：10件

●2023年 脳血管障害診療実績

未破裂脳動脈瘤	119件	急性期脳卒中（発症7日以内）	137件
脳内出血（発症7日以内）	41件	くも膜下出血	3件
脳動静脈奇形	10件	もやもや病	1件

診療科長・教授／副院長



かわ さき けい きち
川崎 恵吉

卒業 昭和大学 平成3年卒

専門 整形外科一般、手外科

資格 医学博士、
日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、
日本手外科学会：認定手外科指導医・専門医、
日本スポーツ協会公認スポーツドクター

診療内容・特色

横浜市北部地域の基幹病院として、質が高く専門性の高い医療を提供できるように昭和大学病院(東京都品川区)、藤が丘病院、同リハビリテーション病院(横浜市青葉区)と密接に連携をとりあっています。地域医療支援病院として精密検査、入院、手術が必要な症例、および救急症例の診療を主に行っています。

周辺地域開業医の先生方とは、定期的に研究会を行って病診連携をとり、患者さんの情報提供をスムーズに行えるようにしています。入院、手術などが必要でない患者さんには、かかりつけ医として地域診療所の先生方に逆紹介しています。

また、整形外科疾患では、長期入院加療を要する症例も少なくありません。その場合は地域の病院や医療機関、施設に紹介させていただき、引き続き入院加療をしていただくように連携をとっています。

主な対象疾患

- 手関節・肘関節疾患：橈骨遠位端骨折、舟状骨偽関節、母指CM関節症、デュプイトレン拘縮、手根管症候群
- 股関節疾患：変形性股関節症、大腿骨頭壊死、臼蓋形成不全、インピンジメント症候群
- 脊椎疾患：腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎圧迫骨折、転移性脊椎腫瘍
- 膝関節・スポーツ関連疾患：膝前十字靭帯断裂、半月板損傷、変形性膝関節症、内反膝
- 小児整形外科：先天性股関節脱臼、内反足
- 上・下肢外傷：大腿骨近位部骨折、脛骨高原骨折、足関節脱臼骨折、上腕骨近位部骨折

スタッフ

准教授



ふじ まき よし まさ
藤巻 良昌

卒業	昭和大学 平成8年卒
専門	整形外科一般、膝関節外科、スポーツ医学
資格	日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、認定スポーツ医、認定運動器リハビリテーション医、JOSKAS膝関節鏡技術認定医、日本スポーツ協会：公認スポーツドクター、全日本スキー連盟：情報科学委員・アルペン担当チームドクター

准教授



まえ だ あき ひこ
前田 昭彦

卒業	昭和大学 平成10年卒
専門	整形外科一般、股関節、人工関節、小児整形
資格	日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、日本人工関節学会：認定医、日本スポーツ協会：公認スポーツドクター、身体障害者福祉法指定医師、難病指定医、臨床研修指導医

准教授



おお した ゆう すけ
大下 優介

卒業	昭和大学 平成13年卒
専門	整形外科一般、脊椎・脊髄外科
資格	日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、認定脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会：脊椎脊髄指導医、日本骨粗鬆症学会：認定医、義肢装具等適合判断医師、難病指定医、身体障害者福祉法指定医師、日本体育大学ラグビー部チームドクター

講師



やま ぐち まさ や
山口 正哉

卒業	昭和大学 平成15年卒
専門	整形外科一般、外傷
資格	医学博士、日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、日本骨折治療学会：評議員、JABO (Japanese Association for Biological Osteosynthesis) Faculty

講師



い とう りょう た
伊藤 亮太

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	整形外科一般、小児整形、股関節
資格	医学博士、日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、日本整形外科超音波学会：幹事、難病指定医、身体障害者福祉法指定医師

講師



え もり はるか
江守 永

卒業	昭和大学 平成20年卒
専門	整形外科一般、脊椎・脊髄外科
資格	医学博士、日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、認定運動器リハビリテーション医、認定脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会：認定脊椎脊髄指導医、日本スポーツ協会：公認スポーツドクター、難病指定医、身体障害者福祉法指定医師、神奈川県アイスホッケー連盟：理事、中央大学スケート部アイスホッケー部門チームドクター、昭和大学BLUE WINDSチームドクター

整形外科

	氏名	卒業	専門	資格
助教	ふくだ 福田 ゆうほ 悠甫	昭和大学 平成26年卒	整形外科一般	日本整形外科学会：認定整形外科専門医
助教	おぎわら 萩原 よう 陽	昭和大学 平成27年卒	整形外科一般、 手外科	日本整形外科学会：認定整形外科専門医
助教	あけづま 明妻 ひろたか 裕孝	日本大学 平成29年卒	整形外科一般	日本整形外科学会：認定整形外科専門医
助教	つのだ 角田 ともあき 智亮	北里大学 平成30年卒	整形外科一般	日本整形外科学会：認定整形外科専門医
助教	まつき 松木 りょうすけ 良介	杏林大学 令和3年卒	整形外科一般	
助教	しょうだ 正田 はるか 遥香	昭和大学 令和4年卒	整形外科一般	
助教	よしやま 吉山 さとし 慧	信州大学 令和4年卒	整形外科一般	

主な診療実績等

- 2023年度 手術件数 合計：1,530件
(内訳) ※重複あり

手外科・上肢	580件
下肢外傷	115件
脊椎	164件
人工股関節	251件
人工膝関節	69件
関節鏡下(股)	6件
骨盤骨切り	4件
関節鏡下(膝)	48件
半月板	25件
膝(外傷)	5件
膝(骨切り)	29件
膝(靭帯)	38件
膝(その他)	2件
その他	236件

小児整形		103件	
上肢	骨折	74件	
	偽関節手術	7件	
	骨切り術	2件	
	強剛母指 手術	1件	
	脱臼 観血的整復術	1件	
	腱断裂 腱縫合術	2件	
	神経断裂 神経縫合術	1件	
	骨腫瘍	2件	
	下肢	骨折	7件
		膝蓋骨脱臼	3件
骨髓炎 骨搔把術		1件	
大腿骨頭すべり症		1件	
化膿性股関節炎 鏡視下手術		1件	

●特徴的な診療領域

<p>上肢の手術</p>	<p>日本手外科学会認定の手外科専門医が治療にあたります。 (手外科専門医については日本手外科学会のホームページをご参照ください：http://www.jssh.or.jp/ippan/senmon/about_senmoni.html#pict) 手外科の疾患は非常に多彩で手術も多様です。当院では昭和大学藤ヶ丘病院、昭和大学附属病院や昭和大学江東豊洲病院の手外科専門医と密接に連携しながら治療にあたっています。近年、最小侵襲での手術加療が一般的となってきました。当科では小さな傷で治療が可能な関節鏡による治療を積極的に導入し、TFCC 損傷、舟状骨の偽関節などに対する治療も可能な限り最小侵襲での治療を心がけています。近年、ご高齢の方の人口が増え、転倒による橈骨遠端骨折や上腕骨骨折が増えており、これらに対する骨接合手術を数多く施行しています。特に、高齢患者さんの肘周辺骨折に対しては一期的に人工肘関節置換術も行っており、成績は良好です。また骨折後の変形矯正手術（特に小児の肘関節周辺骨折やその後の変形に対する3次元矯正手術）、難治性舟状骨偽関節や月状骨軟化症などの骨壊死に対する血管柄付き骨移植、神経や腱の手術、関節リウマチに対する滑膜切除術や人工肘・手関節置換術、さらには人工関節を用いない手関節形成術なども行っています。更年期女性における手指の痛みに関しても、当科では積極的に加療を行っており、特に母指CM関節症に対する関節形成術の手術件数は増えています。手に関してお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。</p>
<p>股関節手術</p>	<p>股関節のエキスパートが治療にあたります。セメントを用いない人工股関節置換術（THA）は黒木・宮岡両教授による数千例の手術実績と長期成績を有し、これらのデータとアドバイスをもとに手術を行ってきました。変形性股関節症や関節リウマチ、大腿骨頭壊死症にセメントを用いないTHAを行い、きわめて良好な成績を取っています。さらに両側同時人工股関節手術や再置換術などの難しい症例も積極的に取り組んでいます。また若年者には人工関節を使用せずに関節温存に努め、寛骨臼回転骨切り術や大腿骨頭回転骨切り術などの各種骨切り術を行っています。</p>
<p>脊椎外科</p>	<p>日本脊椎脊髄病学会指導医と日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医が中心になり治療にあたります。初代病院長であり、日本整形外科学会理事長であった黒川高秀東大教授発案の頸椎棘突起縦割法を踏襲しております。腰椎手術は側方アプローチ手術なども患者さんの症状にあわせて対応しております。脊柱管狭窄症をはじめとする変性疾患ばかりでなく脊椎外傷、脊椎感染、転移性脊椎腫瘍など脊椎疾患の手術に対応しております。必要な検査やブロックなどの保存療法を行い、診断と診療方針を決定します。骨粗鬆症を認める椎体骨折の急性期には、一般的にコルセットをもちいた保存的な治療が選択されております。しかしながら、椎体の圧壊が進行する方もいます。疼痛のためADLが低下した方で局所後弯の程度により疼痛の軽減を目的にステントを留置しセメントを椎体内に充填するVertebral Body Stenting (VBS) などを施行しております。ステントは経皮的に挿入し、椎体を整復する低侵襲な治療です。椎間板ヘルニアには、コンドリアーゼ注射による治療法や内視鏡による手術も行っております。症状に応じ手術療法を選択しております。</p>
<p>スポーツ：膝関節</p>	<p>日本整形外科学会認定運動器スポーツ医、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会による膝関節鏡技術認定医が中心になり治療にあたります。膝の靭帯損傷、半月板損傷などに対してスポーツ種目別に専門性の高い治療を行います。関節鏡視下手術をはじめ最小侵襲で早期スポーツ復帰をめざした手術を行っています。発育期のスポーツ障害から、学生アスリート、ナショナルチーム選手、ママさんバレーまで幅広く対応しています。また、比較的高齢者の変形性膝関節症の治療や、O脚変形に対する矯正骨切り術なども積極的に行っておりますのでご相談ください。</p>

診療科長・教授



いちづか きよたけ
市塚 清健

卒業	昭和大学 平成5年卒
専門	産婦人科全般、周産期医学、超音波医学、臨床遺伝
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)・指導医・臨床研修指導医・母体保護法指定医、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医、 Fetal Medicine Foundation オペレータ資格、 新生児蘇生法インストラクター、 J-CIMELS インストラクター

診療内容・特色

当院では、周産期学、婦人科腫瘍学、内視鏡手術などの専門分野のみならず、女性の一生を取り扱う「女性科」として、すべての年代における産婦人科疾患の早期発見・治療と健康管理を行うことを目標としております。

産科診療においては多くの診療科を有する大学附属病院の特色を生かし、合併症を有する妊娠、分娩管理についてはそれぞれの疾患に合わせ、該当診療科、センターなどの協力を得て診療にあたります。特に生殖年齢女性に比較的多く見られる甲状腺疾患や膠原病などはそれぞれ甲状腺センター、母性内科担当医師と、最近増加傾向にあるメンタル合併妊娠についてはメンタルケアセンターとそれぞれ協同して診療にあたって参ります。NICUもございまして母体搬送も積極的に受け入れています。出生前検査や出生前診断については臨床ゲノム遺伝センターと緊密に連携して診療に当たっています。胎児異常が疑われる場合には超音波やMRIを駆使し胎児診断を行い対応いたします。胎児胸水や胎児貧血などでは胎児治療も行います。また、無痛分娩の要望の高まりを受け、2022年から当院でも一定の条件を満たし、無痛分娩をご希望される妊婦さんには、麻酔科医師の麻酔管理の下で無痛分娩も実施しております。

婦人科診療では従来からの子宮筋腫などに対する内視鏡手術に加え、さらに体に負担の少ないロボット手術も実施しております。

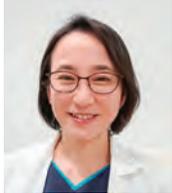
急性期疾患については、治療後、地域医療機関と連携して積極的に逆紹介あるいはかかりつけ医を紹介し、横浜市北部地域の中核病院として機能するよう心がけています。

主な対象疾患

- 産科：妊娠悪阻、切迫流産、前置胎盤、羊水過少・過多、胎児発育不全、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、内科疾患合併妊娠、精神疾患合併妊娠、悪性腫瘍合併妊娠、胎児診断、胎児胸水、胎児貧血
- 婦人科：良性腫瘍（子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症）の鏡視下（腹腔鏡、子宮鏡）手術、ロボット手術、悪性腫瘍の手術・化学療法・放射線治療

スタッフ

准教授



のむら ゆきこ
野村 由紀子

卒業	昭和大学 平成10年卒
専門	産婦人科全般、骨盤臓器脱、内視鏡手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医、da Vinci System Certificate (Console Surgeon)、母体保護法指定医、臨床研修指導医

講師



みやもと しんごう
宮本 真豪

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	産婦人科全般、婦人科腫瘍、内視鏡手術、医学教育
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会：専門医・指導医、癌治療認定医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医・評議員、日本内視鏡外科学会：技術認定医、Da Vinci Certification (Si, X and Xi)、臨床研修指導医、新生児蘇生法専門コースFCME (Foundation Course for Medical Education) 8期、Japanese Surgeons as Educators course、新リンパ浮腫研修

講師



おおば ともひろ
大場 智洋

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	周産期医学
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)、日本産科婦人科遺伝診療学会認定母体保護法指定医、臨床研修指導医

講師



せ お こうへい
瀬尾 晃平

卒業	聖マリアンナ医科大学 平成21年卒
専門	周産期医学、超音波医学、内視鏡手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本超音波医学会：専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)、J-CIMELS インストラクター、臨床研修指導医、ダウインチ認定資格

産婦人科

診療科紹介

	氏名	卒業	専門	資格
助教	こたに みほこ 小谷 美帆子	帝京大学 平成16年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、臨床研修指導医
助教	おくやま あゆみ 奥山 亜由美	福島県立医科大学 平成21年卒	周産期医学、超音波医学	日本産科婦人科学会：専門医、日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)、日本超音波医学会：専門医・指導医、臨床研修指導医、母体保護法指定医、Fetal Medicine Foundation オペレーター、J-CIMELS インストラクター
助教	おかだ よしゆき 岡田 義之	産業医科大学 平成22年卒	内視鏡手術、骨盤臓器脱、産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医・指導医、日本性感染症学会：認定医、ダウインチ認定資格、日本スポーツ協会：公認スポーツドクター、産業医、臨床研修指導医、新生児蘇生法専門コース
助教	ごとう みなこ 後藤 未奈子	昭和大学 平成23年卒	周産期医学、超音波医学	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本周産期新生児医学会：専門医(母体・胎児)、日本超音波医学会：専門医、母体保護法指定医、J-CIMELS インストラクター、Fetal Medicine Foundation オペレーター

産婦人科

	氏名	卒業	専門	資格
助教	ながかわ ちえ 中川 智絵	日本大学 平成26年卒	産婦人科全般、 骨盤臓器脱	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELS ベーシックコース、 Fetal Medicine Foundationオペレーター
助教	いづみ 龍也 伊藤 龍也	昭和大学 平成27年卒	周産期医学、 超音波医学、 胎児治療	日本産科婦人科学会：専門医、 日本音超音波医学会：専門医、 Fetal Medicine Foundation operator、 新生児蘇生法(NCPR) Aコース、 J-CIMELS ベーシックコースインストラクター、 Da Vinci Certificate 助手
助教	こばやし ひろき 小林 弘樹	徳島大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELS ベーシックコース
助教	こませ なお 駒瀬 奈央	秋田大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース
助教	みずたに さき 水谷 咲紀	浜松医科大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース
助教	せきや あおい 関谷 葵	帝京大学 平成30年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース
助教	はたえ けんご 波多江 健五	福岡大学 平成30年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース
助教	みうら るいこ 三浦 瑠衣子	昭和大学 平成30年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELS アドバンスコース
助教	はらざわ たかつな 原澤 孝綱	北里大学 平成31年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELS ベーシックコース
助教	やまだ えみ 山田 恵美	東京女子医科大学 平成31年卒	産婦人科全般	J-CIMELS ベーシックコース
助教	すがや さとみ 菅谷 聡美	東京医科大学 令和4年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELS ベーシックコース、 ICLS インストラクター
助教	まつだ たいすけ 松田 泰介	東海大学 令和4年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース
助教	みた まりこ 三田 真理子	昭和大学 令和4年卒	産婦人科全般	

主な診療実績等

2023年

手術数	良性開腹手術合計（帝王切開は除く）	74
	腹腔鏡下手術（含悪性）合計	251
	悪性腫瘍手術合計	76
	経腔的手術合計 （頸管縫縮術、流産手術は除く）	42
	子宮鏡下手術合計	60
	ロボット支援下子宮全摘術合計	32

(件)

周産期症例	分娩数（22週以降）	1054
	帝王切開	410
	吸引分娩	45
	鉗子分娩	6
	頸管縫縮術	20
	早産数	45
	流産手術	39

診療科長・教授



ふじ こう ぞう
富士 幸藏

卒業	昭和大学 昭和62年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本専門医機構：泌尿器科専門医、 日本泌尿器科学会：指導医、 日本排尿機能学会：専門医

診療内容・特色

横浜市北部医療圏の基幹病院として尿路および男性生殖器の腫瘍や結石、排尿障害、感染症など泌尿器科疾患全般に対応しています。当院は地域がん診療拠点病院でもあり、腎、膀胱、前立腺をはじめとする泌尿器科悪性腫瘍(がん)の治療に関しては、手術療法と抗癌化学療法(従来抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬)や放射線療法を組み合わせた集学的治療に積極的に取り組んでいます。

- 腎癌、腎盂・尿管癌に対する手術は腹腔鏡手術やロボット支援手術を中心に行っていますが、進行した症例に対する開腹手術にも対応しています。また、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬などによる化学療法も積極的に行っています。
- 膀胱癌に対しては経尿道的膀胱腫瘍切除術や膀胱全摘除術といった外科的治療と、膀胱内注入療法や全身化学療法などの内科的治療を病態によって行っています。
- 前立腺癌の治療は病状や御本人の希望を勘案してロボット支援前立腺全摘術、放射線療法、ホルモン療法を単独もしくは併用で行っています。密封小線源療法は昭和大学江東豊洲病院と連携して行っています。最近では治療関連合併症によるADLやQOLの低下を軽減させるため、厳重な経過観察のもと至適な開始時期まで治療を遅らせる監視療法も増えています。
- その他の泌尿器悪性腫瘍に対しても、手術、化学療法(抗がん剤)、放射線療法など幅広く対応しております。
- 尿路結石症や尿路感染症の救急診療にも対応しています。病状に応じて外来、入院での治療を行います。
- 排尿障害(前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱など)に対しても積極的に取り組んでいます。前立腺肥大症には経尿道的前立腺切除術、経尿道的前立腺核出術に加え、低侵襲手術である前立腺吊り上げ術などにも取り組み、患者の病態に応じた治療を行っています。
- 女性泌尿器疾患に対しては女性骨盤底センターと連携し診療を行っています。

主な対象疾患

- 腎細胞癌、腎盂・尿管・膀胱の尿路上皮癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌(手術、放射線療法、化学療法)
- 尿路・男性生殖器の炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、精巣上体炎)
- 排尿障害(前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱)
- 尿路結石症(腎結石、尿管結石、膀胱結石)
- 女性泌尿器疾患(尿失禁、間質性膀胱炎)
- 急性陰囊症(精索捻転症、精巣外傷)

泌尿器科

スタッフ

准教授



さいとう かつゆき
齋藤 克幸

卒業	昭和大学 平成13年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本専門医機構：泌尿器科専門医、 日本泌尿器科学会：指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医

講師



まつばら えいじ
松原 英司

卒業	昭和大学 平成17年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本専門医機構：泌尿器科専門医、 日本泌尿器科学会：指導医、 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会：泌尿器腹腔鏡技術認定医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	うのき つとむ 鵜木 勉	昭和大学 平成21年卒	泌尿器一般	日本専門医機構：泌尿器科専門医、 日本泌尿器科学会：指導医
助教	みずぬま もゆる 水沼 萌	獨協医科大学 平成30年卒	泌尿器一般	
助教	やすだ そう 安田 想	日本大学 平成31年卒	泌尿器一般	
助教	たまおか まさし 玉岡 容	昭和大学 令和2年卒	泌尿器一般	
助教	はっとり かずま 服部 一真	日本医科大学 令和3年卒	泌尿器一般	
助教	しぶや なおと 澁谷 直人	昭和大学 令和4年卒	泌尿器一般	

主な診療実績等

主な手術症例数		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
悪性腫瘍	腎（尿管）悪性腫瘍	41	43	41	34	46
	腹腔鏡下根治的腎摘除術	16	15	7	14	16
	腹腔鏡下腎部分切除術	11	12	16	8	11
	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	9	8	10	8	18
	開放腎・尿管悪性腫瘍手術	5	8	8	4	1
	膀胱悪性腫瘍	143	125	155	156	179
	経尿道的切除術	136	116	151	144	172
	開放膀胱全摘除術	7	8	2	10	6
	精巣／陰茎悪性腫瘍	14	8	6	12	9
	高位精巣摘除術	12	7	5	12	9
	陰茎全摘／部分切除術	2	1	1	0	0
	前立腺悪性腫瘍	12	22	16	24	48
	前立腺全摘除術	0	2	5	13	4
	ロボット支援下前立腺全摘除術					22
精巣摘除術（去勢術）	12	20	11	6	7	
良性疾患	前立腺肥大症	36	28	24	33	48
	経尿道的前立腺切除術	8	12	16	16	19
	経尿道的前立腺核出術	28	14	5	14	21
	レーザー蒸散術・前立腺吊り上げ術	0	2	3	3	8
	尿路結石症	51	42	38	51	24
	経尿道的腎・尿管結石碎石術	42	32	28	36	16
	経尿道的膀胱結石碎石術	9	10	10	15	8
	尿路通過障害	89	91	122	108	108
	経皮的腎瘻・膀胱瘻造設術	10	7	15	13	10
	経尿道的尿管ステント留置術	79	83	105	93	79
	尿管膀胱／尿管尿管吻合術など	0	1	2	2	0
陰嚢疾患	16	17	5	9	12	
精索捻転手術・精索静脈瘤手術	5	3	1	3	4	
陰嚢水腫・精液瘤根治術	11	14	4	6	8	
検 査	経会陰的前立腺針生検	263	190	187	204	236
	尿管鏡検査	0	7	16	11	8

診療科長・教授



ふじさわ くにみ
藤澤 邦見

卒業	昭和大学 昭和63年卒
専門	網膜硝子体、水晶体
資格	日本眼科学会：専門医・指導医

診療内容・特色

2024年4月より、眼科指導医・専門医4名、専攻医2名、非常勤(大学院)1名の7名体制です。甲状腺眼症は昭和大学病院附属東病院眼科の遠藤講師が月一回(第4月曜)専門外来を行っております。

当院では、白内障、緑内障、角膜、網膜硝子体疾患、外傷、などの眼科全般を診療しています。

白内障手術は年間1,300件以上行っており、日帰りと入院手術が選べます。術中波面収差測定装置ORAを導入しており、乱視用眼内レンズや多焦点レンズ挿入の際に使用しております。ORAがあることで、LASIK後の方の白内障手術など術後の目の度数の精度を高くできます。

網膜硝子体手術は年間300件程度行っています。糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜などの網膜硝子体疾患を、最新の設備で極小切開硝子体手術を行っております。

緑内障手術は、低侵襲緑内障手術(MIGS)から通常のトラベキュlectミー(線維柱帯切除術)、難治性緑内障にも対応できるインプラント手術も行っております。

抗VEGF治療に関しましては、硝子体注射の件数は年々増加傾向であり、このため近医ご開業の先生方と術後の診療等で連携していただき、治療を行っております。日帰りまたは入院で対応しております。

眼瞼下垂や眼瞼内反症、斜視手術を行っております。角膜移植は、神奈川県アイバンク様からのご協力のもと行っております。ここ数年はコロナ禍で国内提供を得ることが極端に難しい状況でしたが、今後徐々に再開していく予定です。

涙に関する手術は、専門医が不在で現在当院では行っておりません。

急性期疾患は随時受け入れております。当科での手術や入院加療などが終了され落ち着いた患者さんには、なるべく早期からご紹介いただいた眼科クリニック様と併診での御加療をお願いさせていただいております。今後ともよろしくお願い致します。

主な対象疾患

白内障・緑内障・網膜剥離・糖尿病網膜症・黄斑円孔・網膜前膜・加齢性黄斑変性症・網膜中心静脈閉塞症・未熟児網膜症・眼瞼下垂・内反症・斜視など、眼科領域全般に対する疾患(手術等を含めた治療を実施)

スタッフ

講師



ぜん の まこと
禅野 誠

卒業	昭和大学 平成17年卒
専門	網膜硝子体、水晶体
資格	日本眼科学会：専門医・指導医

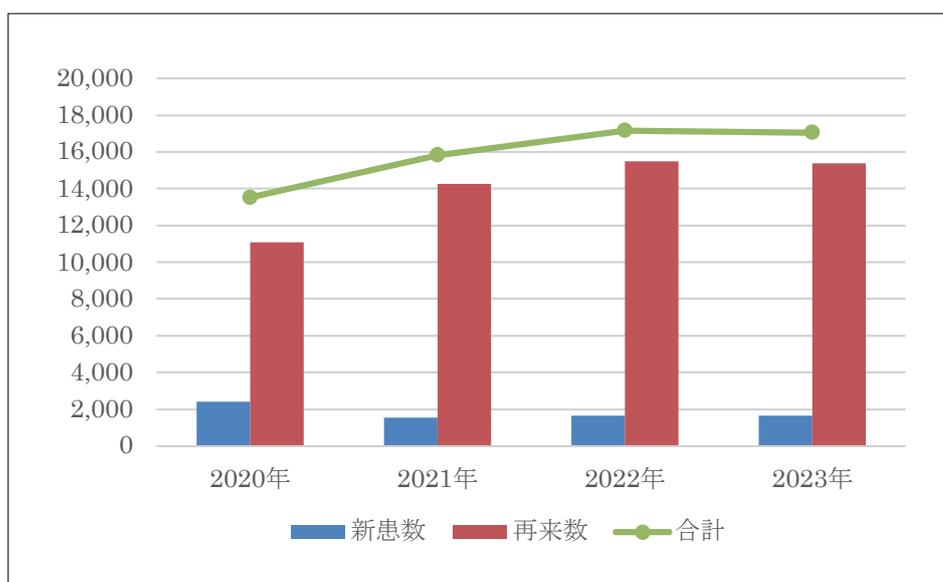
	氏名	卒業	専門	資格
助教	しまさき かおる 嵩 薫	鹿児島大学 平成28年卒	水晶体、眼科一般	日本眼科学会：専門医
助教	おおさき ちか 大崎 慶花	東京女子医科大学 平成28年卒	水晶体、眼科一般	日本眼科学会：専門医
大学院生	かつら さき 桂 沙樹	東北大学 平成30年卒	水晶体、眼科一般	
助教	きたむら こうじ 北村 昂司	新潟大学 令和3年卒	水晶体、眼科一般	
助教	すずき こうすけ 鈴木 康介	東北大学 令和3年卒	水晶体、眼科一般	

眼科

診療科紹介

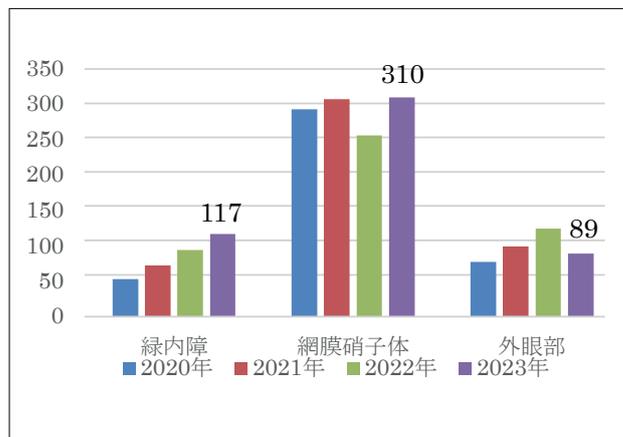
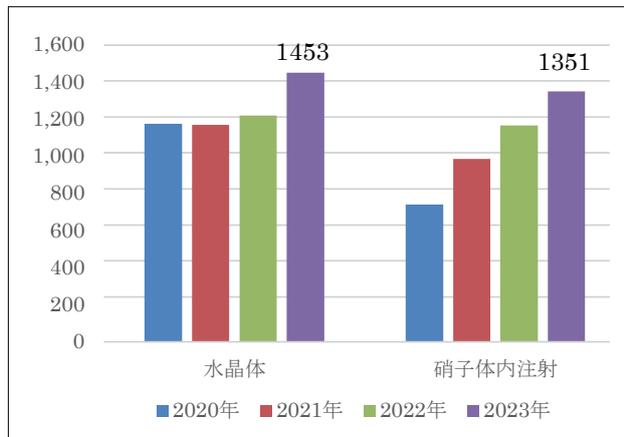
主な診療実績等

●患者数



患者数(人)	2020年	2021年	2022年	2023年
新患数	2,425	1,569	1,652	1,667
再来数	11,101	14,262	15,505	15,382
合計	13,526	15,831	17,157	17,049

●主な手術実績



●2023年 手術件数

内眼手術

疾患	術式	件数
白内障	PEA + IOL	1,453
	PECCE + IOL	14
	IOL 縫着術 (SSSまたは強膜内固定術)	30
	2nd IOL (挿入のみ)	5
	その他	28
緑内障	周辺虹彩切除術	2
	線維柱帯切除術	16
	エキスプレス挿入術	1
	線維柱帯切開術	26
	チューブシャント手術	2
その他緑内障手術	70	
網膜硝子体	網膜剥離 (Bucklingのみ)	33
	眼内異物摘出術	
	網膜硝子体手術	277
	硝子体注射	1,351
強角膜	強角膜縫合術	1
角膜	角膜移植術	
その他	その他内眼手術	9

レーザー

術式	件数
網膜光凝固	360
周辺虹彩切開術 (LI)	8
後発白内障切開 (YAG)	99
その他 (SLTなど)	

外眼手術

疾患	術式	件数
斜視	斜視手術	
眼瞼	眼瞼下垂症手術	40
	眼瞼内反症手術	14
	眼瞼外反症手術	
	眼瞼形成術	
	眼瞼結膜腫瘍手術	6
	重瞼術	
眼球	眼球摘出術	
涙器	涙嚢鼻腔吻合術	
	涙小管縫合術	
	涙道内視鏡手術	
	その他涙器に関する手術	
眼表面	翼状片手術	13
眼窩	視神経管開放術	
	眼窩底骨折整復術	
	眼窩内側壁骨折整復術	
	眼窩内腫瘍摘出術	5
	眼窩内異物摘出術	4
その他	その他外眼手術	7

合計数

種別	件数
内眼手術	3,318
外眼手術	89
レーザー	467
合計	3,874

診療科長・准教授



の が き た け と し
野 垣 岳 稔

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	耳疾患、鼻・副鼻腔疾患
資格	日本耳鼻咽喉科学会：専門医、 耳鼻咽喉科専門研修指導医、 15条指定医、 難病医療費助成制度指定医、 臨床研修指導医

診療内容・特色

当科の理念は、「耳鼻咽喉科疾患の治療のみならず疾病予防に努める」であり、病気の治療を行うと共に全ての受診患者さんに適切な生活指導を行っています。

主な診療分野は鼻副鼻腔疾患で、慢性副鼻腔炎に対しては血液検査、CT等で精査し重症度判定の後、マクロライド療法など薬物療法、内視鏡下鼻副鼻腔手術等で治療を行います。好酸球性副鼻腔炎の術後再発症例に対し生物学的製剤での治療も行っています。アレルギー性鼻炎に対しては従来の内服点鼻による薬物療法のほか、舌下免疫療法、レーザー治療を施行しています。鼻副鼻腔腫瘍に対しては可能な限り鼻内より内視鏡下手術を行っております。慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術は県下でも有数の件数となっております。

耳科領域では急性難聴に対しては、ステロイドホルモン剤を中心とした治療を行っています。慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎は、現在は藤が丘病院と連携し治療を行っていますが、体制が整い次第、当院でも手術を行う予定です。単純鼓膜穿孔による難聴に対しては外来で鼓膜穿孔閉鎖術が可能です。補聴器相談は補聴器専門外来での対応が可能です。また聴覚障害者認定を行っています。

頭頸部腫瘍は、良性の耳下腺・顎下腺腫瘍、甲状腺腫瘍、副甲状腺腺腫、頸部嚢胞には手術治療。悪性の口腔・舌癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌、唾液腺癌などは、昭和大学本院の頭頸部腫瘍センター、癌専門施設と連携して診療を行っております。

その他耳鼻咽喉科領域の感染症に対する治療や、がん・心臓脳神経血管障害その他疾病予防のために、2009年4月よりニコチン依存症患者に対する禁煙指導・禁煙支援を専門外来にて行っています。

主な対象疾患

- 鼻副鼻腔領域：副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、肥厚性鼻炎、アレルギー性鼻炎、鼻副鼻腔腫瘍、嗅覚障害
- 耳科領域：急性感音難聴、慢性中耳炎、真珠性中耳炎、顔面神経麻痺、めまい、補聴器外来
- 咽喉頭領域：扁桃炎、声帯ポリープ、喉頭腫瘍
- 頭頸部領域：頸部良性腫瘍、嚢胞性疾患、深頸部感染症
- 禁煙外来

耳鼻咽喉科

スタッフ

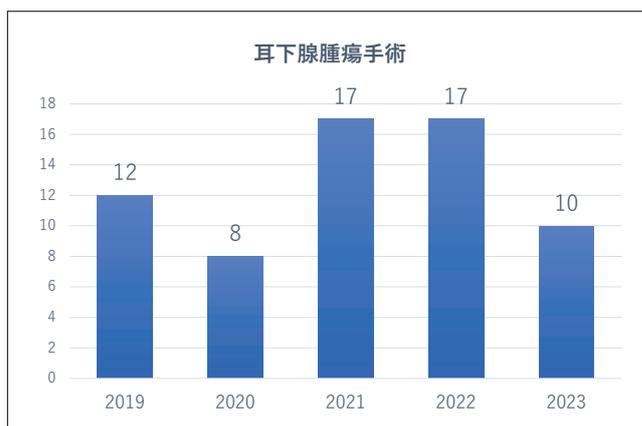
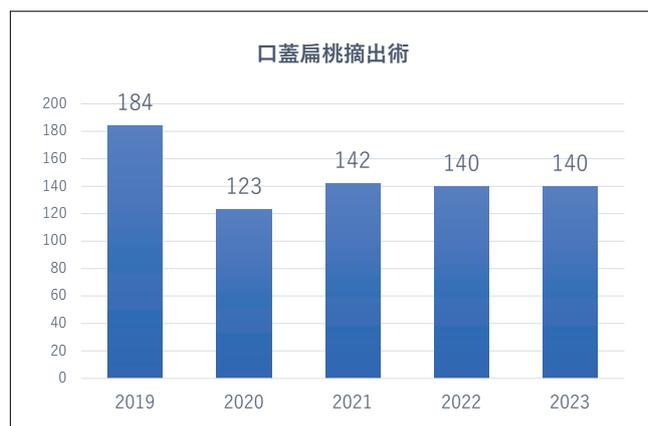
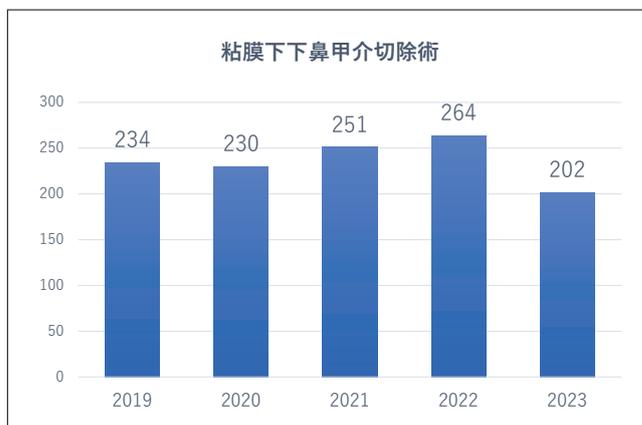
	氏名	卒業	専門	資格
助教	うるま しゅうへい 宇留間 周平	昭和大学 平成28年卒	耳鼻咽喉科全般	日本耳鼻咽喉科学会：専門医、 補聴器相談医
助教	なかすじ こうた 中筋 康太	昭和大学 平成29年卒	耳鼻咽喉科全般	
助教	てぐち しょうた 手口 翔太	昭和大学 令和2年卒	耳鼻咽喉科全般	
助教	なべやま あらた 鍋山 新	昭和大学 令和3年卒	耳鼻咽喉科全般	
助教	のざわ こうき 野澤 皓貴	昭和大学 令和4年卒	耳鼻咽喉科全般	

主な診療実績等

●2023年度手術実績 885件

●2023年度主な手術件数

内視鏡下鼻内副鼻腔手術	193	粘膜下下鼻甲介骨切除術	202
鼻中隔矯正術	140	喉頭微細手術	23
扁桃摘出	140	耳下腺腫瘍手術	10
顎下腺摘出術	12	鼓膜チューブ挿入	18



●禁煙外来 2009年度から2023年度までに約400名に治療を行い、成功率は70%です。

麻酔科

診療科長・教授



しだ けんじ
信太 賢治

卒業	昭和大学 昭和61年卒
専門	麻酔全般、ペインクリニック
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本ペインクリニック学会：ペインクリニック専門医、 日本慢性疼痛学会：慢性疼痛専門医、 日本顔面神経学会：顔面神経麻痺相談医

診療内容・特色

当院では年間約10,000件の手術があり、主要な手術のほとんどが行われています。そのうち麻酔科が管理する症例は年間約6,500件です。手術室外でもメンタルケアセンターでECT(電気痙攣療法)の麻酔を年間約500件行っています。また、2022年11月から産婦人科、新生児科と連携し無痛分娩を開始し、2023年度の無痛分娩件数は90件でした。

手術室に併設した周術期外来では歯科口腔外科、手術室看護師と連携し重症患者を中心に年間約1,400件の診察を行っています。

主な対象疾患

心臓血管外科、循環器内科、呼吸器外科、消化器外科、消化器内科、脳神経外科、一般外科、乳腺外科、甲状腺センター、小児外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、女性骨盤底センター、耳鼻咽喉科、眼科、内科、精神科、歯科口腔外科など多岐にわたる科の手術

スタッフ

准教授



はし もと たくみ
橋本 徳

卒業	岡山大学 平成5年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医

講師



さか もと あつ のり
坂本 篤紀

卒業	昭和大学 平成17年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本心臓血管麻酔学会：心臓血管麻酔専門医、 日本小児麻酔学会：小児麻酔認定医、 JB-POT

講師



やま むら あや
山村 彩

卒業	千葉大学 平成19年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医

講師



しやく お とも はる
釋尾 知春

卒業	昭和大学 平成22年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 JB-POT、 全米心臓超音波図協会：米国経食道心超音波認定医

麻酔科

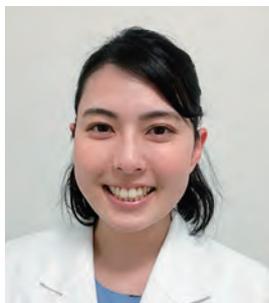
	氏名	卒業	専門	資格
助教	よしだ あい 吉田 愛	琉球大学 平成17年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医
助教	たかはし けんいち 高橋 健一	川崎医科大学 平成23年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本心臓血管麻酔学会：心臓血管麻酔専門医、 JB-POT
助教	どうせい たくや 道姓 拓也	昭和大学 平成23年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医、 JB-POT
助教	おおし みどり 大橋 みどり	聖マリアンナ医科大学 平成25年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医
助教	そうだ ひろあき 荘田 博朗	昭和大学 平成26年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医、 JB-POT
助教	つしま ゆきこ 津島 佑季子	香川大学 平成26年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医
助教	おぐら あやこ 小倉 文子	東海大学 平成30年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医
助教	まつど さくらこ 松土 桜子	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医、 JB-POT
助教	たにもと しょうた 谷本 翔太	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 JB-POT
助教	おの さえ 小野 沙恵	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医
助教	ひらい けん 平井 顕	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医、 JB-POT、 全米心臓超音波図協会：米国経食道心超音波認定医
助教	もろとみ しんいちろう 諸富 進一郎	東京医科大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 JB-POT
助教	うめたに ゆみ 梅谷 侑未	東海大学 令和2年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医
助教	ひらき れいな 平木 伶奈	東北大学 令和2年卒	麻酔全般	JB-POT
助教	えんどう ありさ 遠藤 有彩	昭和大学 令和3年卒	麻酔全般	
助教	ささき のぶひで 佐々木 信英	昭和大学 令和3年卒	麻酔全般	
助教	おかだ なぎさ 岡田 渚	獨協医科大学 令和4年卒	麻酔全般	
助教	たがわ りょう 田川 遼	昭和大学 令和4年卒	麻酔全般	
助教	やまざき ゆうたろう 山崎 雄太郎	昭和大学 令和4年卒	麻酔全般	

主な診療実績等

2023年度

手術件数	10,590件（麻酔科管理 6,505件）
無痛分娩件数	90件
周術期外来患者数	1,348件

診療責任者・助教



なかざわ みどり
中澤 碧

卒業	昭和大学 平成27年卒
専門	麻酔全般
資格	日本歯科麻酔学会：専門医・認定医

診療内容・特色

歯科麻酔科では、口腔外科の手術における麻酔(全身麻酔、静脈内鎮静法)や、一般の歯科医院では治療を受けることができない患者さんを対象に、日帰り全身麻酔下での歯科治療も行っています。

当院は大学病院として多くの専門診療科があり、そうした診療科とリアルタイムに情報を共有しながら治療を行うことが可能で、全身疾患のある患者さんでも安心して治療を受けていただけます。

主な対象患者

- 口腔外科の手術を受ける方
- 一般の歯科医院では治療を受けることができない方
(例：歯科治療恐怖症、異常絞扼反射、全身疾患の合併など)

日帰り全身麻酔下歯科診療の対象となる方

- 知的能力障害、精神疾患のある方
- 重度の歯科治療恐怖症の方
- 重度の異常絞扼反射がある方 など

※小児の対応も可能です。口腔外科の手術、全身状態が悪い、独居の方などの場合は原則入院になります。

歯科麻酔科

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	うぶかた 生方 ゆうへい 雄平	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	日本歯科麻酔学会：認定医
助教	しもの 下野 しなこ 史菜子	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	
助教	まつむら 松村 ただし 憲	昭和大学 令和4年卒	麻酔全般	

主な診療実績等

2023年度

全身麻酔（入院症例）	153件
全身麻酔（日帰り症例）	16件
静脈内鎮静法	288件

●日帰り全身麻酔下歯科診療の流れ

かかりつけ歯科医の先生方から当院を紹介（紹介先：病院歯科）



【昭和大学横浜市北部病院】

1日目（土曜日）

簡単な問診や口腔内診察、全身状態の確認、オルソパントモグラフィなどのレントゲン撮影を行います。
「日帰り全身麻酔下歯科治療 前日・当日の流れ」を説明します。



2日目（治療を予定された週の月～水曜日のいずれか）

- ①全身麻酔に必要な検査（血液検査・心電図・胸部レントゲンなど）を受けていただきます。
- ②新型コロナウイルスに感染していないかPCR検査を受けていただきます。



3日目（土曜日）

- ①全身麻酔下歯科治療を行います。
- ②治療後1時間程度休んでいただき、麻酔から回復し次第退院となります。
- ③帰宅後、歯科麻酔科医より体調確認の電話をします。

※治療前日にも歯科麻酔科医より体調確認の電話をします。

※患者さんの口腔内の状態によって、日帰り全身麻酔下歯科治療を複数回行う場合があります。



当院での治療終了後、かかりつけ歯科医の先生方に逆紹介（メンテナンスのご協力をお願いしています）

リハビリテーション科

診療科長・教授



よだ みつまさ
依田 光正

卒業	昭和大学 平成3年卒
専門	摂食嚥下リハビリテーション、早期リハビリテーション、痙縮治療
資格	日本リハビリテーション医学会：リハビリテーション科専門医・認定医・指導医、 日本内科学会：認定内科医、 日本脳卒中学会：専門医、 身体障害者福祉法第15条指定医、 義肢装具等適合判定医師、 TNT 研修会受講終了

診療内容・特色

昭和大学リハビリテーション医学講座は患者の生命、健康、暮らしを支えることを目標としており、当院のリハビリテーションもその理念のもとに診療を行っております。当院は横浜市北部地域の急性期医療およびに専門的医療を担っており、地域の方により良い社会復帰していただけるように、専門医による指示・統括の下にアプローチを行っております。

当院では救急センターや集中治療室などまだ病状が不安定な時期である超急性期から積極的に機能訓練を開始するなど“早期リハビリテーション”に力を入れております。また、リハビリテーションは“チーム医療”が重要であり、多職種によるカンファレンスを定期的に行い、方向性を確認しながらリハビリテーションを進めております。また、栄養サポートチーム・褥瘡管理チームなどの多職種参加型横断的活動を重要視しており、特に摂食嚥下障害に関しては、当科医師が嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査などの評価後に、言語聴覚士・作業療法士による嚥下訓練、病棟看護師による摂食機能療法を行い、多職種からなる嚥下サポートチームがフォローする包括的なアプローチを行っております。

紹介医療機関の先生方へ

当科には入院病床がありませんが、入院でのリハビリテーションが必要な場合は昭和大学藤が丘リハビリテーション病院と連携しております。また、外来での機能療法は行っており、外来担当医表にも当科の枠はございませんが、当科の得意とする摂食嚥下障害に対する嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査などの嚥下機能検査や、脳卒中片麻痺による痙縮に対するボツリヌス療法は外来でも実施可能です。そのほかにもリハビリテーション科専門医にご質問・ご相談がございましたらお電話でお問い合わせいただければと思います。

主な対象患者

①脳血管疾患等リハビリテーション

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患、脳腫瘍・脊髄損傷などの中枢神経疾患、多発性神経炎・多発性硬化症などの神経疾患、パーキンソン病・脊髄小脳変性症など慢性の神経筋疾患など

②運動器リハビリテーション

脊椎損傷、体幹・上・下肢の外傷・骨折、切断・離断、運動器の悪性腫瘍など

リハビリテーション科

③呼吸器リハビリテーション

肺炎・無気肺など呼吸器疾患、肺腫瘍その他の呼吸器疾患手術後、慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息・間質性肺炎・肺結核後遺症などの慢性の呼吸器疾患、手術前後の呼吸機能訓練を要する患者など

④廃用症候群リハビリテーション

急性疾患等に伴う安静による廃用症候群

⑤がん患者リハビリテーション

入院中ががんの治療のための手術・化学療法・放射線治療・造血幹細胞移植が行われる患者、末期がんで在宅復帰を目的としている患者

⑥心大血管疾患リハビリテーション

急性心筋梗塞、狭心症、開心術後、慢性心不全、大血管疾患(大動脈解離、解離性大動脈瘤、大血管術後)、末梢動脈閉塞性疾患、経カテーテル大動脈弁置換術後など

また、当院にはメンタルケア病棟があり、精神科作業療法を行っています。

スタッフ

常勤医師2名で診療にあたっています。また、当院のリハビリテーション室に所属する療法士は、理学療法士14名・作業療法士9名・言語聴覚士1名です。

	氏名	卒業	専門	資格
助教	いしわた ありさ 石渡 有沙	島根大学 令和3年卒	リハビリテーション医学 全般	

主な診療実績等

2023年度の実績(各療法とも20分：1単位で行われています。)

理学療法	脳血管疾患等リハ	7,587単位/5,959人	運動器リハ	14,700単位/11,683人
	呼吸器リハ	8,408単位/7,329人	廃用症候群リハ料	6,637単位/5,949人
	がん患者リハ	4,627単位/4,226人	心大血管リハ料	4,877単位/4,309人
作業療法	脳血管疾患等リハ	7,794単位/5,061人	運動器リハ	5,642単位/4,706人
	呼吸器リハ	2,854単位/2,268人	廃用症候群リハ	2,017単位/1,438人
	がん患者リハ	649単位/515人	心大血管リハ料	119単位/99人
言語療法	脳血管疾患等リハ	2,485単位/1,881人	呼吸器リハ	735単位/615人
	廃用症候群リハ	459単位/362人	がん患者リハ	190単位/149人

機能療法は入院患者に特化しており、原則的に外来での機能療法は行っておりません。

診療責任者・講師



やすだ ありさ
安田 有沙

卒業	昭和大学 平成19年卒
専門	口腔外科全般
資格	日本口腔外科学会：専門医、スポーツデンティスト

診療内容・特色

【口腔外科領域の診療を行っています】当科では口腔周囲領域を中心とした疾患に対して診療を行っており、対象疾患は多岐に及びます。疾患によっては、歯科麻酔科と連携して入院管理や全身麻酔下での手術を行います。また、様々な基礎疾患のある患者さんに対しても、全身状態を考慮した適切な処置を行っております。さらに、当院で手術などを受ける周術期の患者さんで口腔に関連する症状が予想される場合は、手術前日から当科にて口腔内環境改善を目的とした診察を行います。

【地域開業医との地域連携を大切に】当科では、地域の先生方の多様な要請にこたえ、適切な診断・治療を提供したいと考えております。患者さんに安心・安全な医療を提供するため、医科歯科および地域連携を行いながら診察に努めてまいります。初診患者さんの診察は原則として完全予約制をとらせていただいております。ご紹介いただく際には、事前に当院地域連携室へご連絡いただき診療予約を行ってください。何かご相談などありましたら、いつでも当科へご連絡ください。

【麻酔下での抜歯を行うことで患者さんの負担を軽減しています】歯科治療に恐怖心のある患者さんや、侵襲の大きい深部埋伏抜歯や下顎管近接症例に関しては、患者さんごとの相談しながら、静脈内鎮静法や全身麻酔下での手術を実施しております。

【入院患者さんの口腔ケアを行なっています】他科での入院患者さんに対して周術期等口腔機能管理や口腔ケア、口腔内トラブルに対する応急的な対応を行っています。

主な対象患者

● 口腔外科的疾患

- 歯・歯周疾患：周術期、入院中の患者さんの歯周病、外科治療の適応となった歯など。
- 嚢胞性疾患：歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯原性角化嚢胞、粘液嚢胞など。
- 腫瘍性疾患：エナメル上皮腫、軟組織良性・悪性腫瘍など。
- 口腔粘膜疾患：白板症、口腔扁平苔癬、口腔カンジダ症など
- 口腔感染症：顎骨の炎症、ヘルペス性口内炎など
- 口腔外傷：口腔粘膜裂傷、歯の脱臼、顎骨骨折など
- 顎関節疾患：顎関節症、顎関節脱臼など
- 唾液腺疾患：唾石症、唾液腺炎、口腔乾燥症など

● 周術期等口腔機能管理、口腔ケアセンター

全身麻酔管理下での患者さんの治療が安心・安全に施行されるように、医科の先生方や地域歯科医師会の先生方と連携しながら診療を行っています。また、放射線化学療法患者さんの口腔ケアや骨修飾薬使用前の口腔内環境の整備にも積極的に取り込んでいます。

- マタニティ歯科
- 障がい者歯科

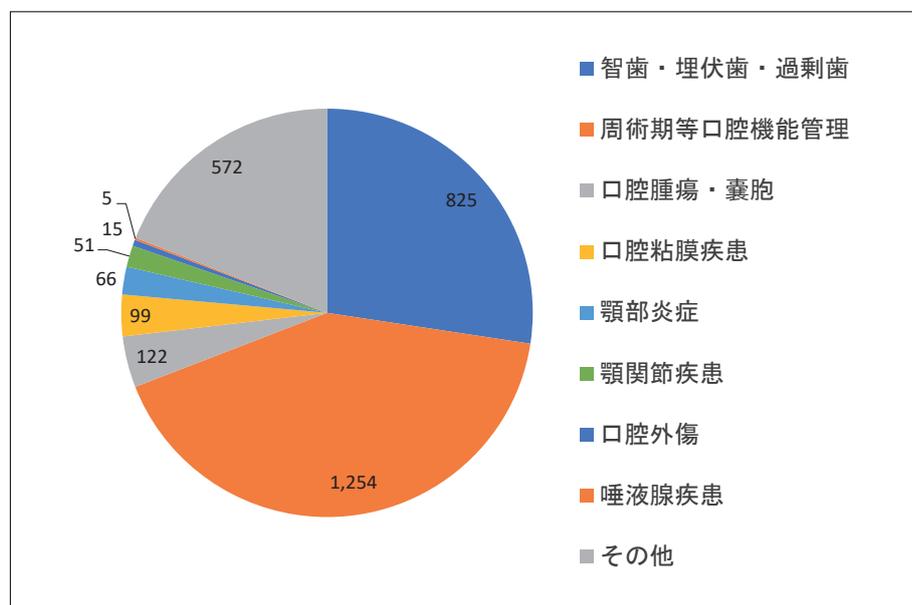
病院歯科

スタッフ

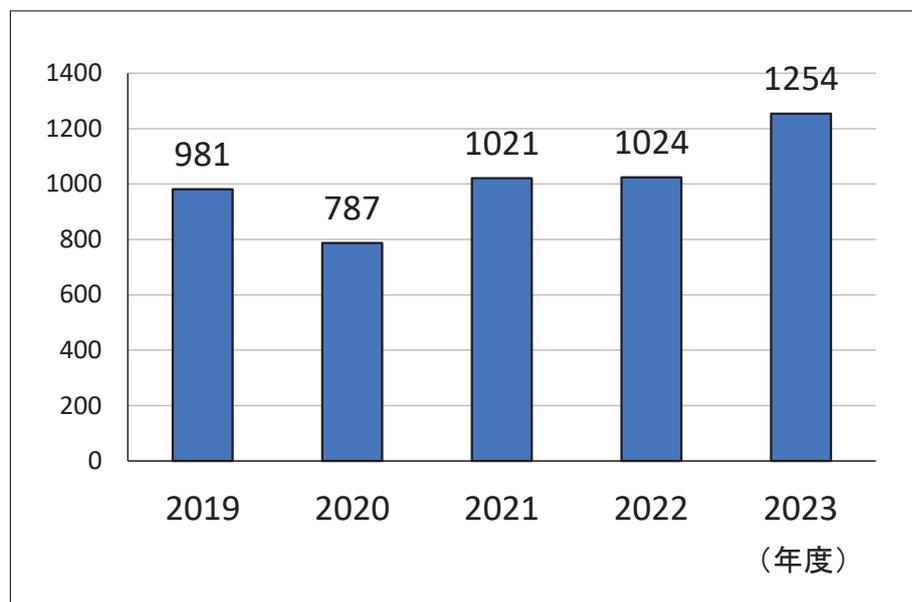
	氏名	卒業	専門	資格
助教	みやもと さや 宮本 俊也	昭和大学 平成29年卒	口腔外科全般	日本口腔外科学会：認定医
助教	やまぐち ひろき 山口 弘貴	昭和大学 令和元年卒	口腔外科全般	日本口腔外科学会：認定医

主な診療実績等

1) 症例数の疾患別内訳



2) 年度別周術期等口腔機能管理症例数



診療・検査 の予約

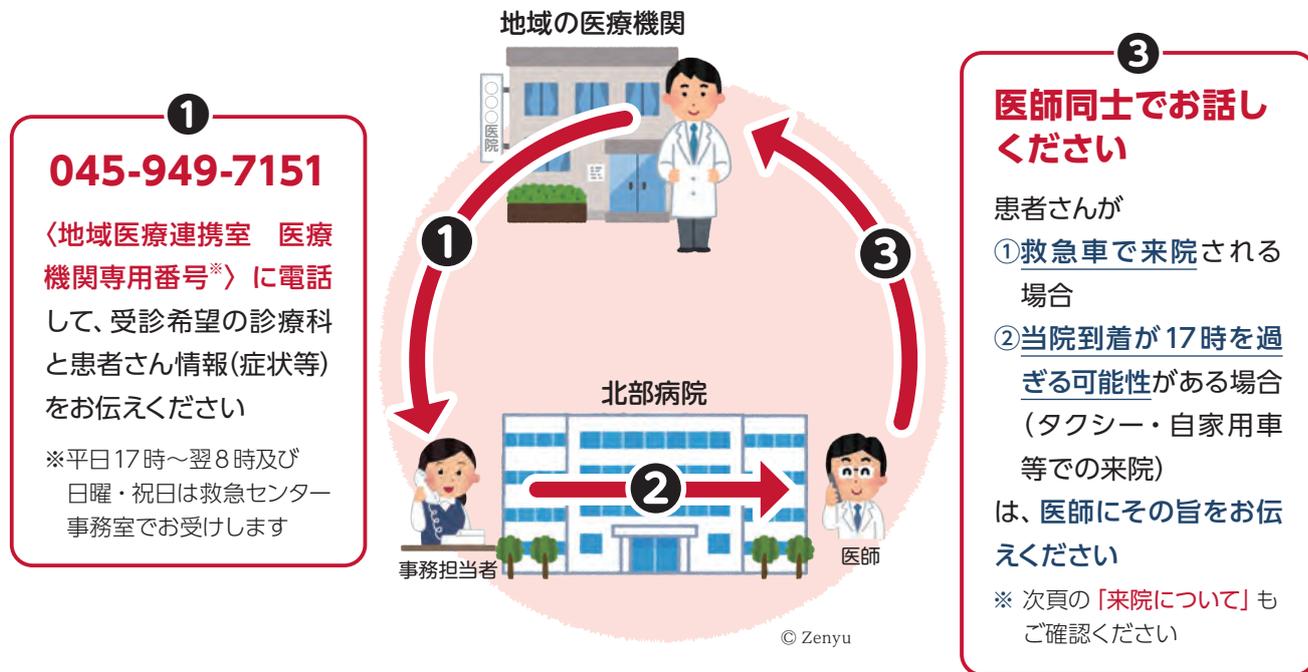
- 医療機関からの緊急受診 (Dr to Dr)
緊急受診 (Dr to Dr) での来院について
- 紹介患者の外来予約
- 医療機関からの検査予約／地域連携医療協力機関制度
- 診療情報提供書
 - CT 検査依頼書
 - MRI 検査依頼書
 - PET／CT 検査依頼書
 - 骨塩定量検査依頼書
 - シンチ検査依頼書

医療機関からの緊急受診 (Dr to Dr)

ドクター

ドクター

医療機関の皆様が患者さんを診察する中で、緊急に北部病院に紹介する必要がある場合は、下記のとおり、お電話でご連絡をお願いします。



医療機関からの緊急受診
(Dr to Dr)
診療・検査の予約

地域医療連携室〈医療機関専用電話 045-949-7151〉のご案内 (月曜日～土曜日 8時～17時、祝日・11月15日・年末年始を除く)

緊急受診(Dr to Dr)のほか、医療機関からつぎのようなお電話をお受けしています。

▶ 外来予約(医療機関からのご予約)…94ページ

※緩和ケア病棟 入院判定外来(入院前に受診が必要です)のご予約も承っております。
詳しくは当院ホームページの「緩和ケア病棟入院判定外来」をご覧ください。

▶ 検査予約…95ページ

検査種類：CT、MRI、PET / CT、骨塩定量、シンチグラフィ

▶ 受診相談…外来受診に際して、配慮が必要な方(ストレッチャー移動、酸素投与など医療処置があるなど)のご相談は看護師におつなぎします。

▶ その他、転院に関するお問い合わせ など

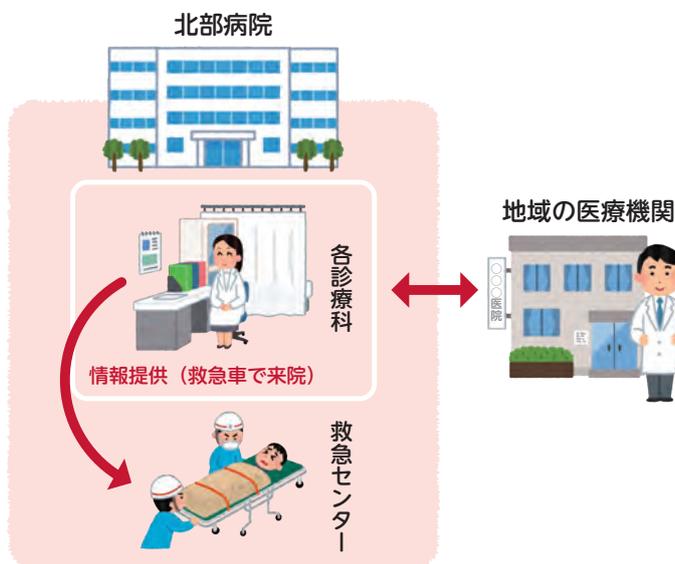
緊急受診 (Dr to Dr) での来院について

① 患者さんが救急車で来院される場合



◆ 診療時間内 (月～土曜日 8時30分～17時)

Dr to Dr は各診療科の当番医師におつなぎします。



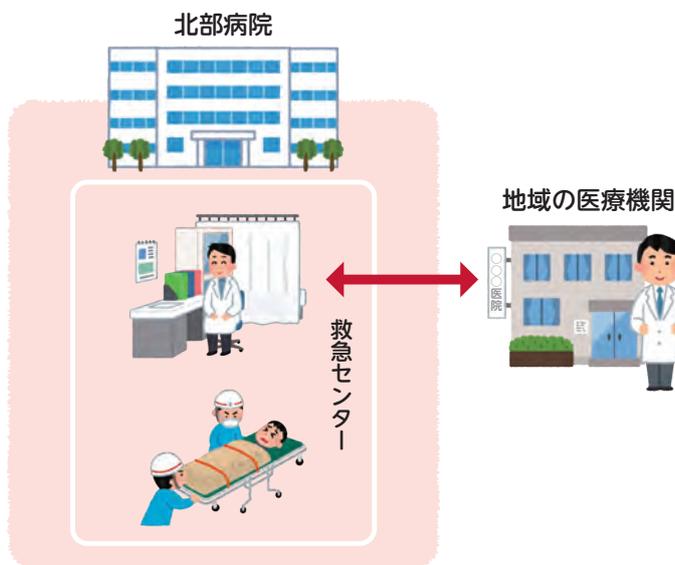
© Zenyu

- ▶ 救急車で来院される旨を各診療科の当番医師にお伝えください。
各診療科の当番医師から、救急車が到着する救急センターに搬送方法の情報提供をいたします。
- ▶ 救急隊に「〇〇科の〇〇先生が了解しています」とお伝えください。
- ▶ 紹介状は、受入体制の都合上、救急センター宛てではなく各診療科宛てをお願いいたします。

◇ 診療時間外 (月～土曜日 17時～翌8時30分、日曜日・祝日)

すべての患者さんを原則救急センターで対応します。

Dr to Dr は救急センター医師におつなぎします。



© Zenyu

- ▶ 救急隊に「救急センターの〇〇先生が了解しています」とお伝えください。
- ▶ 紹介状は、救急センター宛をお願いいたします。
なお、目指す診療科が明瞭な場合にはその診療科宛でも構いません。

② 患者さんの当院到着が17時を過ぎる可能性がある場合 (タクシー・自家用車等での来院)



- ▶ 診療場所が救急センター外来になることがありますので、来院手段と到着見込み時間を各診療科の当番医師に伝えてください。

緊急受診(Dr to Dr)の来院(17時)

診療・検査の予約

紹介患者の外来予約

医療機関から予約する場合

北部病院〈地域医療連携室〉へ電話

受付時間 月曜日～土曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

医療機関専用電話 **045-949-7151**

- 紹介状を患者さんにお渡しください。封筒に、当院名、診療科名、必要であれば医師名をご記入ください。
- 予約日時、受付場所、持参するものをご案内しますので、患者さんへお伝えください。
 - ▶ 初めて受診される方（診察券がない方）
予約時間の30分前に、1階10番初診受付へ
 - ▶ 当院を受診したことがある方（診察券をお持ちの方）
予約時間の15分前に、紹介された診療科の外来受付へ
 - ▶ 持参いただくもの：保険証、紹介状、お持ちの場合は診察券、お薬手帳 ほか
- 紹介状の事前送付にご協力をお願いいたします。

患者さんから予約する場合

(1) 北部病院〈予約センター〉へ電話（またはFAX）で予約

受付時間 月曜日～金曜日：9時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

患者専用電話 **045-949-7143**

FAX **045-949-7137**

(2) WEB（PCやスマートフォン）で予約

「北部病院 予約フォーム」で検索してください。

- 紹介状を患者さんにお渡しください。封筒に、当院名、診療科名、必要であれば医師名をご記入ください。
- WEB予約またはFAX予約の場合、平日の15時までに受けた申込は、当日中にご回答いたします。土曜日や、日曜・祝日などの当院休診日に受けた申込は、次の外来診療日にご回答いたします（次の外来診療日が受付日となります）。当日及び受付日のご予約はお受けできません。
- 紹介状を受け取られましたら、なるべく早く受診するようお伝えください。受診までに期間（概ね6か月）が空いてしまうと、症状が変化して紹介状の内容と相違が出てしまい、紹介状をお持ちの患者さんとしての対応ができない場合があります。

医療機関からの検査予約

検査種類 CT、MRI、PET/CT、骨塩定量、シンチ

北部病院〈地域医療連携室〉へ電話

受付時間 月曜日～土曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

医療機関専用電話 **045-949-7151**

FAX **045-949-7137**

- 検査種類ごとの検査依頼書を北部病院へFAX送信してください。
- 北部病院から必要書類（検査によって同意書、問診票等）を医療機関へFAX送信しますので、患者さんにお渡しください。
- 患者さんに、案内された受付場所へ、保険証、紹介状、（診察券）、検査によって同意書、問診票などを持参して来院するようお伝えください。

地域連携医療協力機関制度（ご案内）

地域の医療機関と昭和大学横浜市北部病院とが相互に緊密な連携を図り、患者さんに最適な質の高い医療を提供することを目的に、「地域連携医療協力機関制度」を導入しています。

当院は本制度について、都筑区・青葉区・港北区・緑区・川崎市宮前区の各医師会と協定を締結しており、これらの区の医師会員で本制度の趣旨に賛同する医療機関の皆様には、各区医師会と協定を締結していただきます。

ご登録いただいた医療機関には「地域連携医療協力機関登録証」をお送りし、当院のホームページで「地域連携医療協力機関」としてご紹介させていただきます。また、各医療機関で受入可能な診療内容（登録時に照会します）を院内で共有して逆紹介に活用するなど、積極的な連携を図ります。

お問い合わせ先：地域医療連携室 **045-949-7151**

診療情報提供書(CT検査依頼書)

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症			
フリガナ		HBs 抗原 (+ - 未)			
患者氏名 :		HCV 抗体 (+ - 未)			
生年月日 :		血清梅毒反応 (RPR TPLA)			
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA (+ - 未)			
性別 男・女	身長 cm	体重 kg	HIV抗原・抗体 (+ - 未)		
依頼医療機関名 :		出力方法			
		CD-ROM ・ フィルム			
依頼医師 :					
【医療機関記入欄】					
検査予定日:		年	月	日	午前・午後 時 分
臨床診断(病名)					
(病名は日本語で適切に記載願います)					
臨床経過／検査対象病名／検査目的					
ヨード造影剤副作用歴:(有, 無)		喘息:(有, 無) (小児喘息含む)		糖尿病薬:(+, -)	
薬剤アレルギー:(有, 無)		妊娠:(+, -)		(+)の場合薬剤名()	
<p>※副作用歴、喘息(小児喘息含む)のある患者さんは単純検査となります。</p> <p>※ビグアナイド系糖尿病薬を服用している患者さんは、検査日の 2 日前(検査当日は含まない)から検査日の2日後(検査当日は含まない)まで休薬してください。 ※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。</p> <p>※造影剤使用時は検査前に 3 時間程度の食止めを行う必要があります。</p>					
検査の部位を○で囲んで選択してください。					
脳	眼窩	胸部	胸部～上腹部	頸髄	ミギ上肢(部位:)
下垂体	副鼻腔	上腹部	胸部・上腹・骨盤	胸髄	ヒダリ上肢(部位:)
頸部	中耳半軸位	骨盤	上腹部～骨盤	腰髄	ミギ下肢(部位:)
冠動脈					ヒダリ下肢(部位:)
禁忌チェック	心臓ペースメーカー:(有, 無) 除細動器:(有, 無) ※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入された患者さんは必ずペースメーカーや除細動手帳を持参いただき、当院のルールに従い検査を行わせていただきます。(除細動器挿入患者は除細動器部分の撮影はできないため、スキップします。)ただし手帳を忘れた場合は全例において該当部分はスキップします。				
造影 (下記を○で囲んで選択してください。)			血清クレアチニン mg/dl		
有り		無し		(採血日: 年 月 日)	
「有り」を選択した場合はCT又はMRIの「検査及び造影剤の説明と同意書」に準じて患者様の同意を得て下さい。 ※臨床診断、検査目的から放射線科医が造影検査を不必要と判断した場合は、単純検査とさせていただきます。			クレアチニンが未記入、または採血日から半年以上経過している場合、造影剤は使用せず単純検査となります。		

診療情報提供書 (MRI検査依頼書)

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症			
フリガナ		HBs 抗原 (+ - 未)			
患者氏名 :		HCV 抗体 (+ - 未)			
生年月日 :		血清梅毒反応 (RPR TPLA)			
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA (+ - 未)			
性別 男・女		HIV抗原・抗体 (+ - 未)			
身長 cm		その他 ()			
体重 kg					
依頼医療機関名 :		出力方法			
		CD-ROM ・ フィルム			
依頼医師 :					
【医療機関記入欄】					
検査予定日:		年	月	日	午前・午後 時 分
臨床診断(病名)					
(病名は日本語で適切に記載願います)					
臨床経過／検査対象病名／検査目的					
ガドリニウム造影剤副作用歴:(有, 無) 喘息:(有, 無) 閉所恐怖症:(有, 無)					
(小児喘息含む)					
薬剤アレルギー:(有, 無) 妊娠:(+, -)					
※副作用歴、喘息(小児喘息含む)のある方患者さんは単純検査となります。					
※閉所恐怖症のある方は検査を行えない場合があります。※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。					
※腹部と骨盤部の検査は、検査前から3時間程度の食止めを行って下さい。					
検査の部位を○で囲んで選択してください。					
脳	顎関節	胸部	脳血管	頸髄	ミギ上肢(部位:)
下垂体	頸部	乳房	頸部血管	胸髄	ヒダリ上肢(部位:)
聴器	副鼻腔	上腹部	胸部血管	腰髄	ミギ下肢(部位:)
眼窩	骨盤	MRCP	上腹部血管	股関節	ヒダリ下肢(部位:)
			骨盤部血管		
禁忌チェック		心臓ペースメーカー:(有, 無) 除細動器:(有, 無) 人工内耳:(有, 無)			
		ステント:(有, 無) 非磁性体と確認できない脳動脈瘤止血クリップ:(有, 無)			
		シャントバルブ:(有, 無) その他()			
		※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入されている患者さんの検査は受け入れておりません。			
造影 (下記を○で囲んで選択してください。)			血清クレアチニン mg/dl		
有り 無し			(採血日: 年 月 日)		
「有り」を選択した場合はCT又はMRIの「検査及び造影剤の説明と同意書」に準じて患者様の同意を得て下さい。			クレアチニンが未記入、または採血日から半年以上経過している場合、造影剤は使用せず単純検査となります。		
※臨床診断、検査目的から放射線科医が造影検査を不必要と判断した場合は、単純検査とさせていただきます。					

診療情報提供書 (PET/CT検査依頼書)

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症	
フリガナ		HBs 抗原	(+ - 未)
患者氏名 :		HCV 抗体	(+ - 未)
生年月日 :		血清梅毒反応	(RPR TPLA)
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA	(+ - 未)
性別 男・女	身長 cm 体重 kg	HIV抗原・抗体	(+ - 未)
性別 男・女		その他	()
依頼医療機関名 :		空腹時血糖値	
依頼医師 :		mg/dl	
検査予定日:		年 月 日	午前・午後 時 分
薬剤アレルギー(有 無) 閉所恐怖症(有 無) 30分制止(可 不可) 妊娠(+ -) ※介助が必要な患者さんに対するPET/CT検査は受け入れておりません。 ※閉所恐怖症の患者さんは検査を行えない場合があります。 ※妊娠またはその可能性がある患者さんの検査は受け入れておりません。 心臓ペースメーカー(有 無) 除細動器(有 無) ※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入された患者さんは、PETのみの検査になります。			
臨床診断(病名)			
(下記保険適応項目に該当しない場合、保険診療として取扱うことができませんので、適切な病名を日本語で記載願います)			
臨床経過/検査目的(※病理診断結果、腫瘍マーカー値、画像診断検査等を併せてご記載願います)			

予約取得者:

(1) 保険適用に関する注意事項

【悪性腫瘍】

●早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む全ての悪性疾患	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発が確定できない患者(確定診断がついていることが必要です。)
----------------------------	---

【悪性腫瘍以外の疾患】

●てんかん	難治性部分てんかんで外科的切除が必要とされる患者
●虚血性心疾患	虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリティ診断が必要とされる患者(ただし、通常の心筋シンチグラフィで判定困難な場合に限定する。)
●心サルコイドーシス	心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者

(2) 保険適用を判断するポイント

- 腫瘍マーカー高値のみでは不十分です。
- 「疑い」病名では適応になりません。

(3) 保険適用とならない事例

- ・ヘビースモーカー、肺気腫があり、肺癌ができていないかスクリーニング目的でのPET依頼
- ・腫瘍マーカーCEAの上昇を指摘され、胸腹部CTを行うも腫瘍性病変を発見できずPET依頼
- ・悪性リンパ腫の化学療法後、定期的フォローアップの目的によるPET依頼 など

診療情報提供書(骨塩定量検査依頼書)

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症	
フリガナ		HBs 抗原 (+ - 未)	
患者氏名 :		HCV 抗体 (+ - 未)	
生年月日 :		血清梅毒反応 (RPR TPLA)	
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA (+ - 未)	
性別 男・女		HIV抗原・抗体 (+ - 未)	
身長	cm	体重	kg
その他 ()			
依頼医療機関名 :		出力方法	
		測定結果用紙 ・ CD-ROM	
依頼医師 :			
【医療機関記入欄】			
検査予定日: 年 月 日 午前・午後 時 分			
臨床診断(病名)			
(病名は日本語で適切に記載願います)			
臨床経過／検査対象病名／検査目的			
妊娠:(+ , -)			
※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。			
検査の部位を○で囲んで選択してください。			
腰椎(L2~L4)前後		ヒダリ大腿骨頭	
その他()		ヒダリ橈骨遠位端	
体内金属 有(腰椎 ・ 股関節 ・ 前腕) ・ 無			
※検査部位に金属や残存した造影剤がある場合、検査結果は参考値となります。			
※ヒダリ大腿骨頭、ヒダリ橈骨遠位端に金属がある場合は対側で検査を行います。			
※両側に金属がある場合、左側で検査を行います。ただし、検査結果は参考値となります。			

2024年 診療科ガイド

発行：令和6年6月15日

発行者：昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

編集：地域医療連携室

印刷：株式会社 野毛印刷社